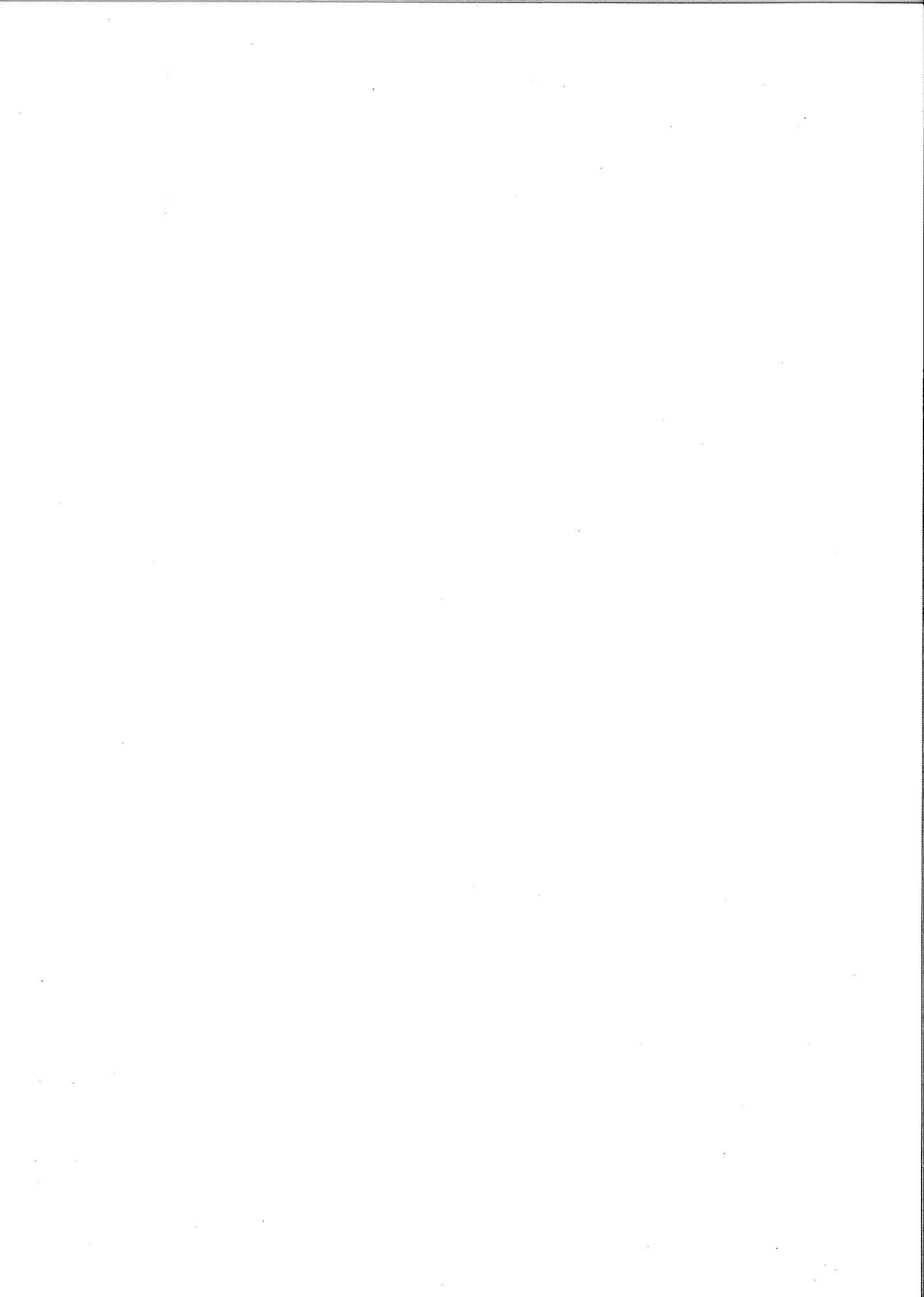


火災の実態について

(平成25年中)

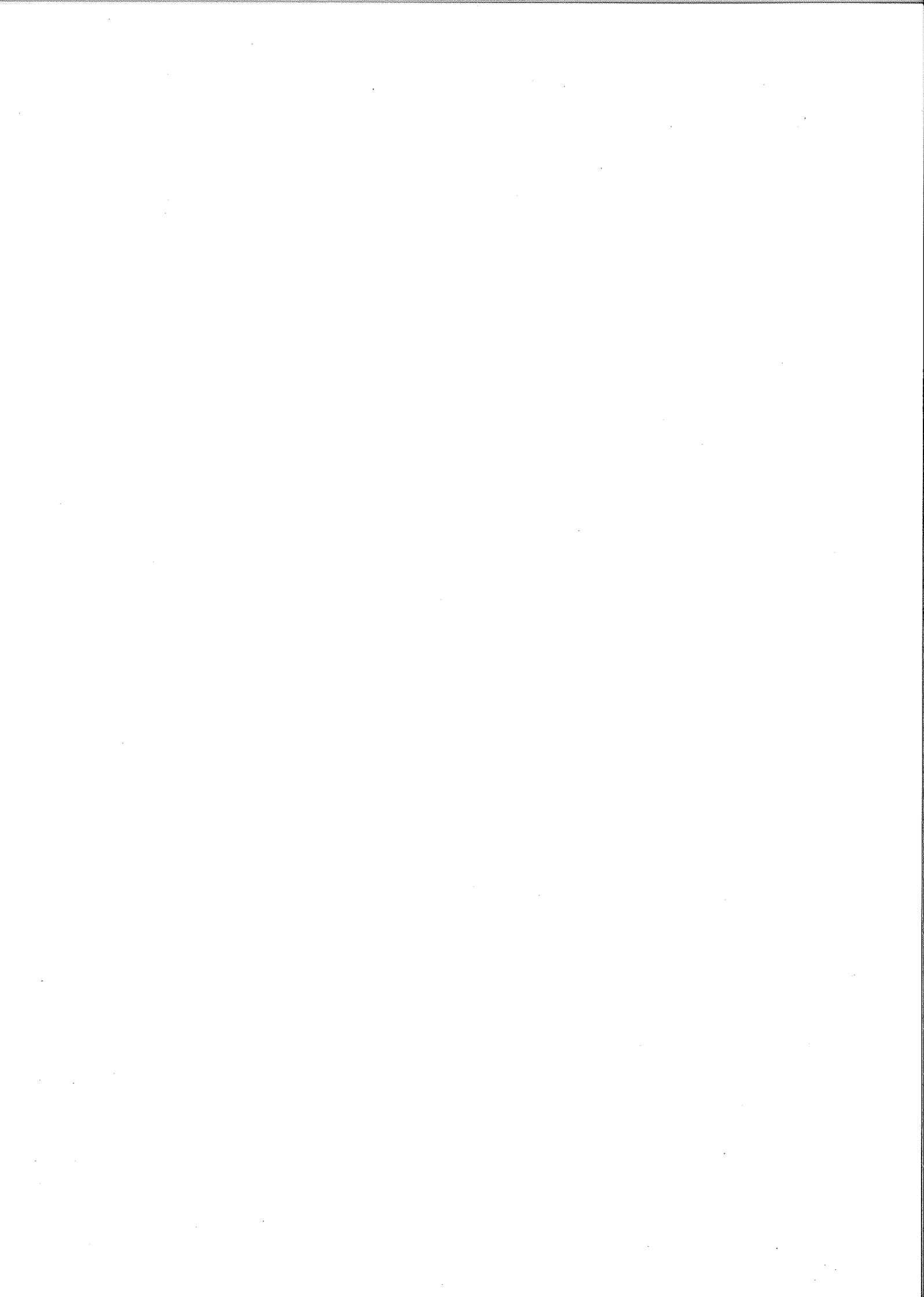
消防庁予防課



目 次

第 一 章 住宅火災の実態について

1 序 説	2
2 住宅火災出火件数	3
(1) 建物火災のうち住宅火災の件数	3
(2) 発火源別火災件数	4
(3) 着火物別火災件数	5
(4) 出火箇所別火災件数	6
(5) 建物構造別火災件数	7
(6) 時間帯別火災件数	8
(7) 月別火災件数	9
(8) 都道府県別火災件数	10
3 住宅火災による死者数	13
(1) 建物火災による死者のうち住宅火災による死者数	13
(2) 発火源別死者数	14
(3) 着火物別死者数	16
(4) 出火箇所別死者数	17
(5) 建物構造別死者数	18
(6) 時間帯別死者数	19
(7) 月別死者数	20
(8) 都道府県別死者数	21
(9) 年齢別死者数	24
(10) 階別死者数	26
(11) 死に至った経過別死者数（年齢別）	27
(12) 死に至った経過別死者数（タイプ別）	29
(13) 発火源と出火箇所の関係	31
(14) 発火源と着火物の関係	32
(15) 出火箇所と着火物の関係	33
4 住宅火災による負傷者数	34
(1) 建物火災による負傷者のうち住宅火災による負傷者数	34
(2) 発火源別負傷者数	35
(3) 着火物別負傷者数	36
(4) 出火箇所別負傷者数	37
(5) 建物構造別負傷者数	38
(6) 時間帯別負傷者数	39
(7) 月別負傷者数	40
(8) 都道府県別負傷者数	41
5 3名以上の死者が発生した住宅火災	44
参考資料	45



第二章 火災による死者の実態について

1 序 説	51
2 火災による死者全体の実態について	52
(1) 出火件数と火災による死者数の推移	52
(2) 都道府県別の死者発生状況	53
(3) 月別の死者発生状況	57
(4) 時間帯別の死者発生状況	58
(5) 火災種別ごとの死者発生状況	59
(6) 建物用途別、階層別の死者発生状況	60
(7) 建物構造別の死者発生状況	61
(8) 建物用途別、構造別の火災発生件数、死者発生状況	63
(9) 防火対象物政令用途区分別の死者発生状況	66
(10) 年齢別、性別の死者発生状況	70
(11) 1件で3人以上の死者を出した火災	71
(12) 出火原因別の死者発生状況	74
3 放火自殺者を除いた死者の実態について	75
(1) 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況	75
(2) 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況	76
(3) 放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況	77
(4) 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況	78
(5) 放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況	79
(6) 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況	81
(7) 死因別の死者発生状況	82
(8) 死に至った経過と年齢別の死者発生状況	83
(9) 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況	88
4 放火自殺者の実態について	89
(1) 放火自殺者の火災種別ごとの死者発生状況	89
(2) 放火自殺者の月別、時間帯別の死者発生状況	90
(3) 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況	92
参考資料	93



第一章

住宅火災の実態について



平成25年中の建物火災は25,053件(放火の2,245件を含む。)(前年比530件減)発生し、全火災の52.1%(前年57.9%)を占めている。さらに、放火を除いた建物火災22,808件(前年比267件減)のうち、住宅火災は12,502件(放火を除く。)(前年比330件減)で54.8%(前年55.6%)を占めている。

死者については、建物火災による死者の1,133人(放火自殺者等121人を除く。)(前年比35人減)のうち997人(放火自殺者等103人を除く。)(前年比19人減)(88.0%)(前年87.0%)、また、負傷者については建物火災による負傷者の5,360人(放火による357人を除く。)(前年比122人減)のうち3,765人(放火による234人を除く。)(前年比56人減)(70.2%)(前年69.7%)を住宅火災が占めている。

この資料は、火災による死者等の調査のうち、特に住宅火災について分析したものであり、今後の住宅防火対策推進に係る広報資料として活用願うために作成したものである。

なお、資料中の「住宅」とは火災報告取扱要領の一般住宅、共同住宅、併用住宅の総称である。また、「放火を除く。」とは、火災報告取扱要領の出火原因の経過中91「放火」に分類されるものを除いたものであり、「放火自殺者等を除く。」とは、火災による死者の調査表の「放火自殺者(心中の道づれを含む。）」、「放火自殺者の巻添者」及び「放火殺人の犠牲者」を除く総称である。

〔概要表〕

(平成25年中)

		火災件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
全火災		48,095 (43,002)	1,625 (1,278)	6,858 (6,241)
	建物火災	25,053 (22,808)	1,254 (1,133)	5,717 (5,360)
	住宅火災	13,621 (12,502)	1,100 (997)	3,999 (3,765)
	一般住宅火災	8,892 (8,322)	892 (814)	2,700 (2,547)
	共同住宅火災	4,103 (3,587)	183 (162)	1,143 (1,070)
	併用住宅火災	626 (593)	25 (21)	156 (148)
	住宅以外の建物火災	11,432 (10,306)	154 (136)	1,718 (1,595)
	建物火災以外の火災	23,042 (20,194)	371 (145)	1,141 (881)

- (注) 1 火災件数及び負傷者数における()内の数値は、放火を除いた数値である。
 2 死者数における()内の数値は、放火自殺者等を除いた数値である。
 3 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。以下、本章及び第2章において同じ。

2 住宅火災出火件数

(1) 建物火災のうち住宅火災の件数

建物火災件数(放火を除く。)は22,808件(前年比267件減)で、そのうち住宅火災が12,502件(前年比330件減)(54.8%)(前年55.6%)を占めている。

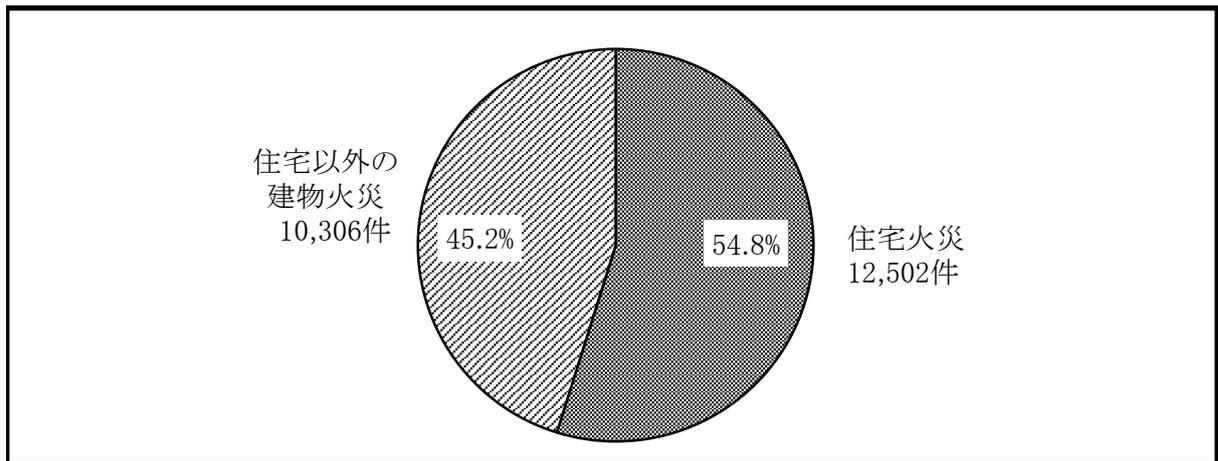
また、住宅火災のうち、一般住宅に係る火災が全体の66.6%(前年66.7%)を占めている。

建物火災のうち住宅火災の件数(放火を除く)

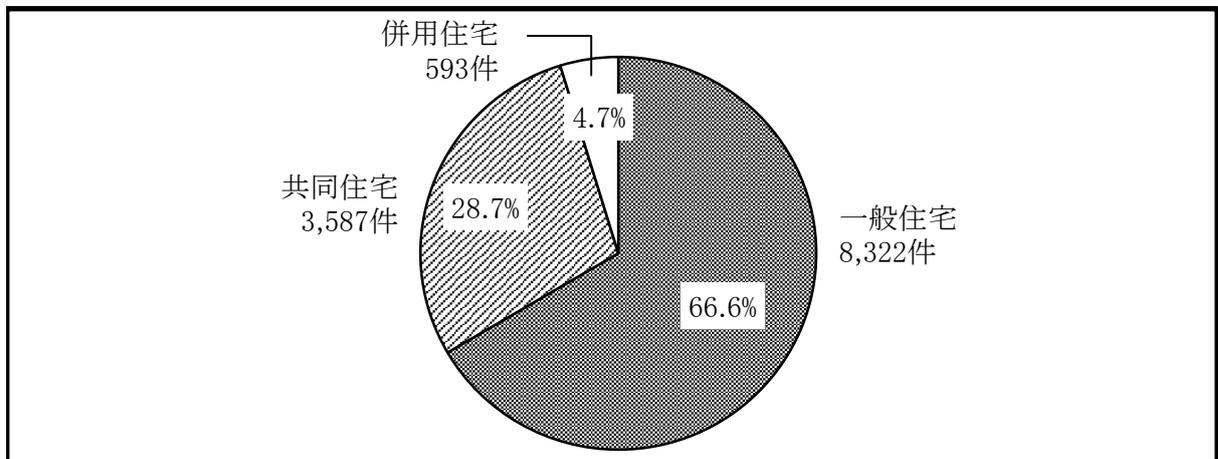
建物火災(件)	住宅火災(件)				住宅以外の建物火災(件)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
22,808	12,502	8,322	3,587	593	10,306
100.0%	54.8%	[66.6%]	[28.7%]	[4.7%]	45.2%

(* []は、住宅火災の件数(12,502件)に占める割合)

建物火災のうち住宅火災の件数(放火を除く)



住宅形態別の火災の件数(放火を除く)



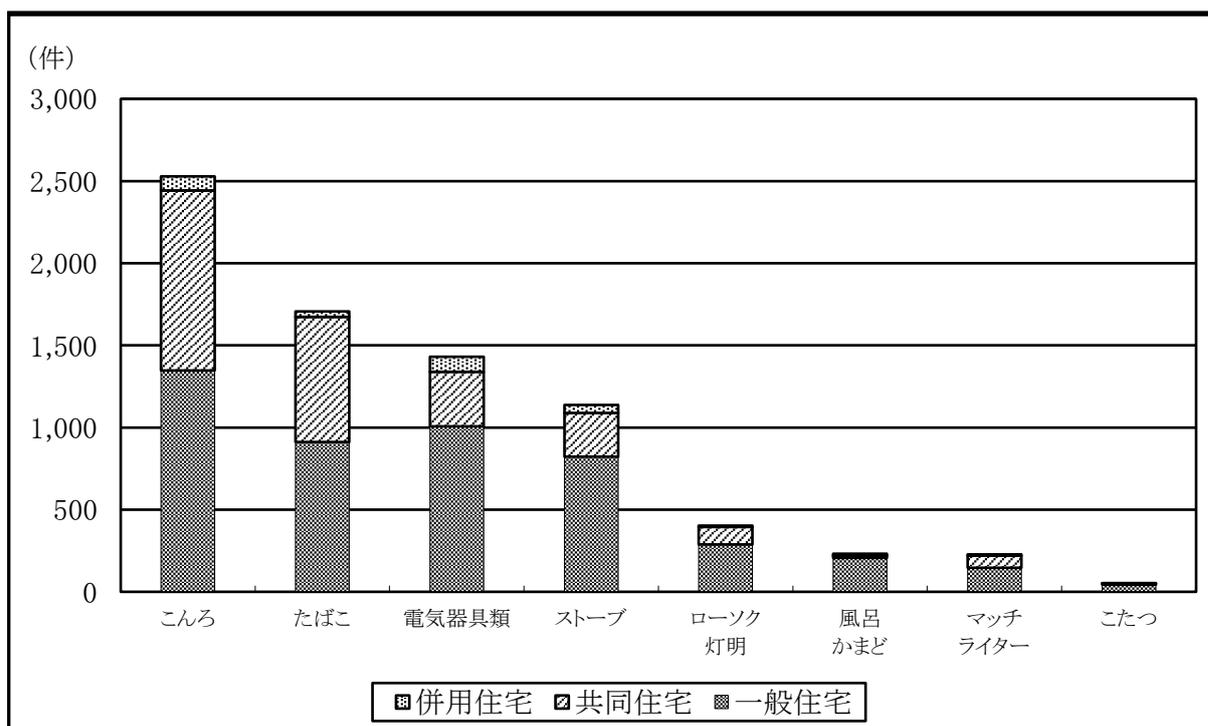
(2) 発火源別火災件数

住宅火災の発火源別火災件数は、多いものから順に「こんろ」によるもの2,528件(20.2%)、「たばこ」によるもの1,706件(13.6%)、「電気器具類」によるもの1,431件(11.4%)、「ストーブ」によるもの1,137件(9.1%)の順である。最も多い「こんろ」による火災が、住宅火災のほぼ5件に1件を占めている。

発火源別火災件数(放火を除く)

発火源	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)				
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
こ	ん	ろ	3,656	2,528	1,348	1,095	85
た	ば	こ	2,500	1,706	912	762	32
電	気	器	3,204	1,431	1,008	332	91
ス	ト	ー	1,435	1,137	823	266	48
ロ	ー	ソ	486	403	288	107	8
風	呂	か	267	232	207	13	12
マ	ッ	チ	351	228	146	75	7
こ	た	つ	56	52	43	8	1
そ	の	他	7,433	2,867	2,040	620	207
不	明		3,420	1,918	1,507	309	102
合	計		22,808	12,502	8,322	3,587	593

発火源別火災件数(放火を除く)



(* 発火源のその他、不明は除く)

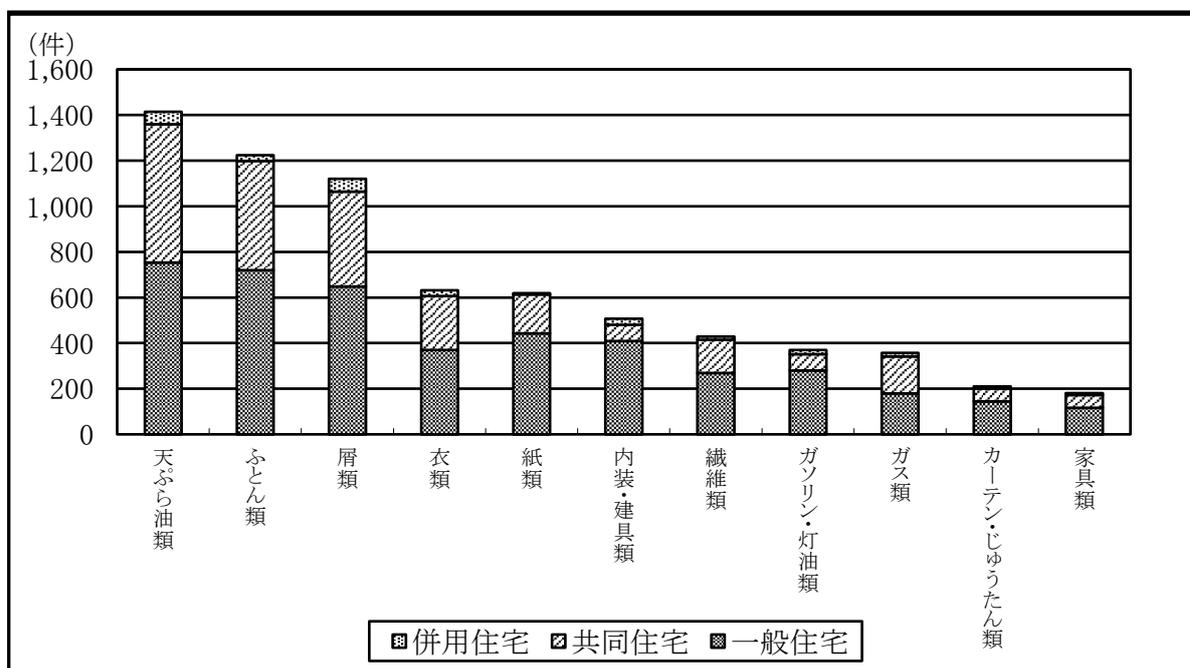
(3) 着火物別火災件数

住宅火災の着火物別火災件数は、多いものから「天ぷら油類」によるもの1,414件(11.3%)、「ふとん類」によるもの1,224件(9.8%)、「屑類」によるもの1,120件(9.0%)である。「天ぷら油類」「ふとん類」「屑類」の上位3つで住宅火災全体の3割を占めている。

着火物別火災件数(放火を除く)

着火物	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
天ぷら油類		2,256	1,414	754	605	55
ふとん類		1,460	1,224	720	479	25
屑類		2,580	1,120	648	416	56
衣類		1,113	631	370	237	24
紙類		806	619	442	172	5
内装・建具類		865	507	409	71	27
繊維類		713	428	269	146	13
ガソリン・灯油類		839	370	280	72	18
ガス類		592	357	180	162	15
カーテン・じゅうたん類		260	210	144	57	9
家具類		291	181	117	55	9
その他		7,523	3,356	2,298	842	216
不明		3,510	2,085	1,691	273	121
合計		22,808	12,502	8,322	3,587	593

着火物別火災件数(放火を除く)



(* 着火物のその他、不明は除く)

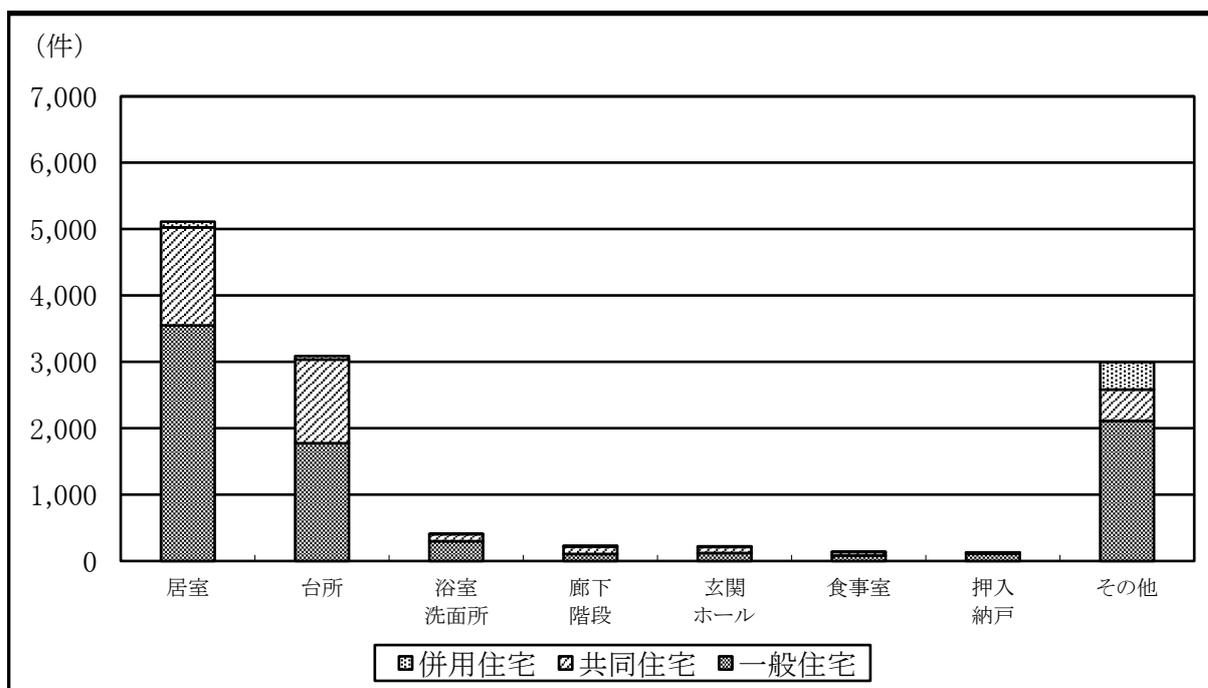
(4)出火箇所別火災件数

住宅火災件数のうち「居室」を出火箇所とする火災が5,114件(40.9%)と最も多く、次いで「台所」を出火箇所とする火災が3,087件(24.7%)と前年と同じ順になっている。この「居室」または「台所」を出火箇所とする火災だけで全体の65.6%(前年67.0%)を占め、主な出火箇所となっている。

出火箇所別火災件数(放火を除く)

出火箇所	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
居 室		5,826	5,114	3,551	1,477	86
台 所		3,553	3,087	1,776	1,257	54
浴 室・洗 面 所		665	408	297	106	5
廊 下・階 段		389	230	105	114	11
玄 関・ホ ー ル		346	222	120	94	8
食 事 室		161	139	84	51	4
押 入・納 戸		155	131	112	14	5
そ の 他		11,429	2,999	2,114	470	415
不 明		284	172	163	4	5
合 計		22,808	12,502	8,322	3,587	593

出火箇所別火災件数(放火を除く)



(* 出火箇所の不明は除く)

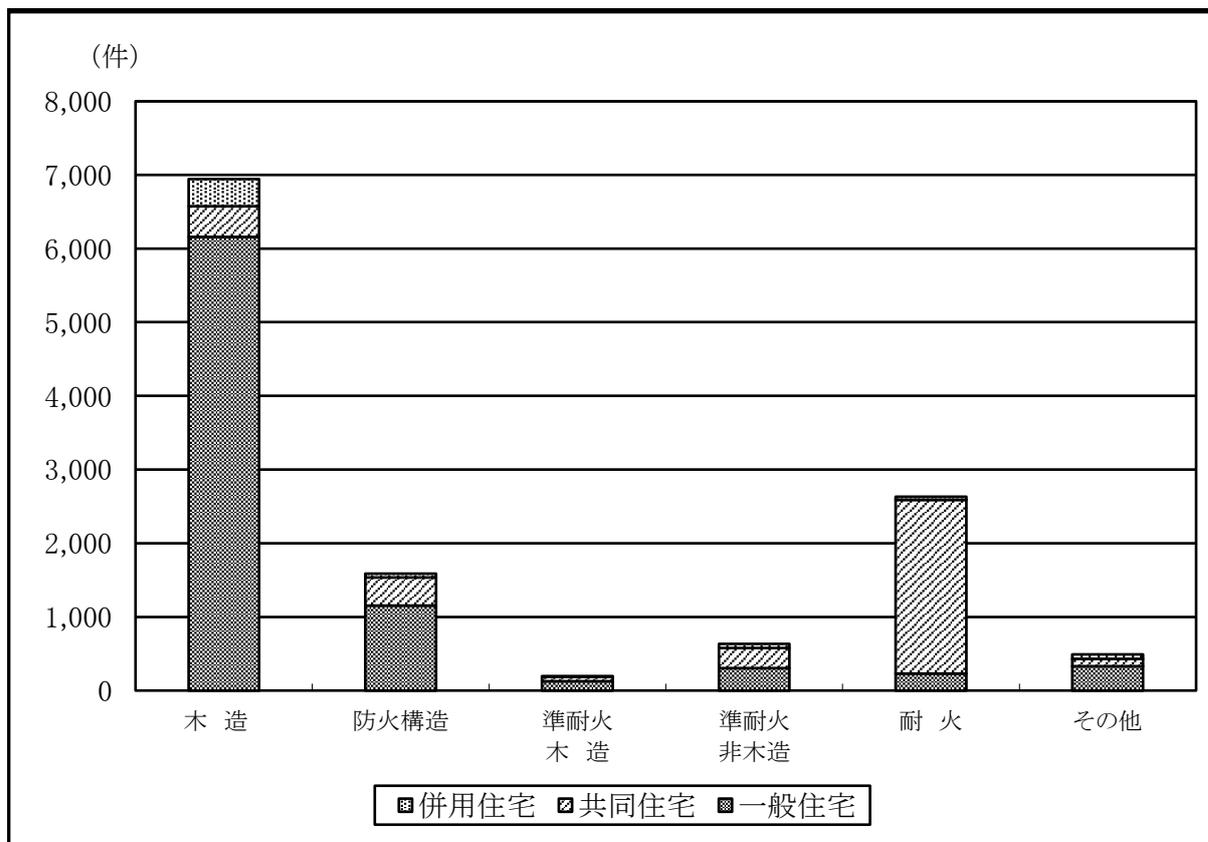
(5) 建物構造別火災件数

住宅火災件数のうち「木造建築物」が6,945件(55.6%)と前年と同じく6割近くを占めている。次いで「耐火建築物」が2,630件(21.0%)、「防火構造建築物」が1,587件(12.7%)となっている。

建物構造別火災件数(放火を除く)

建物構造	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
木造建築物		9,733	6,945	6,160	413	372
防火構造建築物		2,127	1,587	1,155	381	51
準耐火木造建築物		326	198	125	62	11
準耐火非木造建築物		2,624	634	306	273	55
耐火建築物		5,778	2,630	232	2,355	43
その他		1,928	491	330	102	59
不明		292	17	14	1	2
合計		22,808	12,502	8,322	3,587	593

建物構造別火災件数(放火を除く)



(* 建物構造の不明は除く)

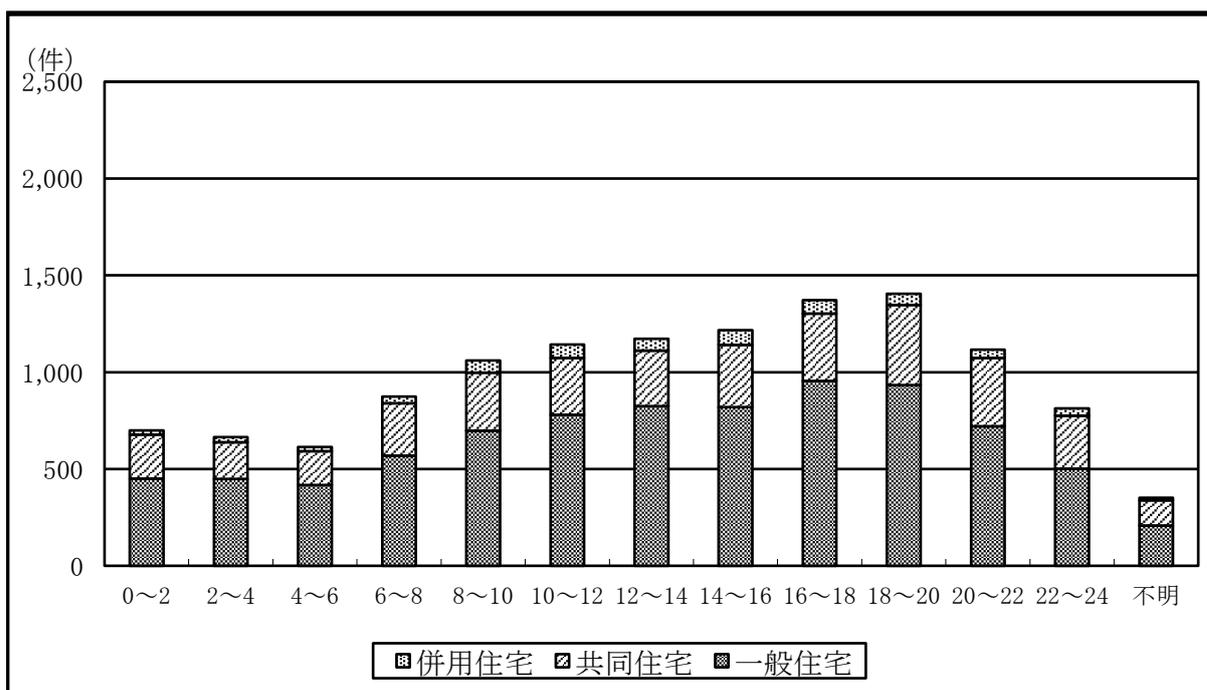
(6) 時間帯別火災件数

住宅火災の時間帯別火災件数は、就寝時間帯以外に多く発生しており、前年と同じく「18時から20時」が1,405件(11.2%)と最も多く、次いで「16時から18時」の1,372件(11.0%)、というように夕飯時に多くなっている。

時間帯別火災件数(放火を除く)

時間帯	区分 建物火災 (件)	住宅火災(件)			
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
0 ~ 2	1,270	700	450	228	22
2 ~ 4	1,147	664	448	191	25
4 ~ 6	1,034	613	417	175	21
6 ~ 8	1,365	874	569	271	34
8 ~ 10	1,918	1,060	698	300	62
10 ~ 12	2,244	1,142	780	294	68
12 ~ 14	2,384	1,173	824	288	61
14 ~ 16	2,365	1,217	819	322	76
16 ~ 18	2,471	1,372	954	348	70
18 ~ 20	2,403	1,405	933	414	58
20 ~ 22	1,985	1,117	720	353	44
22 ~ 24	1,460	813	502	273	38
不明	762	352	208	130	14
合計	22,808	12,502	8,322	3,587	593

時間帯別火災件数(放火を除く)



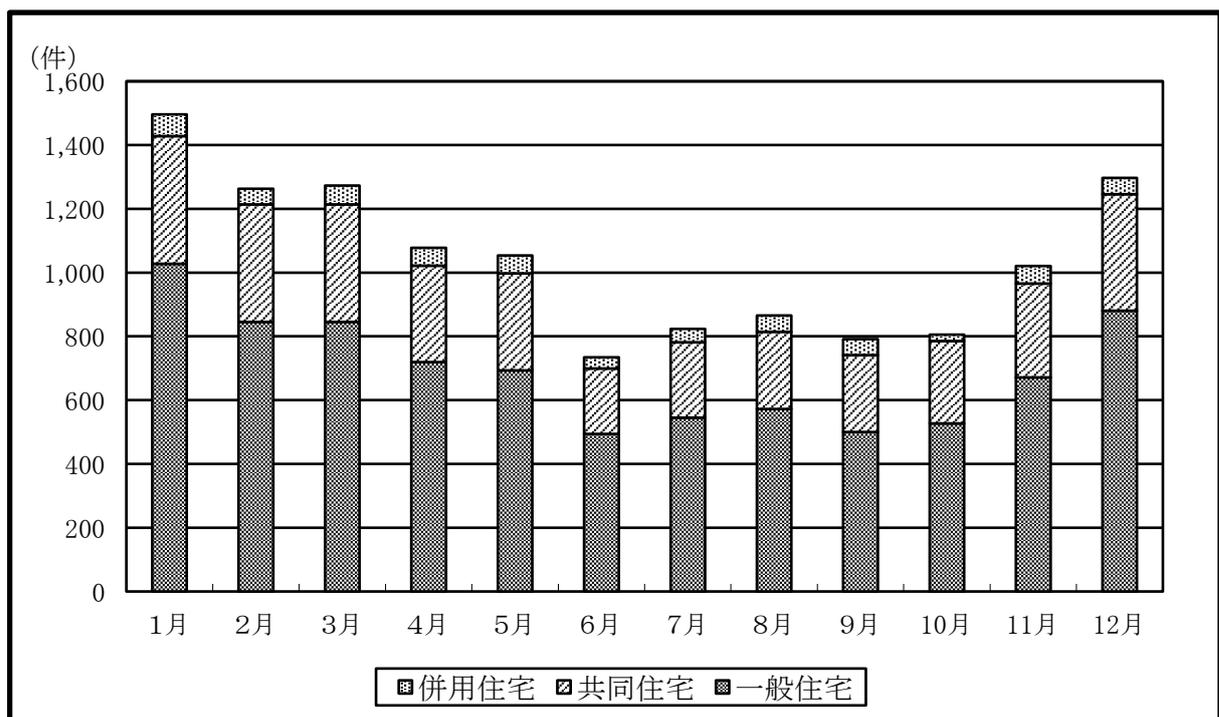
(7) 月別火災件数

住宅火災の月別火災件数は、前年と同じく12月から3月までの4ヶ月間が多く、また、この期間に全体の4割(42.6%)を超える5,329件の火災が発生している。

月別火災件数(放火を除く)

月	区分	建物火災 (件)	住宅火災(件)			
			合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
1月		2,372	1,496	1,028	400	68
2月		2,093	1,263	846	368	49
3月		2,379	1,273	846	368	59
4月		1,941	1,078	719	303	56
5月		2,023	1,054	693	305	56
6月		1,484	734	494	205	35
7月		1,644	824	545	236	43
8月		1,721	866	572	243	51
9月		1,555	791	500	241	50
10月		1,574	805	527	258	20
11月		1,823	1,021	671	295	55
12月		2,199	1,297	881	365	51
合計		22,808	12,502	8,322	3,587	593

月別火災件数(放火を除く)



(8) 都道府県別火災件数

住宅火災の多い都道府県は、「東京都(1,234件)」、「大阪府(964件)」、「神奈川県(701件)」の順となっており、少ない都道府県は、「福井県(56件)」、「石川県(68件)」、「島根県(75件)」の順となっている。

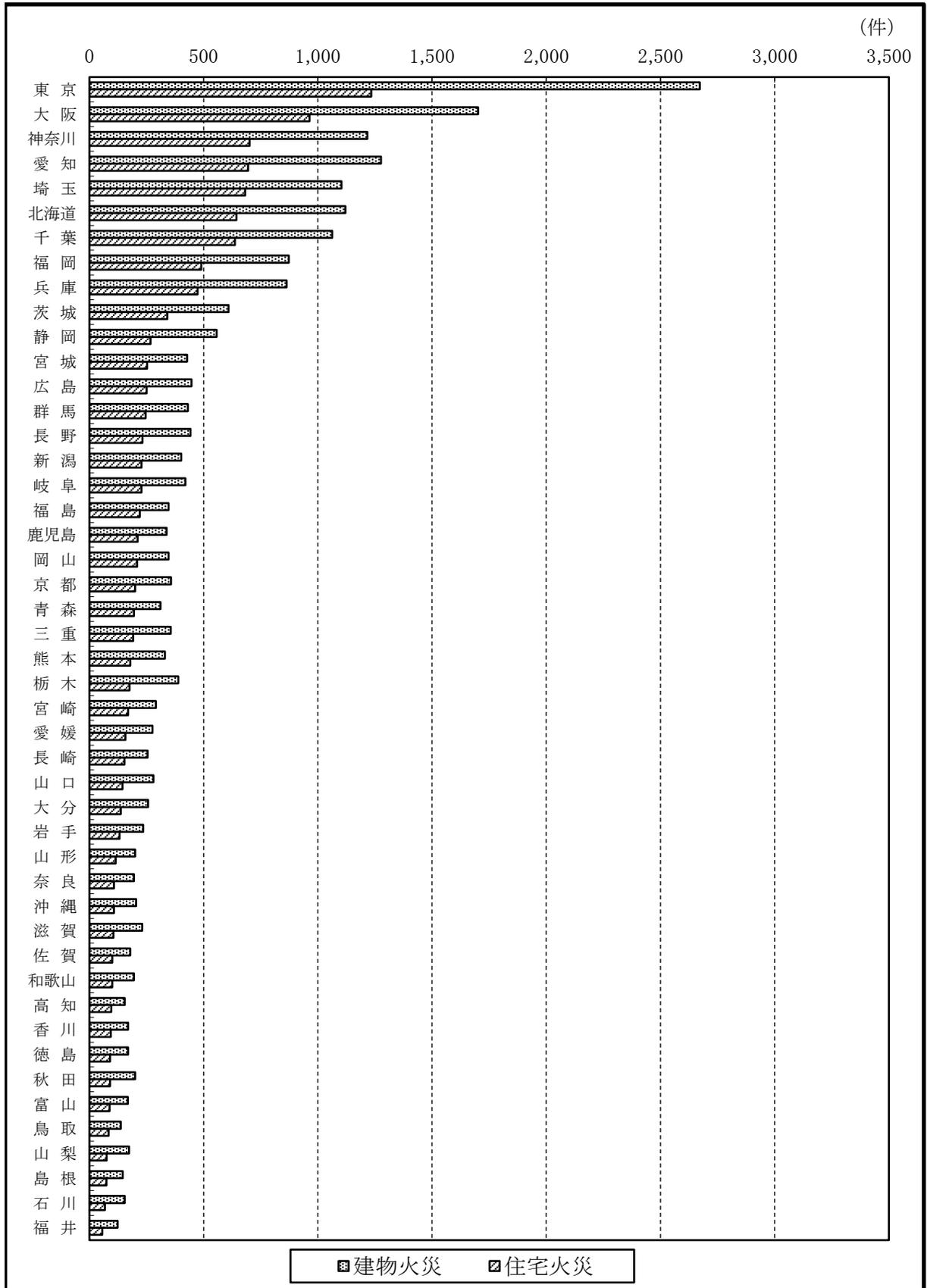
また、10万世帯当たりの住宅火災件数は「鳥取県(36.3件)」が最も多く、次いで「青森県(33.5件)」、「宮崎県(33.0件)」となっている。

都道府県別出火件数(放火を除く)

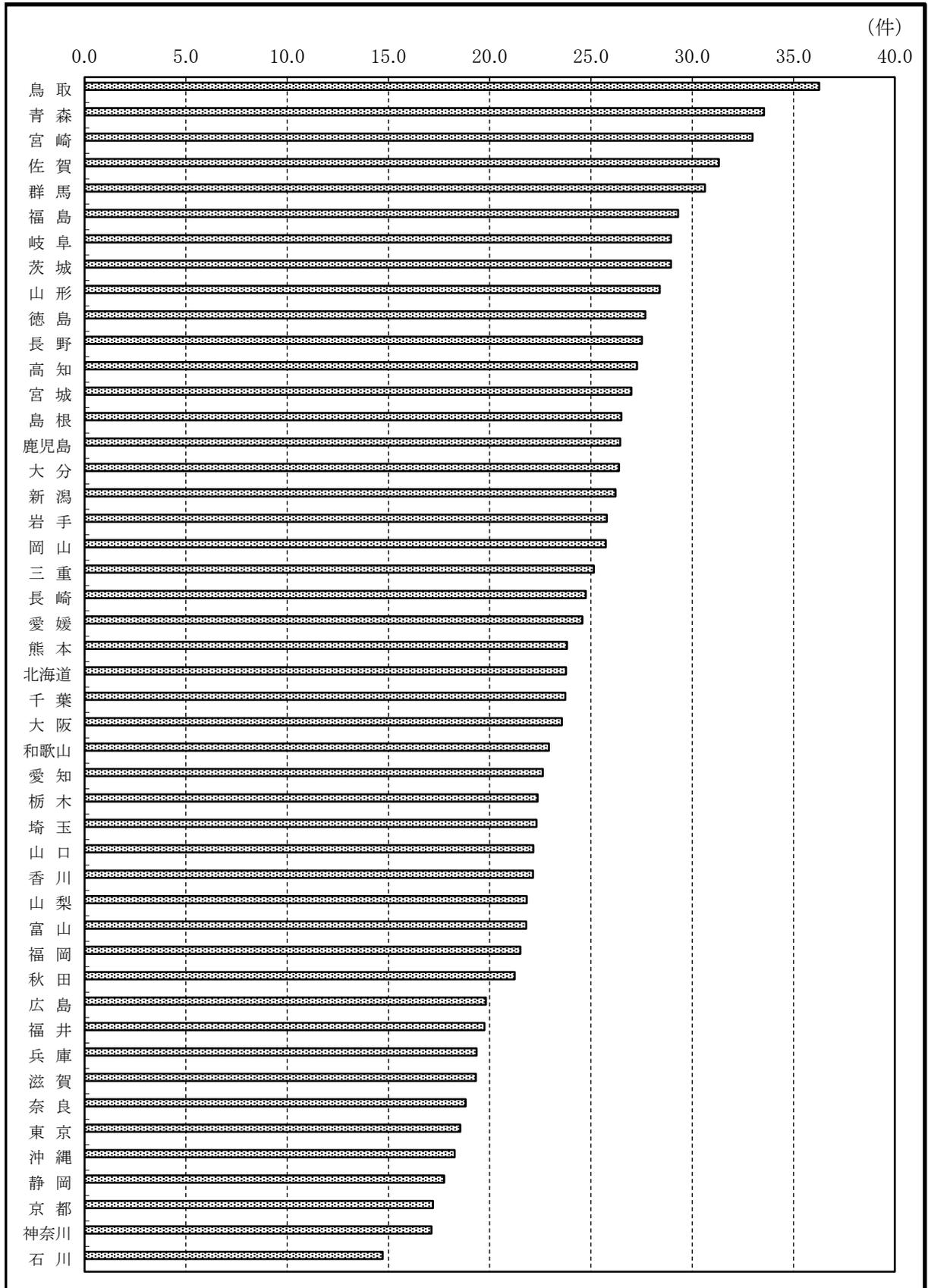
都道府県名	建物火災 (件)	住宅火災(件)				10万世帯当たりの 住宅火災件数	世 帯 数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅		
北海道	1,121	644	430	188	26	23.8	2,709,610
青森	311	195	164	20	11	33.5	581,393
岩手	236	132	109	13	10	25.8	512,115
宮城	428	253	186	58	9	27.0	937,269
秋田	200	90	81	7	2	21.2	423,751
山形	201	115	89	13	13	28.4	404,981
福島	347	221	175	27	19	29.3	754,115
茨城	609	341	292	36	13	29.0	1,177,748
栃木	389	176	139	22	15	22.4	786,704
群馬	431	246	196	31	19	30.6	803,368
埼玉	1,104	682	458	194	30	22.3	3,057,860
千葉	1,063	637	408	207	22	23.7	2,684,067
東京	2,672	1,234	534	695	5	18.5	6,653,367
神奈川	1,217	701	353	319	29	17.1	4,092,210
新潟	402	228	201	9	18	26.2	869,721
富山	168	88	65	11	12	21.8	403,627
石川	155	68	49	16	3	14.7	462,124
福井	124	56	46	9	1	19.7	283,611
山梨	174	76	63	5	8	21.8	348,271
長野	443	232	183	35	14	27.5	843,222
岐阜	420	228	182	37	9	29.0	787,440
静岡	557	268	198	61	9	17.7	1,509,901
愛知	1,277	695	424	248	23	22.6	3,072,876
三重	356	192	138	45	9	25.1	763,846
滋賀	231	105	76	25	4	19.3	543,393
京都	357	201	145	43	13	17.2	1,168,371
大阪	1,702	964	454	452	58	23.6	4,090,596
兵庫	864	474	272	186	16	19.4	2,448,763
奈良	195	108	80	16	12	18.8	573,923
和歌山	195	100	77	16	7	22.9	436,289
鳥取	138	84	72	8	4	36.3	231,638
島根	146	75	62	9	4	26.5	282,991
岡山	347	209	162	29	18	25.7	812,189
広島	447	251	180	65	6	19.8	1,266,881
山口	281	145	120	16	9	22.1	654,718
徳島	170	91	70	13	8	27.7	328,671
香川	170	94	80	8	6	22.1	424,532
愛媛	276	158	124	29	5	24.6	643,076
高知	155	96	75	18	3	27.3	351,945
福岡	873	490	300	172	18	21.5	2,278,258
佐賀	179	100	78	11	11	31.3	319,367
長崎	255	154	121	24	9	24.7	622,522
熊本	331	179	142	26	11	23.8	751,689
大分	257	138	100	22	16	26.4	522,988
宮崎	291	169	136	25	8	33.0	512,497
鹿児島	338	211	170	24	17	26.4	797,800
沖縄	205	108	63	44	1	18.3	591,269
合計	22,808	12,502	8,322	3,587	593	22.5	55,577,563

(* 世帯数は平成25年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

都道府県別出火件数(放火を除く)



都道府県別10万世帯当たりの住宅火災件数(放火を除く)



3 住宅火災による死者数

(1) 建物火災による死者のうち住宅火災による死者数

建物火災による死者数(放火自殺者等を除く。)は1,133人(前年比35人減)で、このうち住宅火災による死者数は997人(前年比19人減)(88.0%)(前年87.0%)である。

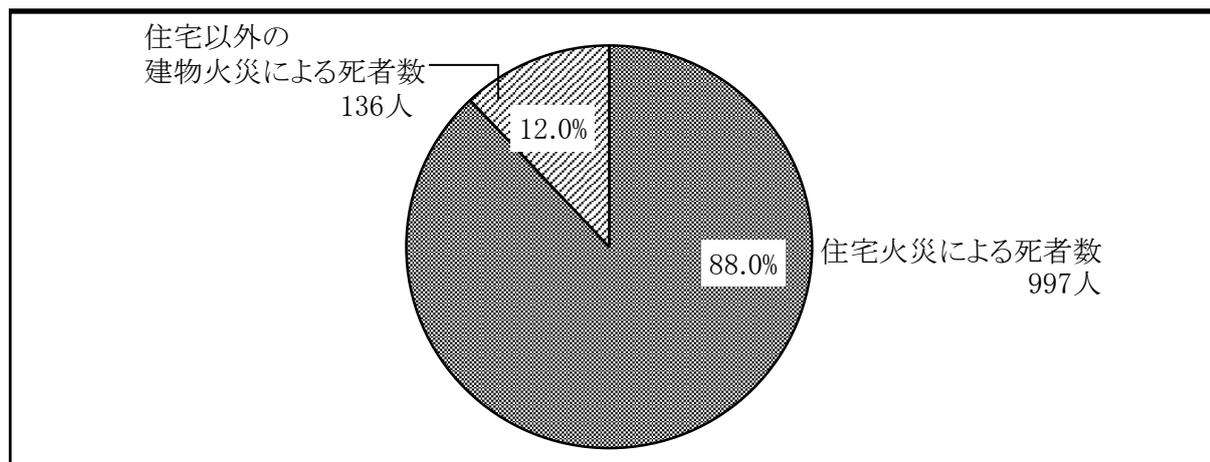
また、住宅火災による死者のうち814人(前年比8人増)(81.6%)(前年79.3%)は一般住宅において発生している。

建物火災の死者のうち住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)

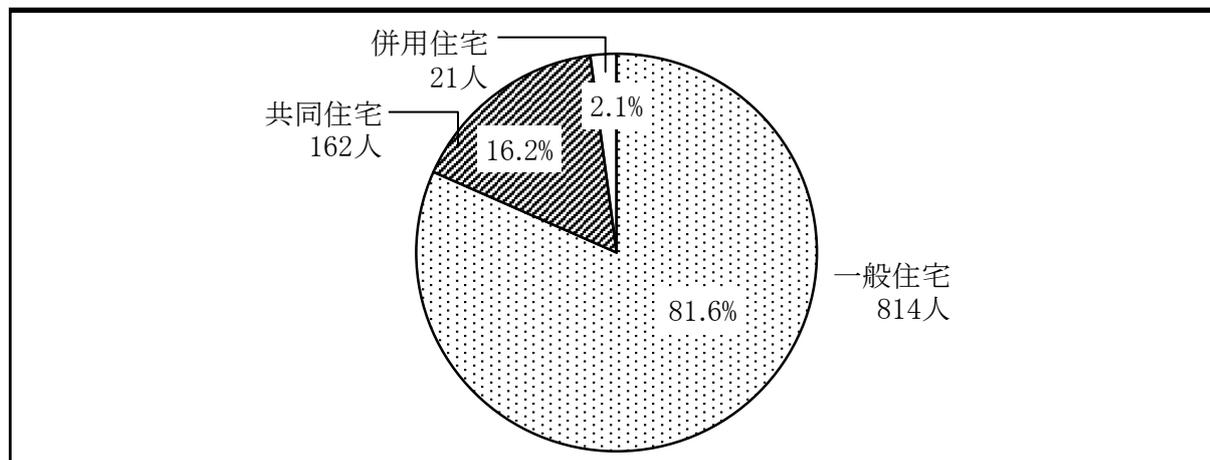
建物火災による死者数(人)	住宅火災による死者数(人)				住宅以外の建物火災による死者数(人)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
1,133	997	814	162	21	136
100.0%	88.0%	[81.6%]	[16.2%]	[2.1%]	12.0%

(* []は、住宅火災による死者数(997人)に占める割合)

建物火災による死者発生状況(放火自殺者等を除く)



住宅形態別の死者発生状況(放火自殺者等を除く)



(2) 発火源別死者数

死者の発生した住宅火災の発火源は、「たばこ」によるもの141人(14.1%)、「ストーブ」によるもの103人(10.3%)、「電気器具類」によるもの77人(7.7%)である。また、65歳以上の高齢者については「ストーブ」によるもの86人(12.2%)、「たばこ」によるもの83人(11.8%)、次いで「電気器具類」によるもの63人(9.0%)となっている。

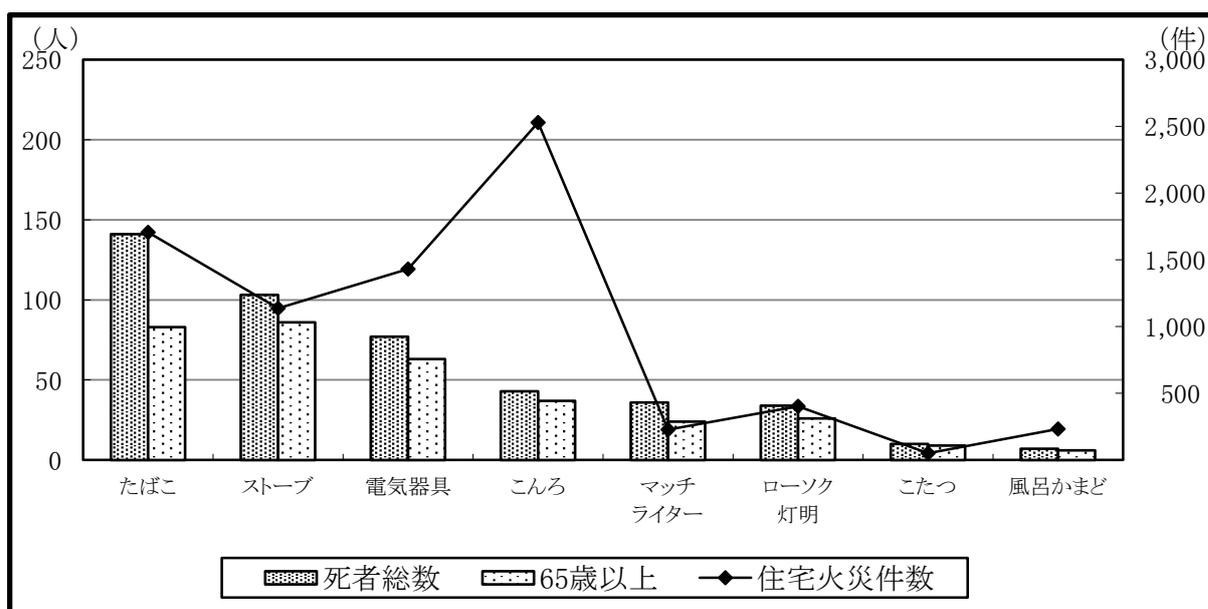
住宅火災の件数との関連をみると、「風呂かまど」は火災件数の割に死者数が少なくなっている。

発火源をエネルギー別にみると、「ストーブ」にあつては「石油」によるもの49人(47.6%)、「電気」によるもの44人(42.7%)で9割以上(90.3%)を占めている。また、「こんろ」にあつては、「ガス」が35人(81.4%)と最も多く、次いで「石油」の5人(11.6%)となっている。

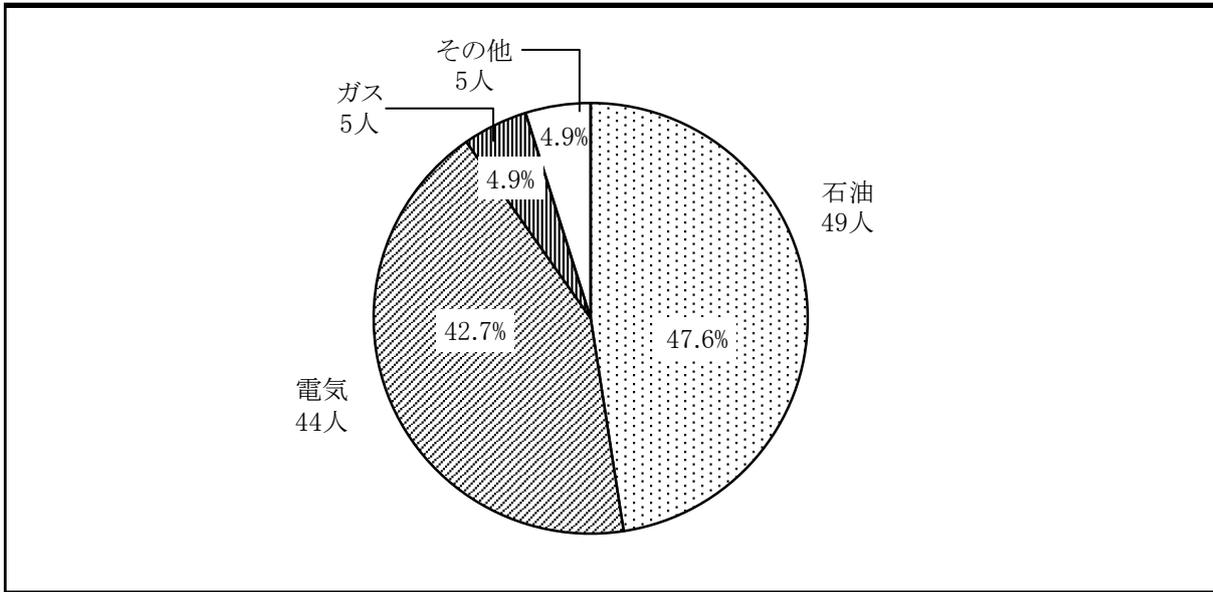
発火源別死者数(放火自殺者等を除く)

発火源	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
たばこ		141		57	83	1	1,706
ストーブ		103	1	16	86		1,137
電気器具類		77	1	12	63	1	1,431
こんろ		43	1	5	37		2,528
マッチ・ライター		36		12	24		228
ローソク・灯明		34		8	26		403
こたつ		10		1	9		52
風呂かまど		7		1	6		232
その他		53		16	36	1	2,867
不明		493	1	159	333		1,918
合計		997	4	287	703	3	12,502

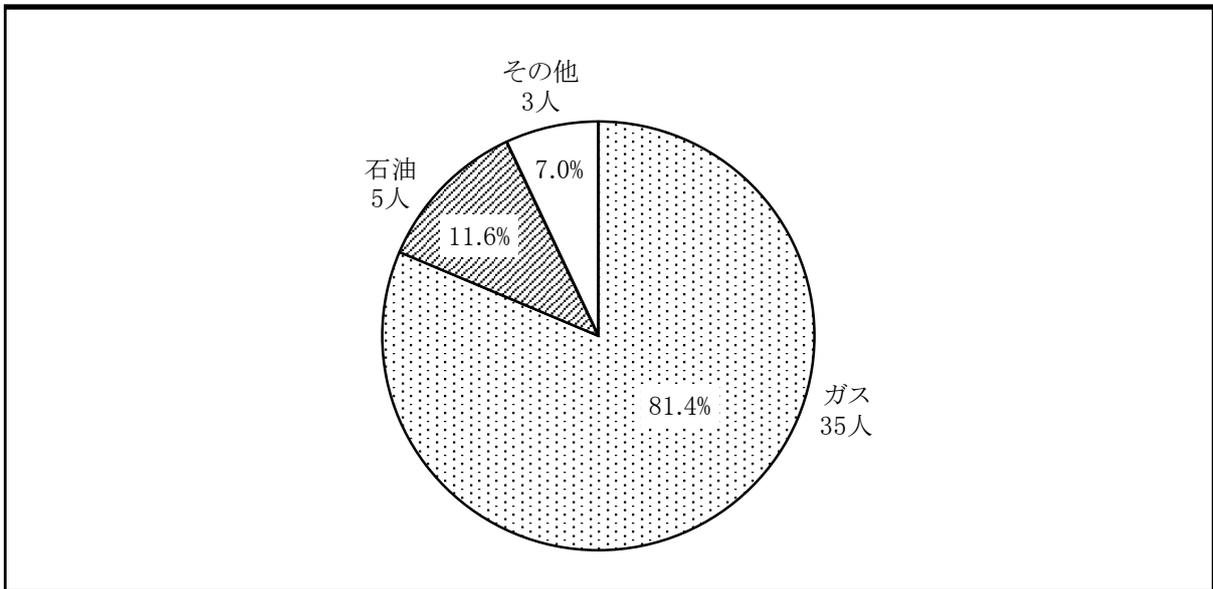
発火源別死者数(放火自殺者等を除く)



ストーブのエネルギー別死者数(放火自殺者等を除く)



こんろのエネルギー別死者数(放火自殺者等を除く)



(3) 着火物別死者数

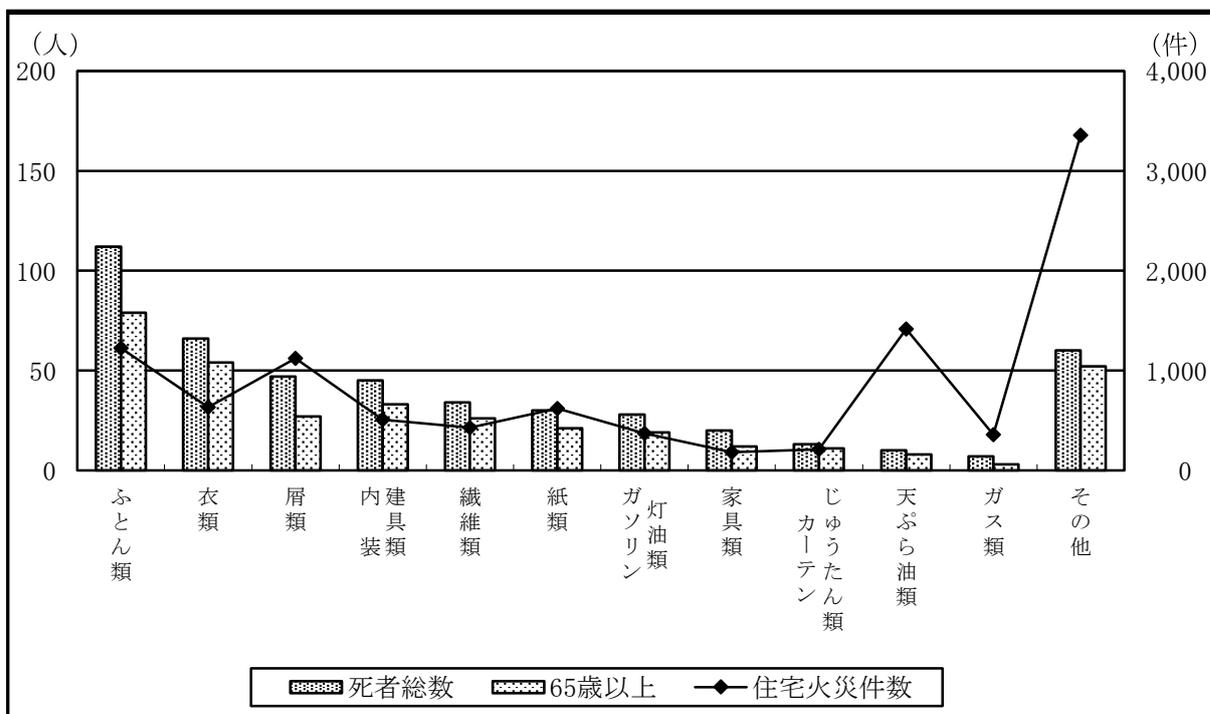
死者の発生した住宅火災の着火物は、多いものから順に「ふとん類」が112人(11.2%)、次いで「衣類」66人(6.6%)と前年と同じ順になっている。

住宅火災の件数との関連をみると、「天ぷら油類」は火災件数の割に死者数が少なくなっているが、「衣類」、「家具類」は多くなっている。

着火物別死者数(放火自殺者等を除く)

着火物	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
ふとん類		112		33	79		1,224
衣類		66	1	11	54		631
屑類		47		19	27	1	1,120
内装・建具類		45		11	33	1	507
繊維類		34		8	26		428
紙類		30		9	21		619
ガソリン・灯油類		28		9	19		370
家具類		20		8	12		181
カーテン・じゅうたん類		13		2	11		210
天ぷら油類		10	1	1	8		1,414
ガス類		7		4	3		357
その他		60		8	52		3,356
不明		525	2	164	358	1	2,085
合計		997	4	287	703	3	12,502

着火物別死者数(放火自殺者等を除く)



(* 着火物の不明は除く)

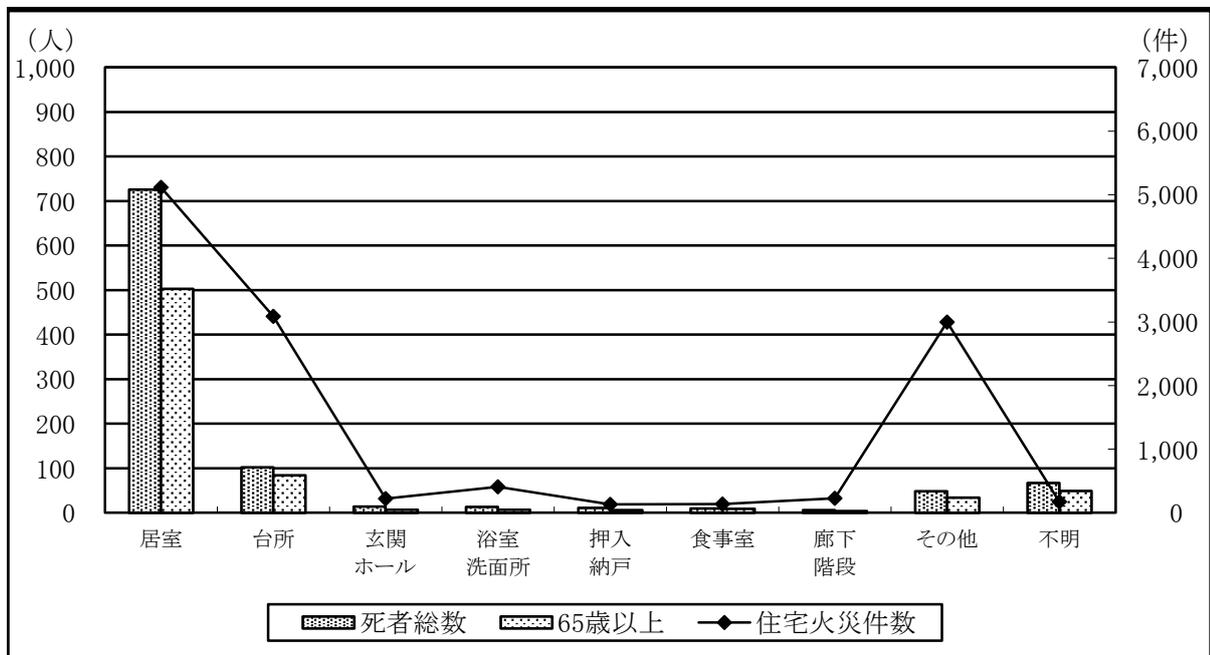
(4) 出火箇所別死者数

死者の発生した住宅火災のうち出火箇所として多いのは「居室」で、726人(前年比53人減)(72.8%)(前年76.7%)の死者が発生している。また、居室内での死者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が503人(69.3%)と7割近くを占めている。

出火箇所別死者数(放火自殺者等を除く)

出火箇所	年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数
居室		726	3	218	503	2	5,114
台所		102	1	17	84		3,087
玄関・ホール		14		7	7		222
浴室・洗面所		13		6	7		408
押入・納戸		11		5	6		131
食事室		10		1	9		139
廊下・階段		6		2	4		230
その他		48		13	34	1	2,999
不明		67		18	49		172
合計		997	4	287	703	3	12,502

出火箇所別死者数(放火自殺者等を除く)



(5) 建物構造別死者数

死者の発生した住宅火災を建物構造別にみると、前年と同じく「木造建築物」が最も多く733人(前年比21人増)(73.5%)(前年70.1%)となっており、その内538人(前年比52人増)(73.4%)(前年68.3%)が65歳以上の高齢者である。

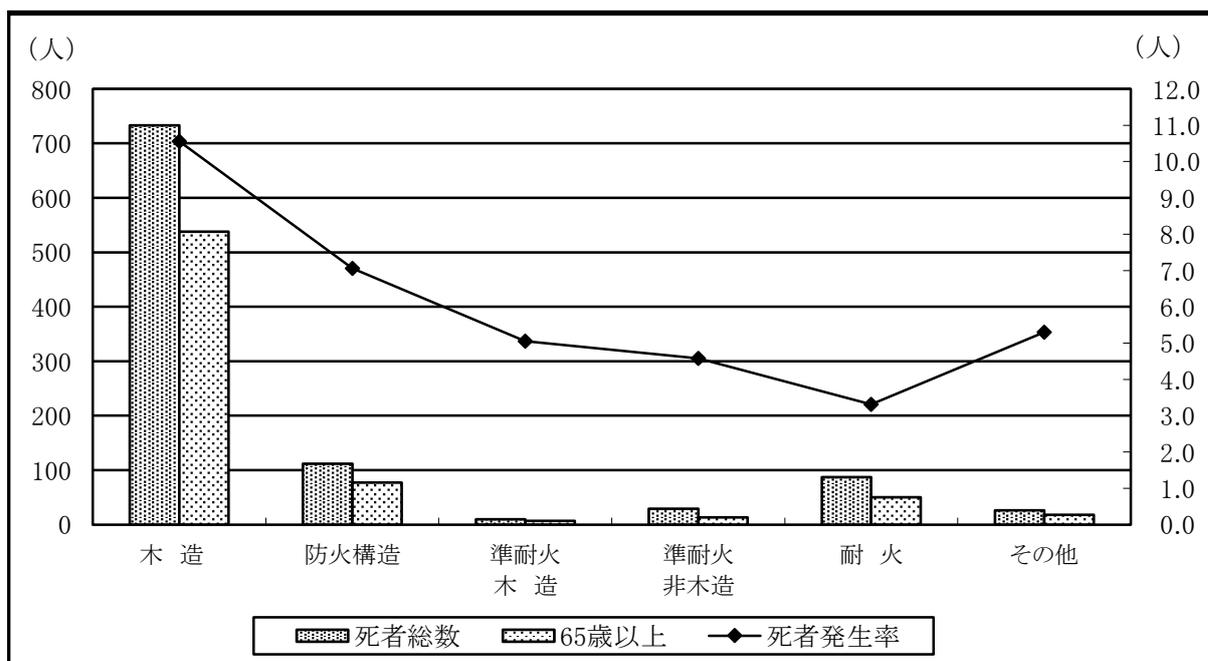
住宅火災100件当たりの死者発生率をみると、「耐火建築物」が3.3人(前年4.2人)に対し、「木造建築物」が10.6人(前年10.0人)と「木造建築物」で火災が発生した場合の死者発生率が高い値を示している。

建物構造別死者数(放火自殺者等を除く)

建物構造	年齢					住宅火災 件数	死者 発生率
	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明		
木造建築物	733	2	191	538	2	6,945	10.6
防火構造建築物	112	1	33	77	1	1,587	7.1
準耐火木造建築物	10		3	7		198	5.1
準耐火非木造建築物	29		16	13		634	4.6
耐火建築物	87		37	50		2,630	3.3
その他	26	1	7	18		491	5.3
不明	0					17	0.0
合計	997	4	287	703	3	12,502	8.0

(※ 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

建物構造別死者数(放火自殺者等を除く)



(※ 建物構造の不明は除く)

(6) 時間帯別死者数

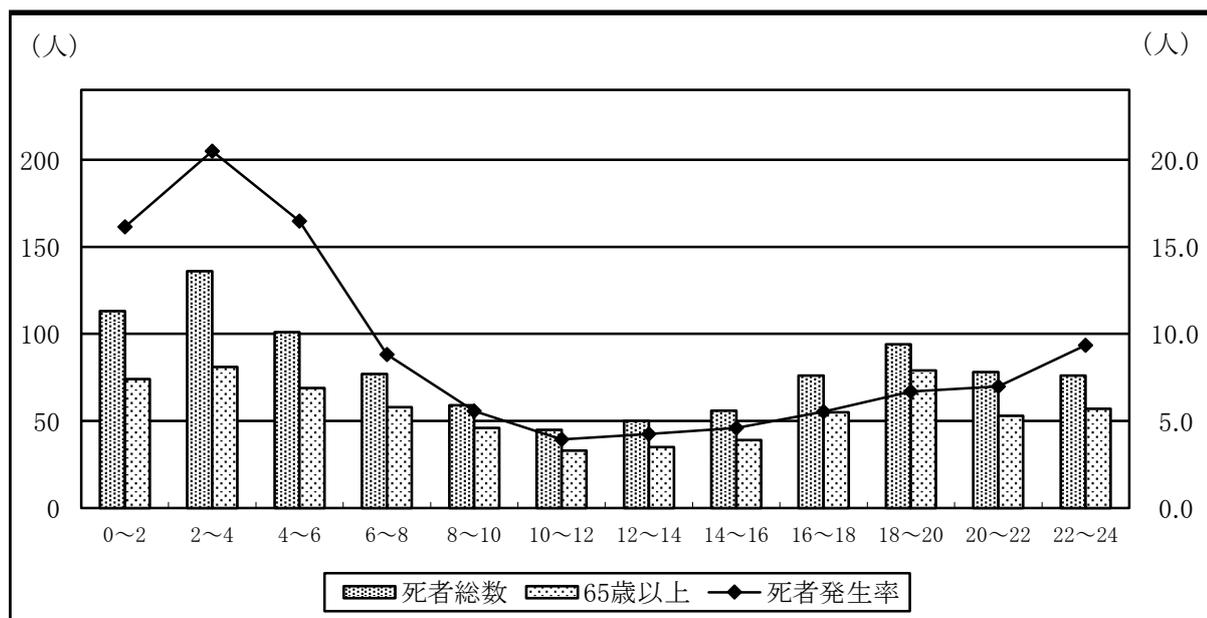
死者の発生した住宅火災を時間帯別にみると、0時から6時の深夜に350人(35.1%)と多くの死者が発生しているが、同時刻の住宅火災の件数は少なくなっており、死者発生率が高くなっている。

時間帯別死者数(放火自殺者等を除く)

時間帯 \ 年齢	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明	住宅火災 件数	死者 発生率
0 ~ 2	113	1	37	74	1	700	16.1
2 ~ 4	136		54	81	1	664	20.5
4 ~ 6	101		32	69		613	16.5
6 ~ 8	77		19	58		874	8.8
8 ~ 10	59		12	46	1	1,060	5.6
10 ~ 12	45		12	33		1,142	3.9
12 ~ 14	50		15	35		1,173	4.3
14 ~ 16	56	2	15	39		1,217	4.6
16 ~ 18	76	1	20	55		1,372	5.5
18 ~ 20	94		15	79		1,405	6.7
20 ~ 22	78		25	53		1,117	7.0
22 ~ 24	76		19	57		813	9.3
不明	36		12	24		352	10.2
合計	997	4	287	703	3	12,502	8.0

(* 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

時間帯別死者数(放火自殺者等を除く)



(* 時間帯の不明は除く)

(7) 月別死者数

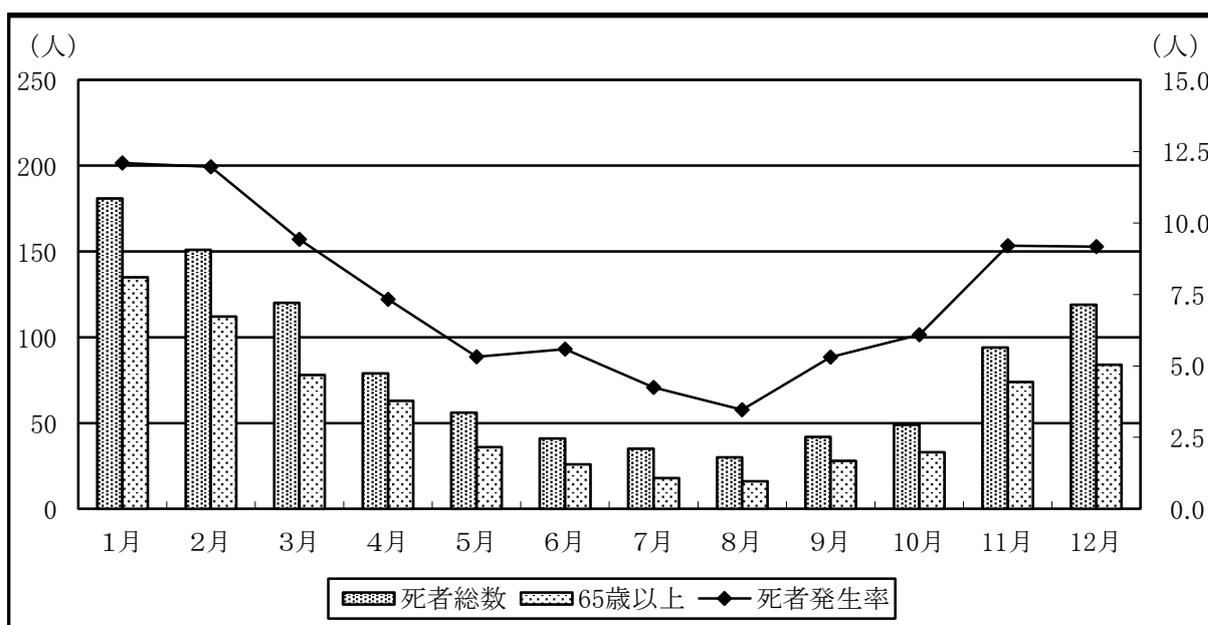
死者の発生した住宅火災を月別にみると、前年と同じく12月から3月までの4ヶ月間に571人(57.3%)と多くの死者が発生している。住宅火災の件数との関連をみると1月と2月は1割以上の死者発生率となっている。

月別死者数(放火自殺者等を除く)

月	年齢					住宅火災 件数	死者 発生率
	死者総数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不明		
1月	181	1	45	135		1,496	12.1
2月	151	1	37	112	1	1,263	12.0
3月	120		41	78	1	1,273	9.4
4月	79		16	63		1,078	7.3
5月	56	1	19	36		1,054	5.3
6月	41		15	26		734	5.6
7月	35		17	18		824	4.2
8月	30		14	16		866	3.5
9月	42		13	28	1	791	5.3
10月	49		16	33		805	6.1
11月	94		20	74		1,021	9.2
12月	119	1	34	84		1,297	9.2
合計	997	4	287	703	3	12,502	8.0

(* 死者発生率は、住宅火災100件当たりの死者数を示す。)

月別死者数(放火自殺者等を除く)



(8) 都道府県別死者数

死者の発生した住宅火災を都道府県別にみると、「神奈川県(64人)」が最も多く、次いで「大阪府(56人)」、「東京都(54人)」となっている。一方、死者の少ない都道府県は、「島根県(1人)」、「石川県(4人)」、「福井県(5人)」となっている。

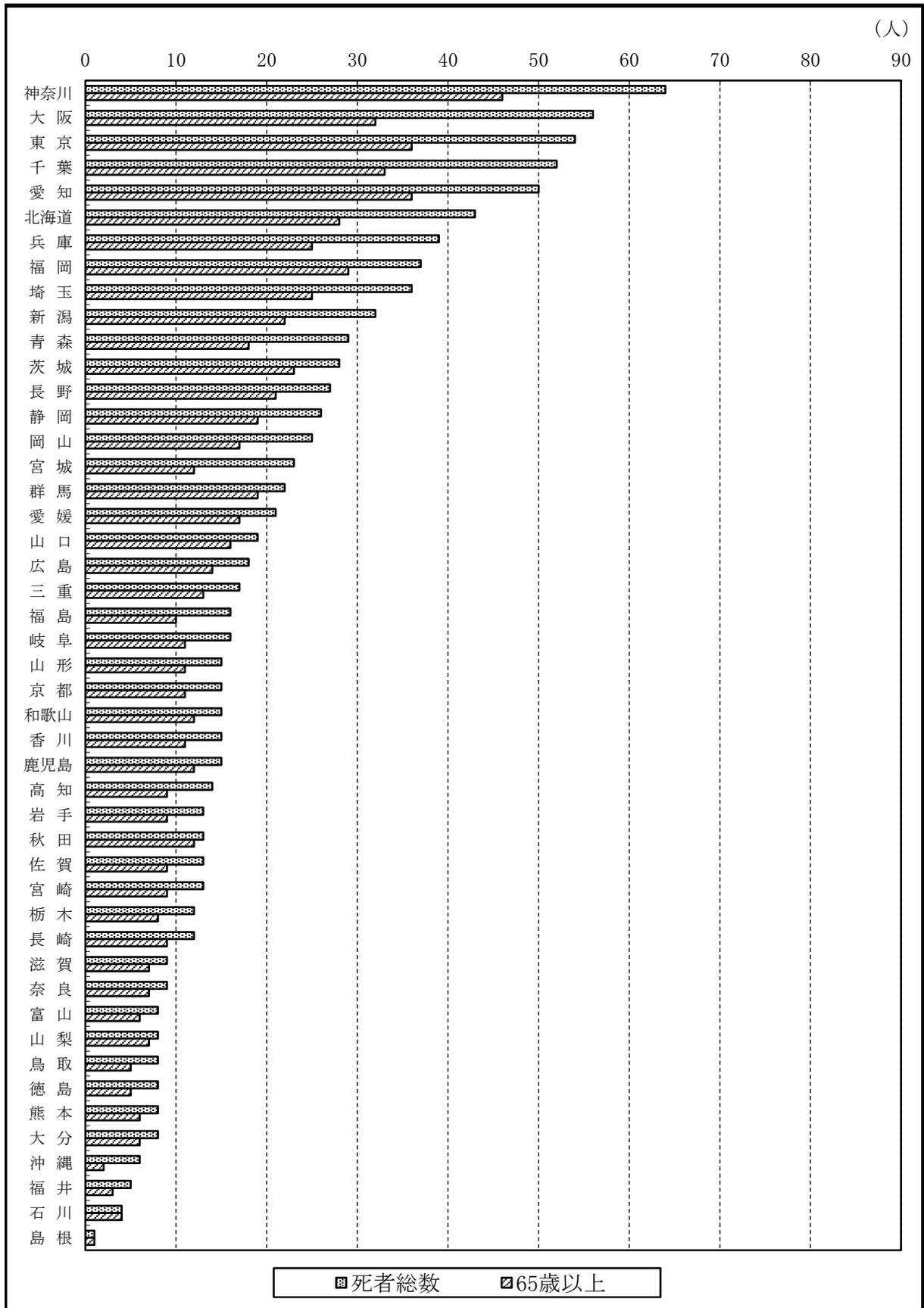
また、人口10万人当たりの死者数をみると、「青森県(2.11人)」が最も多く、次いで「高知県(1.85人)」、「佐賀県(1.52人)」となっている。

都道府県別死者数(放火自殺者等を除く)

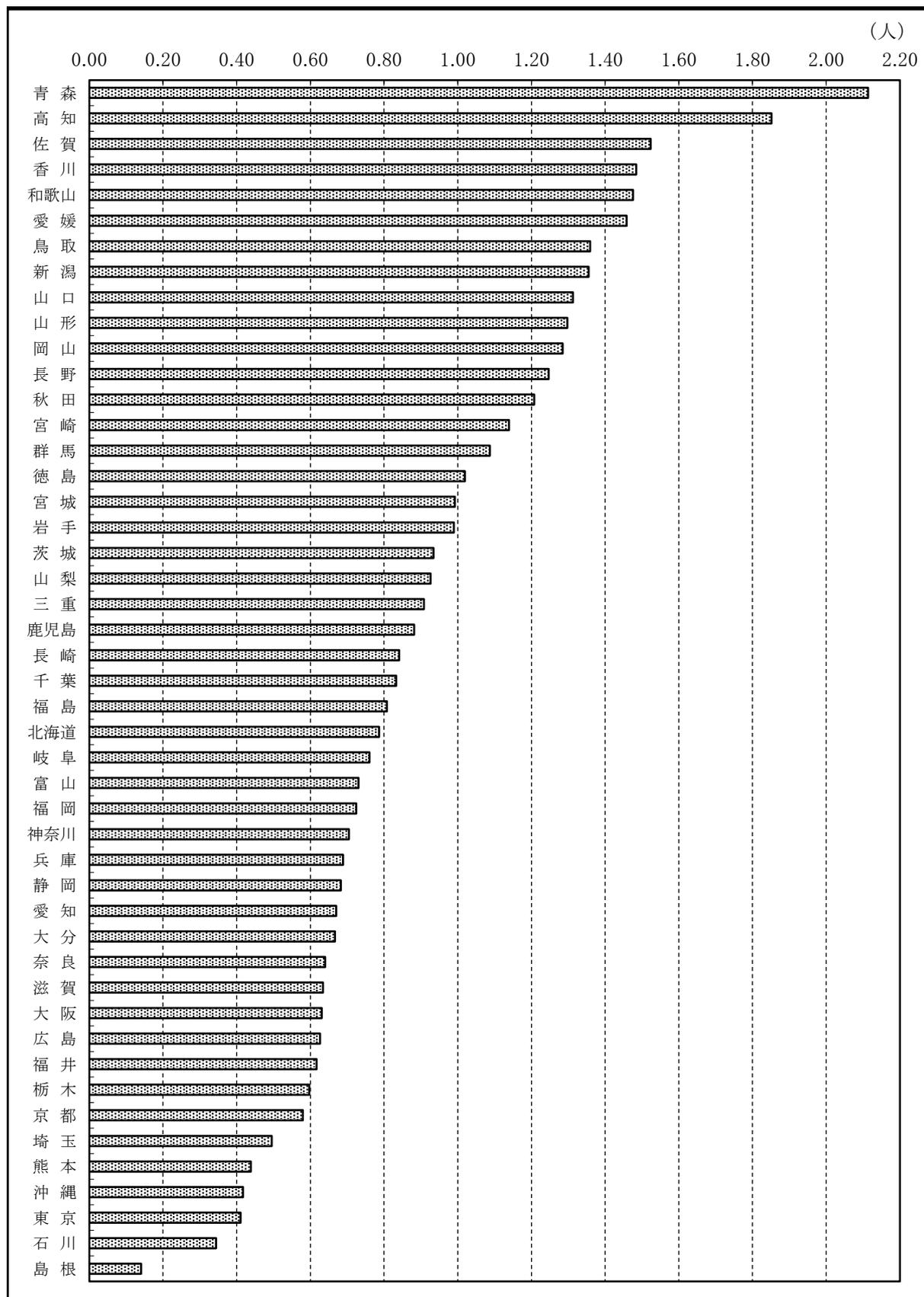
都道府県名	年齢				不明	人口10万人当たりの死者数	人口
	死者数	5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上			
北海道	43		15	28		0.79	5,465,451
青森	29		11	18		2.11	1,372,010
岩手	13	1	3	9		0.99	1,314,180
宮城	23		11	12		0.99	2,318,692
秋田	13		1	12		1.21	1,076,205
山形	15		4	11		1.30	1,155,942
福島	16		6	10		0.81	1,980,259
茨城	28		5	23		0.93	2,997,072
栃木	12		4	8		0.60	2,010,934
群馬	22		3	19		1.09	2,023,382
埼玉	36		11	25		0.50	7,272,304
千葉	52		17	33	2	0.83	6,240,455
東京	54		18	36		0.41	13,142,640
神奈川	64	1	17	46		0.70	9,083,643
新潟	32		10	22		1.36	2,361,133
富山	8		2	6		0.73	1,094,827
石川	4			4		0.34	1,163,089
福井	5		2	3		0.62	810,552
山梨	8		1	7		0.93	863,917
長野	27		6	21		1.25	2,165,604
岐阜	16		5	11		0.76	2,102,879
静岡	26		7	19		0.68	3,809,470
愛知	50		14	36		0.67	7,462,800
三重	17		4	13		0.91	1,871,619
滋賀	9		2	7		0.63	1,419,426
京都	15		4	11		0.58	2,587,129
大阪	56		23	32	1	0.63	8,873,698
兵庫	39		14	25		0.69	5,660,302
奈良	9		2	7		0.64	1,405,453
和歌山	15		3	12		1.48	1,016,563
鳥取	8		3	5		1.36	588,508
島根	1			1		0.14	713,134
岡山	25		8	17		1.28	1,946,083
広島	18		4	14		0.63	2,873,603
山口	19		3	16		1.31	1,447,499
徳島	8		3	5		1.02	785,001
香川	15		4	11		1.48	1,010,707
愛媛	21		4	17		1.46	1,440,117
高知	14	1	4	9		1.85	755,994
福岡	37	1	7	29		0.72	5,105,427
佐賀	13		4	9		1.52	853,341
長崎	12		3	9		0.84	1,427,133
熊本	8		2	6		0.44	1,825,361
大分	8		2	6		0.67	1,199,401
宮崎	13		4	9		1.14	1,141,559
鹿児島	15		3	12		0.88	1,701,387
沖縄	6		4	2		0.42	1,437,994
合計	997	4	287	703	3	0.78	128,373,879

(* 人口は平成25年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。)

都道府県別死者数(放火自殺者等を除く)



都道府県別人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く)



(9) 年齢別死者数

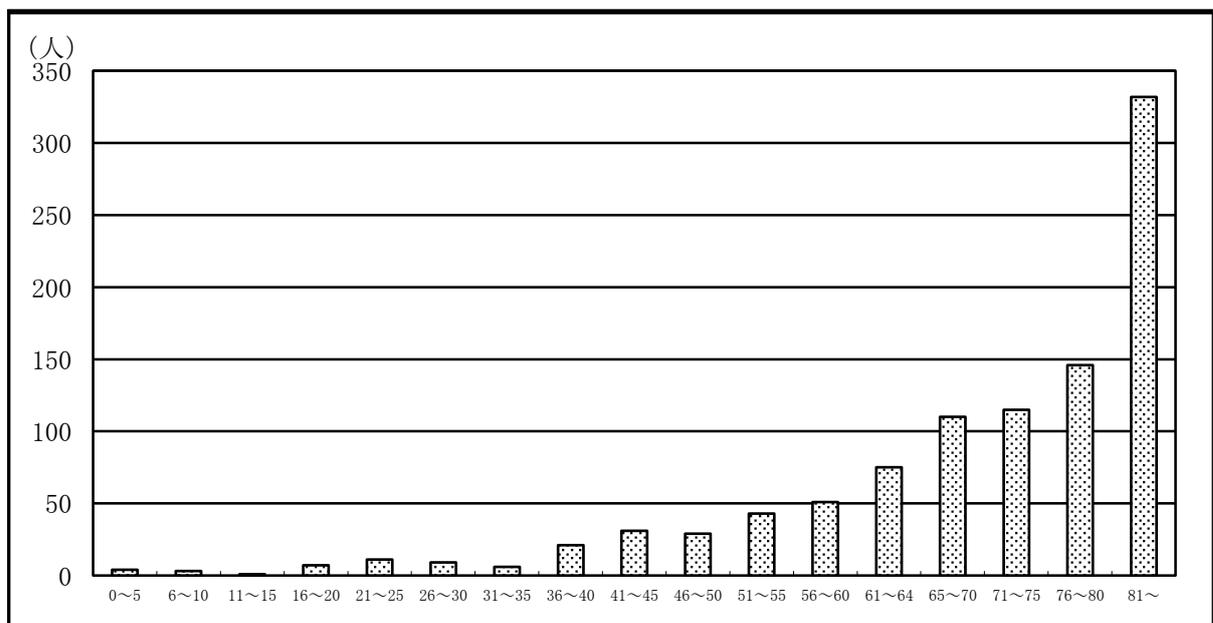
住宅火災における年齢別の死者は高齢者に多くみられ、65歳以上の高齢者の死者(703人)(前年比26人増)は全体の70.5%(前年66.6%)を占めている。

また、人口10万人当たりの死者数についても、同様の傾向がみられる。

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)

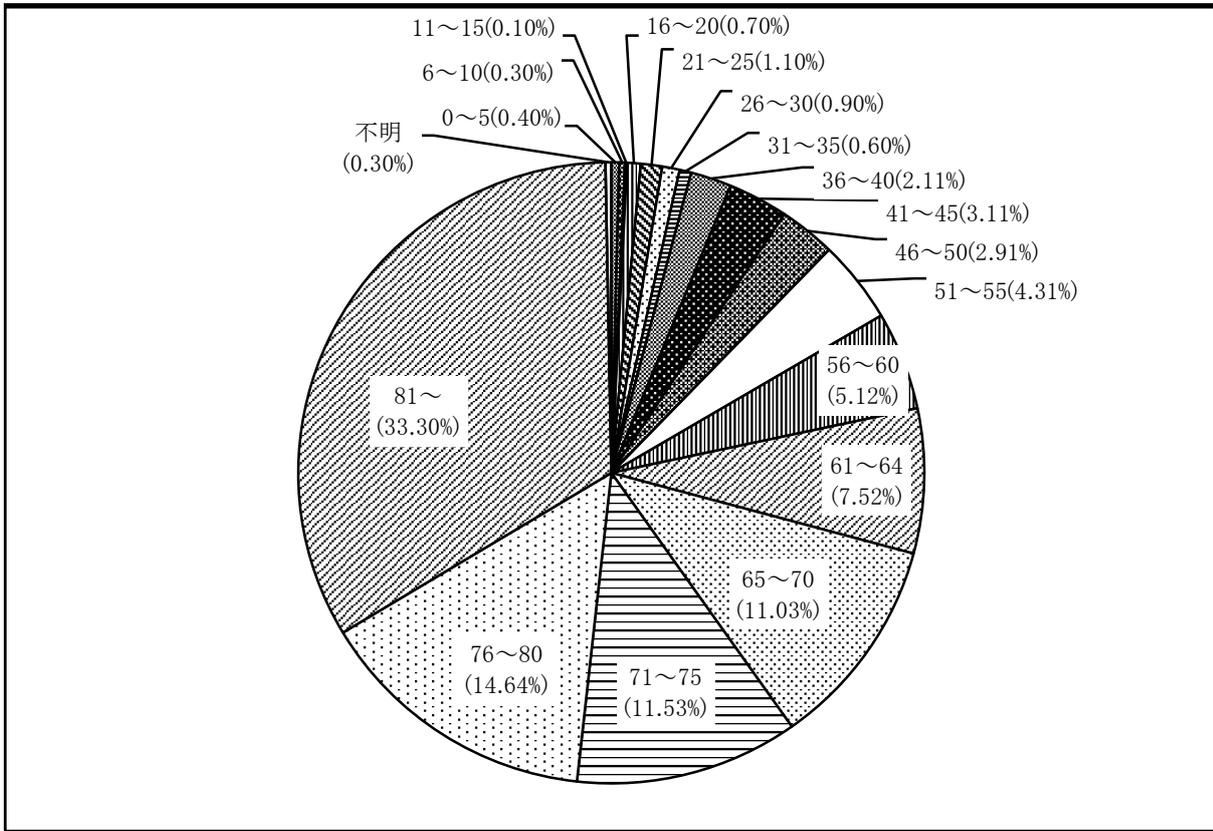
年齢	死者数 (人)	比率 (%)	人口10万人当たり の死者数(人)
0～5	4	0.40	0.06
6～10	3	0.30	0.06
11～15	1	0.10	0.02
16～20	7	0.70	0.12
21～25	11	1.10	0.17
26～30	9	0.90	0.13
31～35	6	0.60	0.08
36～40	21	2.11	0.22
41～45	31	3.11	0.33
46～50	29	2.91	0.35
51～55	43	4.31	0.56
56～60	51	5.12	0.64
61～64	75	7.52	0.94
65～70	110	11.03	1.06
71～75	115	11.53	1.58
76～80	146	14.64	2.40
81～	332	33.30	4.05
不明	3	0.30	—
合計	997	100.0	—

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)

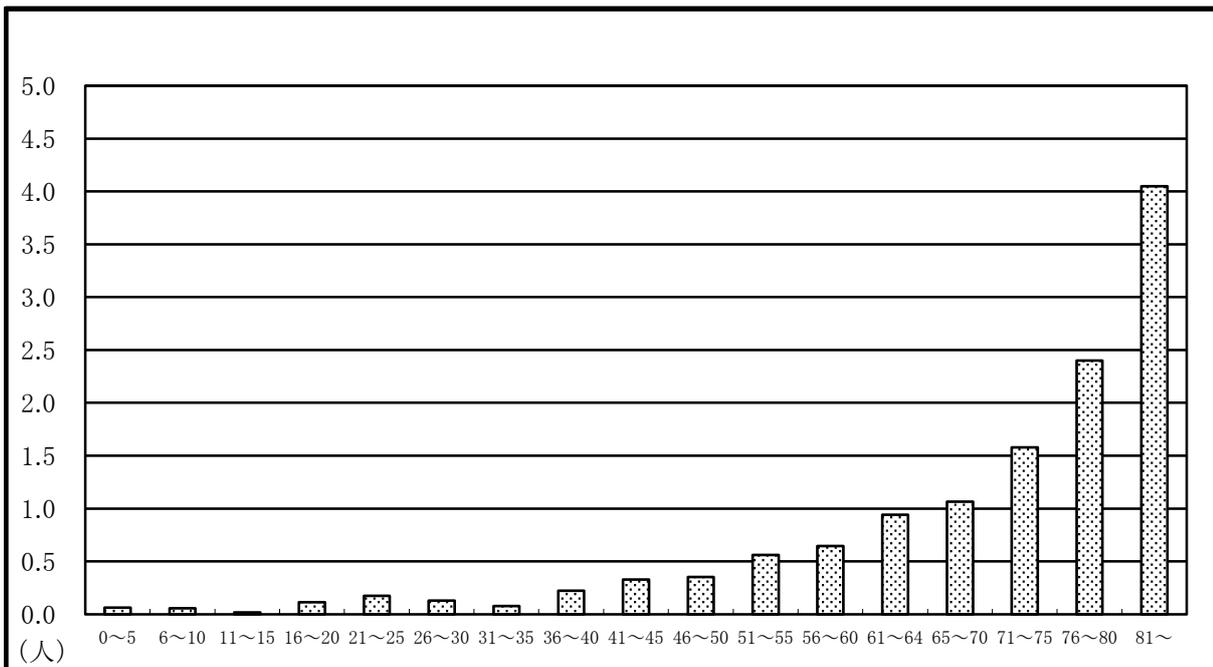


(* 年齢の不明は除く)

年齢別死者数(放火自殺者等を除く)



年齢別人口10万人当たりの死者数(放火自殺者等を除く)



(*年齢の不明は除く)

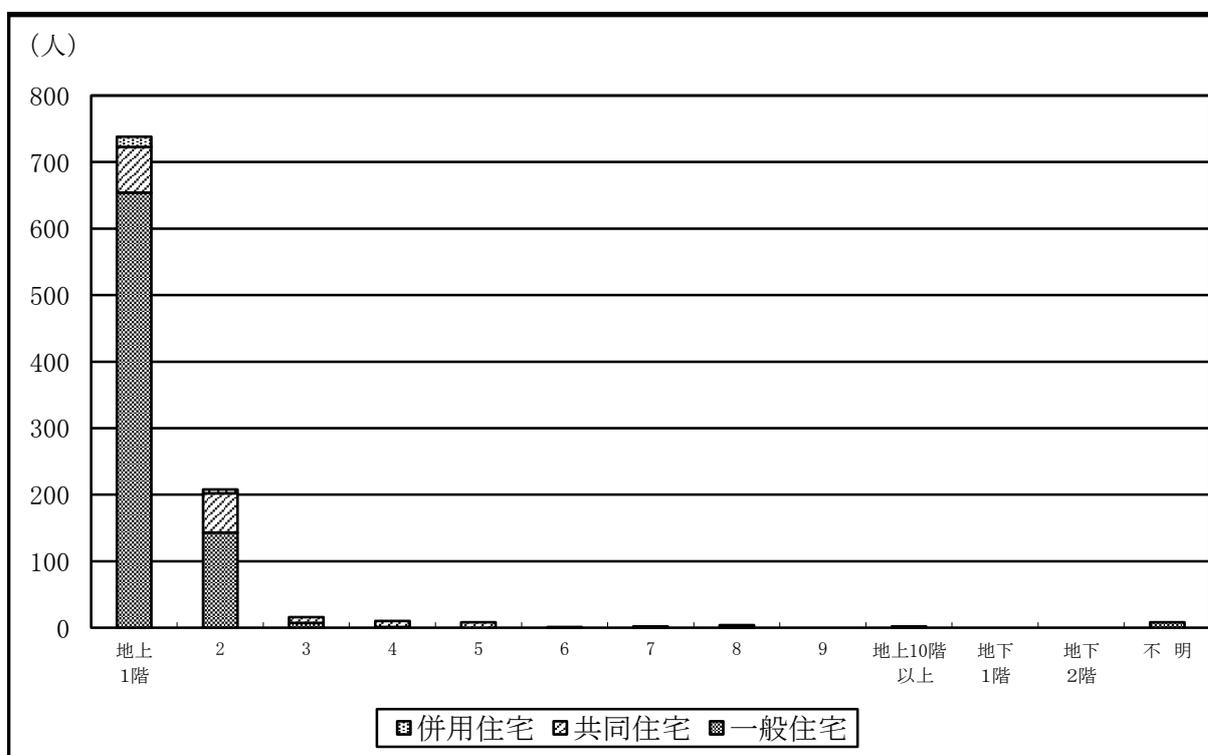
(10) 階別死者数

住宅火災における階別の死者数は、「1階」と「2階」で全体の94.9%(前年92.8%)に当たる946人(前年比3人増)となっている。

階別死者数(放火自殺者等を除く)

階数	区分	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅
地上1階		738	654	69	15
2		208	143	59	6
3		16	7	9	
4		10	1	9	
5		8		8	
6		1		1	
7		2	1	1	
8		4		4	
9					
地上10階以上		2		2	
地下1階		0			
地下2階		0			
不明		8	8		
合計		997	814	162	21

階別死者数(放火自殺者等を除く)



(11) 死に至った経過別死者数(年齢別)

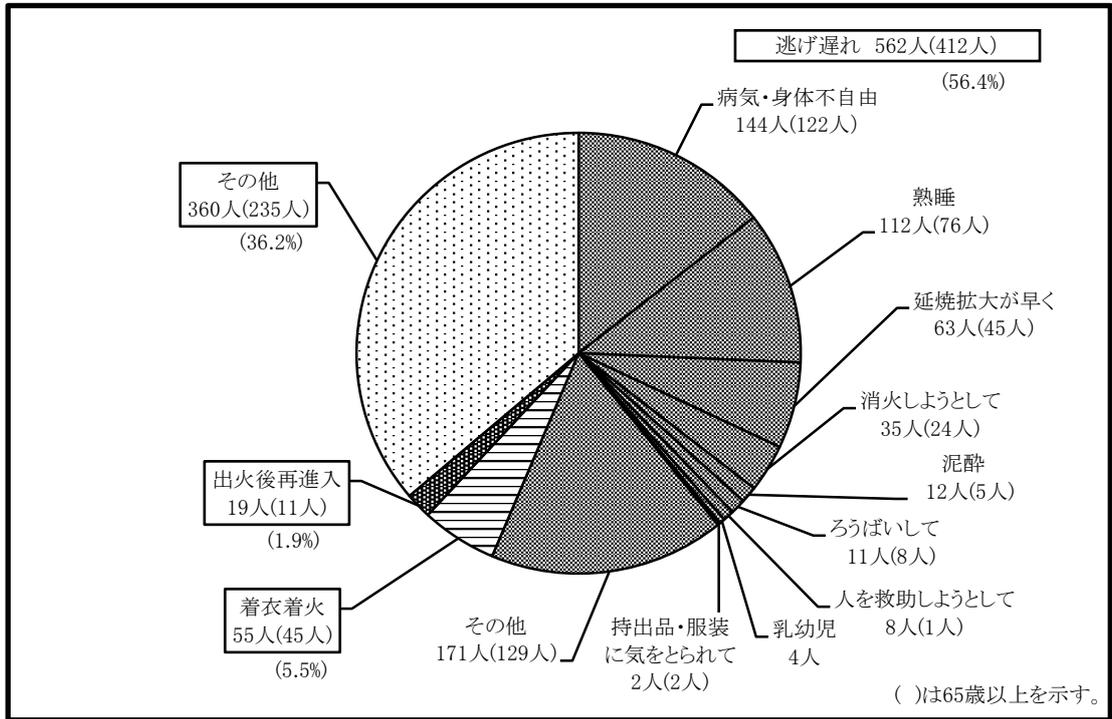
住宅火災での死者数を経過別にみると、「逃げ遅れ」が562人(前年比11人減)(56.4%)(前年56.3%)と最も多く、以下「着衣着火」が55人(前年比10人減)(5.5%)(前年6.4%)、「出火後再進入」が19人(前年比同数)(1.9%)(前年1.9%)と前年と同じ順になっている。

また、「着衣着火」での死者には65歳以上の高齢者が多く、55人中45人(81.8%)(前年65人中50人(76.9%))となっている。

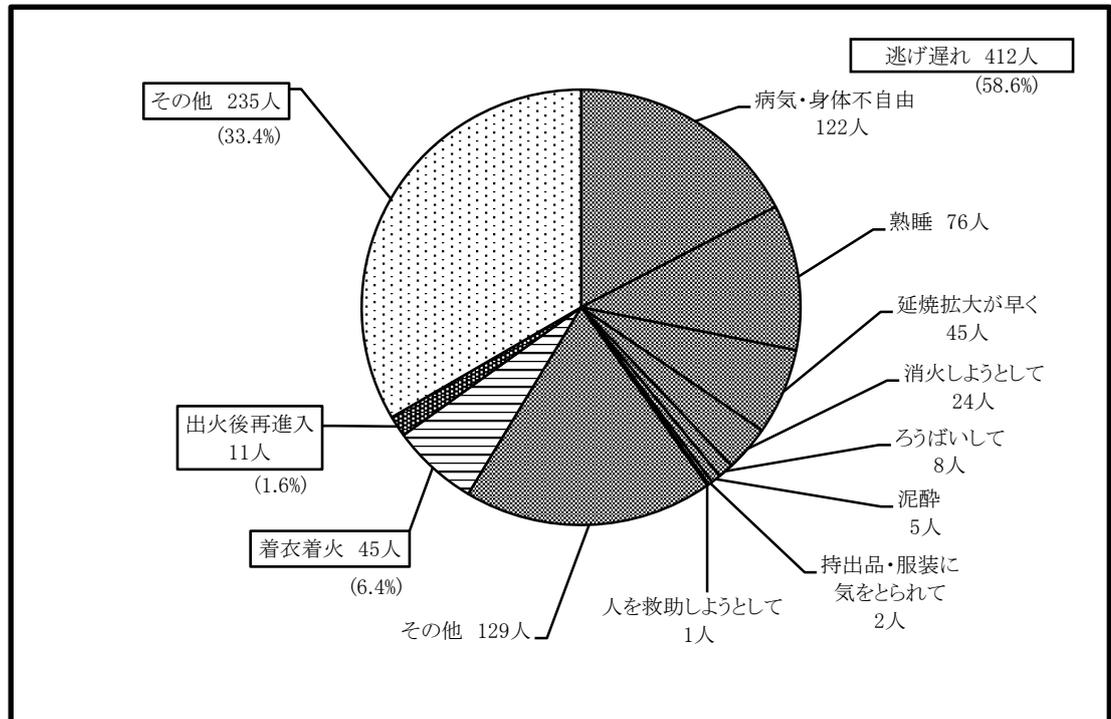
死に至った経過別死者数(放火自殺者等を除く)

区 分		5歳以下	6歳以上 64歳以下	65歳以上	不 明	計 (%)		
逃げ遅れ	発見が遅れ、気付いた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われるもの(全く気付かなかった場合を含む)	熟睡		36	76	112	197 (19.8)	
		泥酔		6	3	9		
		病気・身体不自由		3	14	17		
		その他		14	45	59		
	判断力に欠け、あるいは、体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの	乳幼児	4				4	78 (7.8)
		泥酔		1	2		3	
		病気・身体不自由		10	46		56	
		老衰			6		6	
		その他		2	7		9	
	延焼拡大が速かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの	ガス爆発のため			1		1	16 (1.6)
		危険物燃焼のため			2		2	
		その他		2	11		13	
	逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの	ろうばいして		3	8		11	70 (7.0)
持出品・服装に気をとられて				2		2		
火災をふれ回っているうち						0		
消火しようとして			11	24		35		
人を救助しようとして			7	1		8		
その他			5	9		14		
避難行動を起こしているが逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引により、病院等で死亡した場合を含む)	身体不自由のため		9	62		71	201 (20.2)	
	延焼拡大が早く		17	45	1	63		
	逃げ道を間違えて		5	1		6		
	出入口施錠のため		1	2		3		
	その他		12	45	1	58		
出火後再進入	いったん屋外へ避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて出火後再進入したと思われるもの	救助・物品搬出のため		4	8	12	19 (1.9)	
		消火のため		2	2	4		
		その他		2	1	3		
着衣着火	着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの	喫煙中		3	6	9	55 (5.5)	
		炊事中			12	12		
		採暖中			5	5		
		たき火中			2	2		
		火遊び				0		
		その他火気取扱中		1	11	12		
		その他		6	9	15		
		その他						
その他	上記以外の経過等		11	10		21	361 (36.2)	
	不明・調査中		114	225	1	340		
合 計		4	287	703	3	997		

死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く)



65歳以上の死に至った経過別死者発生状況(放火自殺者等を除く)



(12) 死に至った経過別死者数(タイプ別)

次のページは、高齢者、乳幼児及び病気・身体不自由者等と健常者とを次のようなタイプ(1~6)に分類し、死に至った経過を分析したもので、行動制約度が高いほど死者発生数が多いことがわかる。

- ①タイプ1 ; 補助手薄な自力避難困難者
- ②タイプ2 ; 補助手薄な行動制約者
- ③タイプ3 ; 補助手薄でない自力避難困難者
- ④タイプ4 ; 補助手薄でない行動制約者
- ⑤タイプ5 ; 補助手薄な健常者
- ⑥タイプ6 ; 補助手薄でない健常者

家族それぞれの火災時の対応能力を次の様に分類する。

自力避難困難者 ; 火災時に自力で避難することが困難と思われる、寝たきりの人、歩行不可能な人、歩行困難な人、5歳以下の乳幼児又はこれらに準ずる人をいう。

補助手薄 ; 補助可能者と同居していないか、又は同居していても一人になる時間が多い等のため火災時に補助可能者の手助けが期待できない状態をいう。

補助可能者 ; 12歳以上65歳未満で火災時に初期消火、通報、避難補助等を的確に行うことができる人をいう。

高齢者 ; 65歳以上の人をいう。

行動制約者 ; 火災時に自分だけは何とか避難できるが、初期消火、通報、避難補助等が困難と思われる人で、歩行以外の身体障害のある人、高齢者又はこれに準ずる人をいう。

健常者 ; 自力避難困難者又は行動制約者以外の人をいう。

死に至った経過別死者(タイプ別)(放火自殺者等を除く)

区 分		1	2	3	4	5	6	計(%)		
逃げ遅れ	発見が遅れ、気付いた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われるもの(全く気付かなかった場合を含む)	熟睡	10	39	14	23	14	12	112	197 (19.8)
		泥酔	2	2			2	3	9	
		病気・身体不自由	10		6	1			17	
		その他	4	33	1	10	6	5	59	
判断力に欠け、あるいは、体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの		乳幼児	1		3				4	78 (7.8)
		泥酔		1		2			3	
		病気・身体不自由	29	8	16	2		1	56	
		老衰	1		1	4			6	
		その他	2	5	1	1			9	
延焼拡大が速かった等のため、ほとんど避難ができなかったと思われるもの		ガス爆発のため		1					1	16 (1.6)
		危険物燃焼のため	1			1			2	
		その他		7	1	4		1	13	
逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの		ろうばいして	1	2	1	5	2		11	70 (7.0)
		持出品・服装に気をとられて			1	1			2	
		火災をふれ回っているうち							0	
		消火しようとして	2	11		13	2	7	35	
		人を救助しようとして			1	1		6	8	
		その他	1	6		3		4	14	
避難行動を起こしているが逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引により、病院等で死亡した場合を含む)		身体不自由のため	34	4	31	2			71	201 (20.2)
		延焼拡大が早く	2	20	5	21	4	11	63	
		逃げ道を間違えて			1		4	1	6	
		出入口施錠のため	2	1					3	
		その他	9	22	3	15	7	2	58	
出火後再進入	いったん屋外へ避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて出火後再進入したものと思	救助・物品搬出のため		2	1	5		4	12	19 (1.9)
		消火のため	1	2				1	4	
		その他				2	1		3	
着衣着火	着衣着火し、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの	喫煙中	2	1	2	3		1	9	55 (5.5)
		炊事中	3	5		4			12	
		採暖中	1	3		1			5	
		たき火中			1	1			2	
		火遊び							0	
		その他火気取扱中	2	6		4			12	
		その他	3	6	3	3			15	
		上記以外の経過等	1	6	1	3	5	5	21	
その他		不明・調査中	46	138	20	60	47	29	340	361 (36.2)
合 計		170	331	114	195	94	93	997		

(13) 発火源と出火箇所の関係

死者の発生した住宅火災における発火源と出火箇所の関係をみると、出火箇所が「居室」で発火源が「たばこ」での死者数が138人(13.8%)、「居室とストーブ」が92人(9.2%)となっている。

発火源と出火箇所の関係(放火自殺者等を除く)

発火源 出火箇所	たばこ	ストーブ	電気器具類	こんろ	ライター	ロケット	灯明	こたつ	風呂かまど	その他	不明	合計
居室	138 (13.8)	92 (9.2)	56 (5.6)	6 (0.6)	26 (2.6)	34 (3.4)	10 (1.0)	-	-	30 (3.0)	334 (33.5)	726 (72.8)
台所	1 (0.1)	7 (0.7)	8 (0.8)	36 (3.6)	2 (0.2)	-	-	-	-	2 (0.2)	46 (4.6)	102 (10.2)
玄関・ホール	-	-	-	1 (0.1)	2 (0.2)	-	-	-	-	1 (0.1)	10 (1.0)	14 (1.4)
浴室・洗面所	-	-	2 (0.2)	-	3 (0.3)	-	-	-	-	3 (0.3)	5 (0.5)	13 (1.3)
押入・納戸	1 (0.1)	-	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-	1 (0.1)	8 (0.8)	11 (1.1)
食事室	-	1 (0.1)	-	-	1 (0.1)	-	-	-	-	1 (0.1)	7 (0.7)	10 (1.0)
廊下・階段	1 (0.1)	-	3 (0.3)	-	1 (0.1)	-	-	-	-	-	1 (0.1)	6 (0.6)
その他	-	2 (0.2)	7 (0.7)	-	1 (0.1)	-	-	-	7 (0.7)	12 (1.2)	19 (1.9)	48 (4.8)
不明	-	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-	-	3 (0.3)	63 (6.3)	67 (6.7)
合計	141 (14.1)	103 (10.3)	77 (7.7)	43 (4.3)	36 (3.6)	34 (3.4)	10 (1.0)	7 (0.7)	7 (0.7)	53 (5.3)	493 (49.4)	997 (100.0)

(* ()内は死者全体に対する割合である。)

(14) 発火源と着火物の関係

死者の発生した住宅火災における発火源と着火物の関係をみると、発火源が「たばこ」で着火物が「ふとん類」での死者が58人(5.8%)、「ストーブとふとん類」の24人(2.4%)、「たばこと屑類」の24人(2.4%)の順となっている。

発火源と着火物の関係(放火自殺者等を除く)

発火源 着火物	たばこ	ストーブ	電気器具類	こんろ	ライター	ロ灯明ソク	こたつ	風呂かまど	その他	不明	合計
ふとん類	58 (5.8)	24 (2.4)	6 (0.6)	2 (0.2)	5 (0.5)	1 (0.1)	4 (0.4)	-	5 (0.5)	7 (0.7)	112 (11.2)
衣類	5 (0.5)	19 (1.9)	2 (0.2)	17 (1.7)	9 (0.9)	8 (0.8)	-	1 (0.1)	3 (0.3)	2 (0.2)	66 (6.6)
屑類	24 (2.4)	3 (0.3)	7 (0.7)	1 (0.1)	4 (0.4)	1 (0.1)	2 (0.2)	2 (0.2)	2 (0.2)	1 (0.1)	47 (4.7)
内装・建具類	16 (1.6)	3 (0.3)	12 (1.2)	1 (0.1)	-	-	-	-	8 (0.8)	5 (0.5)	45 (4.5)
繊維類	6 (0.6)	13 (1.3)	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	3 (0.3)	1 (0.1)	-	3 (0.3)	4 (0.4)	34 (3.4)
紙類	4 (0.4)	5 (0.5)	6 (0.6)	2 (0.2)	3 (0.3)	7 (0.7)	1 (0.1)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	30 (3.0)
ガソリン・灯油類	-	13 (1.3)	-	-	8 (0.8)	-	-	-	1 (0.1)	6 (0.6)	28 (2.8)
家具類	6 (0.6)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	8 (0.8)	-	-	-	3 (0.3)	20 (2.0)
カーテン じゅうたん類	7 (0.7)	1 (0.1)	4 (0.4)	-	-	-	-	-	-	1 (0.1)	13 (1.3)
天ぷら油類	-	-	-	10 (1.0)	-	-	-	-	-	-	10 (1.0)
ガス類	-	1 (0.1)	-	-	1 (0.1)	-	-	-	3 (0.3)	2 (0.2)	7 (0.7)
その他	1 (0.1)	1 (0.1)	23 (2.3)	2 (0.2)	2 (0.2)	2 (0.2)	1 (0.1)	4 (0.4)	18 (1.8)	6 (0.6)	60 (6.0)
不明	14 (1.4)	20 (2.0)	14 (1.4)	6 (0.6)	2 (0.2)	4 (0.4)	1 (0.1)	-	9 (0.9)	455 (45.6)	525 (52.7)
合計	141 (14.1)	103 (10.3)	77 (7.7)	43 (4.3)	36 (3.6)	34 (3.4)	10 (1.0)	7 (0.7)	53 (5.3)	493 (49.4)	997 (100.0)

(* ()内は死者全体に対する割合である。)

(15) 出火箇所と着火物の関係

死者の発生した住宅火災における出火箇所と着火物の関係をみると、出火箇所が「居室」で着火物が「ふとん類」が107人(10.7%)、「居室と衣類」が42人(4.2%)、「居室と屑類」が39人(3.9%)となっている。

出火箇所と着火物の関係(放火自殺者等を除く)

出火箇所 着火物	居室	台所	玄関・ホール	浴室・洗面所	押入・納戸	食事室	廊下・階段	その他	不明	合計
ふとん類	107 (10.7)	-	-	-	2 (0.2)	-	-	3 (0.3)	-	112 (11.2)
衣類	42 (4.2)	18 (1.8)	1 (0.1)	1 (0.1)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	66 (6.6)
屑類	39 (3.9)	3 (0.3)	-	-	1 (0.1)	-	-	4 (0.4)	-	47 (4.7)
内装・建具類	35 (3.5)	5 (0.5)	-	-	-	1 (0.1)	-	3 (0.3)	1 (0.1)	45 (4.5)
繊維類	31 (3.1)	1 (0.1)	-	1 (0.1)	-	-	-	-	1 (0.1)	34 (3.4)
紙類	22 (2.2)	3 (0.3)	1 (0.1)	-	2 (0.2)	-	1 (0.1)	1 (0.1)	-	30 (3.0)
ガソリン・灯油類	21 (2.1)	1 (0.1)	2 (0.2)	3 (0.3)	-	-	-	1 (0.1)	-	28 (2.8)
家具類	18 (1.8)	1 (0.1)	-	-	-	-	-	1 (0.1)	-	20 (2.0)
カーテン じゅうたん類	12 (1.2)	1 (0.1)	-	-	-	-	-	-	-	13 (1.3)
天ぷら油類	-	10 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	10 (1.0)
ガス類	4 (0.4)	-	-	-	-	-	-	3 (0.3)	-	7 (0.7)
その他	29 (2.9)	12 (1.2)	1 (0.1)	3 (0.3)	-	-	2 (0.2)	11 (1.1)	2 (0.2)	60 (6.0)
不明	366 (36.7)	47 (4.7)	9 (0.9)	5 (0.5)	6 (0.6)	8 (0.8)	2 (0.2)	20 (2.0)	62 (6.2)	525 (52.7)
合計	726 (72.8)	102 (10.2)	14 (1.4)	13 (1.3)	11 (1.1)	10 (1.0)	6 (0.6)	48 (4.8)	67 (6.7)	997 (100.0)

(* ()内は死者全体に対する割合である。)

4 住宅火災による負傷者数

(1) 建物火災による負傷者のうち住宅火災による負傷者数

建物火災による負傷者数(放火を除く。)は5,360人(前年比122人減)で、このうち住宅火災による負傷者は3,765人(前年比56人減)(70.2%)(前年69.7%)である。

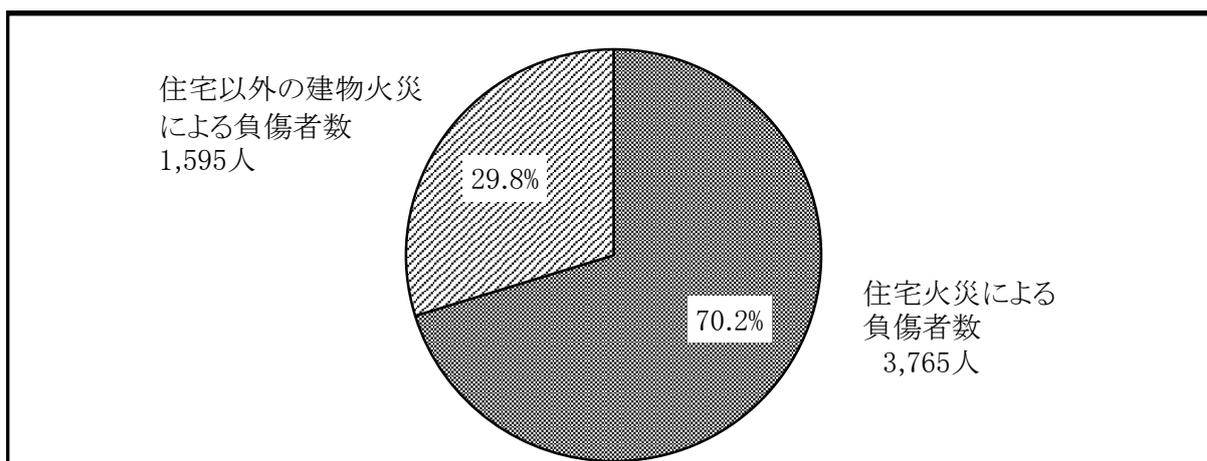
また、住宅火災による負傷者数のうち2,547人(前年比8人減)(67.6%)(前年66.9%)は一般住宅において発生している。

建物火災の負傷者のうち住宅火災による負傷者数(放火を除く)

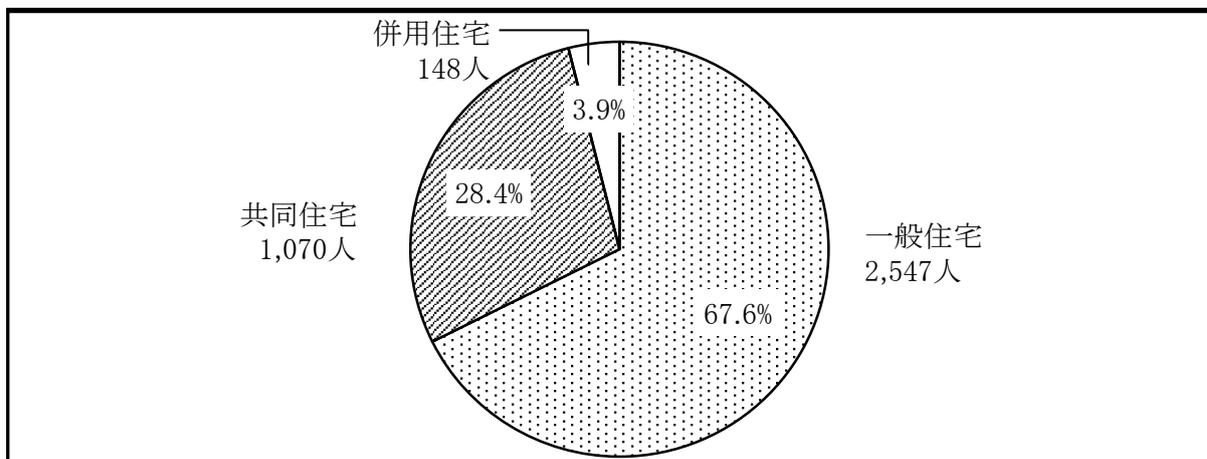
建物火災による 負傷者数(人)	住宅火災による負傷者数(人)				住宅以外の建物火災 による負傷者数(人)
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
5,360	3,765	2,547	1,070	148	1,595
100.0%	70.2%	[67.6%]	[28.4%]	[3.9%]	29.8%

(* []は、住宅火災による負傷者数(3,765人)に占める割合)

建物火災による負傷者発生状況(放火を除く)



住宅形態別の負傷者発生状況(放火を除く)



(2) 発火源別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の発火源は、「こんろ」によるものが910人(24.2%)と最も多く、次いで「ストーブ」によるもの563人(15.0%)、「たばこ」によるもの418人(11.1%)となっている。

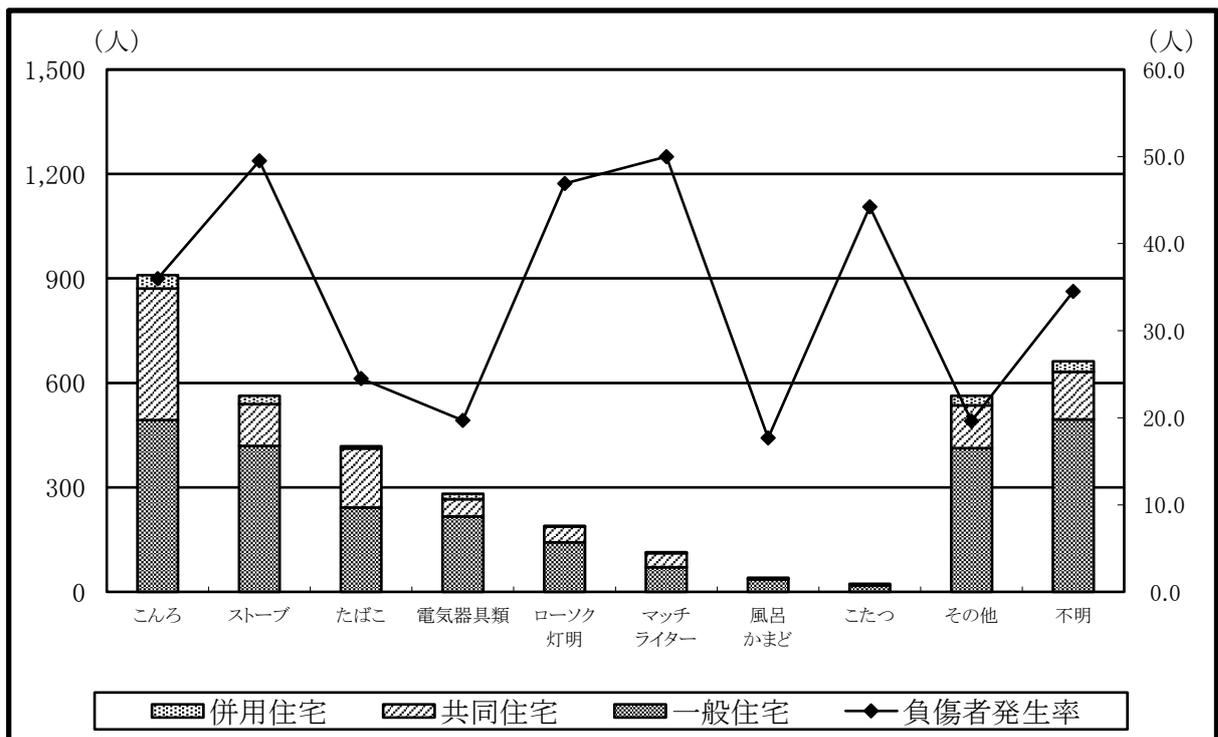
負傷者の発生率をみると、「マッチ・ライター」によるもの114人(50.0%)が、発生件数の割に多くなっている。

発火源別負傷者数(放火を除く)

発火源	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	負傷者 発生率	
			合計	一般住宅	共同住宅			併用住宅
こ ん ろ		1,253	910	493	378	39	2,528	36.0
ス ト ー ブ		658	563	419	120	24	1,137	49.5
た ば こ		516	418	242	170	6	1,706	24.5
電 気 器 具 類		421	282	217	49	16	1,431	19.7
ロ ー ソ ク ・ 灯 明		229	189	142	46	1	403	46.9
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー		152	114	71	40	3	228	50.0
風 呂 か ま ど		47	41	36	3	2	232	17.7
こ た つ		24	23	19	4	0	52	44.2
そ の 他		1,129	563	413	123	27	2,867	19.6
不 明		931	662	495	137	30	1,918	34.5
合 計		5,360	3,765	2,547	1,070	148	12,502	30.1

(* 負傷者発生率は、住宅火災100件当たりの負傷者数を示す。)

発火源別負傷者数(放火を除く)



(3) 着火物別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の着火物は、前年と同様に「天ぷら油類」が432人(11.5%)で最も多く、次いで「ふとん類」370人(9.8%)、「衣類」369人(9.8%)の順になっている。

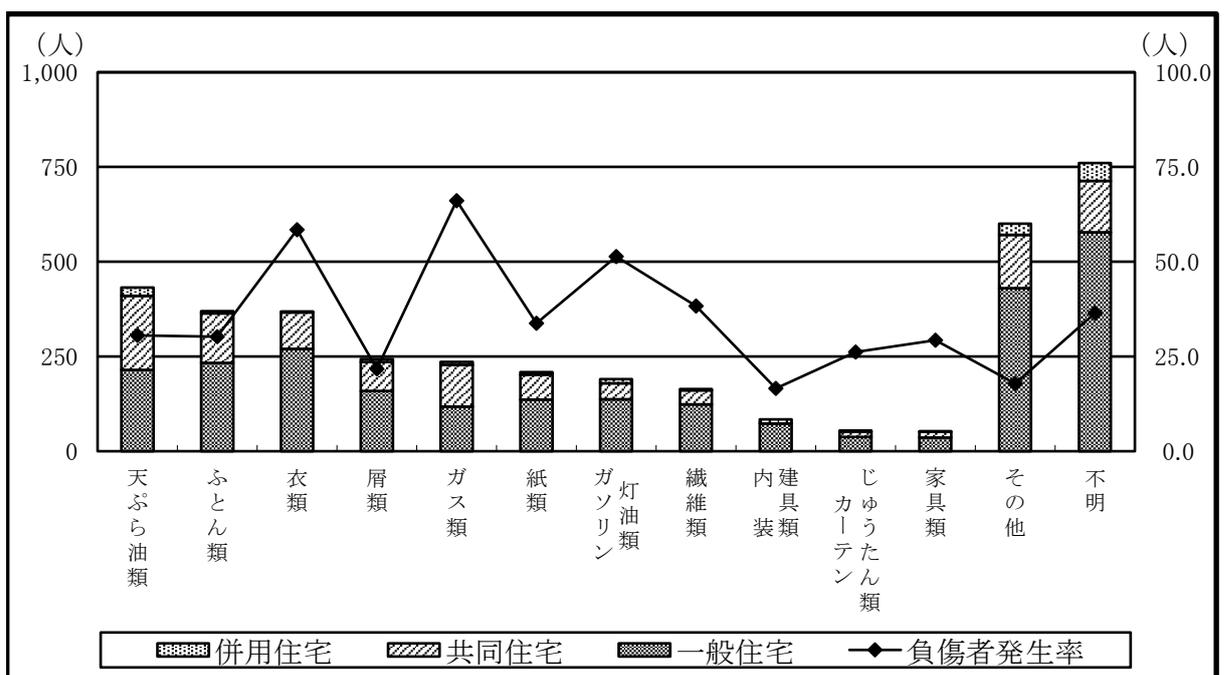
負傷者の発生率をみると「ガス類」が着火物のときに6割をこえて負傷者が発生している。

着火物別負傷者数(放火を除く)

着火物	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	負傷者 発生率	
			合計	一般住宅	共同住宅			併用住宅
天ぷら油類		690	432	215	195	22	1,414	30.6
ふとん類		420	370	233	131	6	1,224	30.2
衣類		483	369	270	96	3	631	58.5
屑類		352	243	159	77	7	1,120	21.7
ガス類		396	236	118	110	8	357	66.1
紙類		258	209	136	66	7	619	33.8
ガソリン・灯油類		350	190	137	42	11	370	51.4
繊維類		201	164	124	37	3	428	38.3
内装・建具類		121	84	73	11	0	507	16.6
カーテン・じゅうたん類		68	55	38	14	3	210	26.2
家具類		65	53	36	15	2	181	29.3
その他		941	600	430	141	29	3,356	17.9
不明		1,015	760	578	135	47	2,085	36.5
合計		5,360	3,765	2,547	1,070	148	12,502	30.1

(* 負傷者発生率は、住宅火災100件当たりの負傷者数を示す。)

着火物別負傷者数(放火を除く)



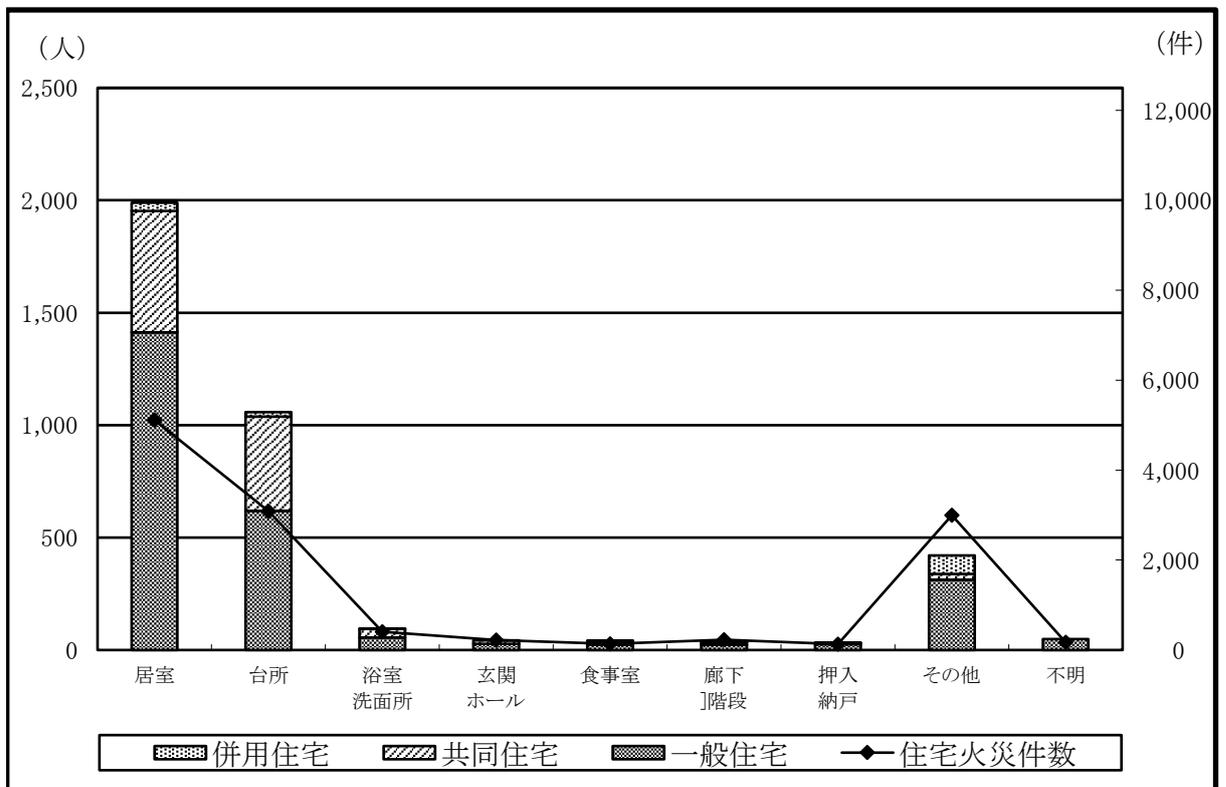
(4) 出火箇所別負傷者数

負傷者の発生した住宅火災の出火箇所は、多いものから「居室」の1,989人(52.8%)、「台所」の1,058人(28.1%)と前年と同じ順であり、上位2箇所ですべて3,047人と全体の8割を越す80.9%を占めている。

出火箇所別負傷者数(放火を除く)

出火箇所	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
居 室	室	2,250	1,989	1,413	539	37	5,114
台 所	所	1,207	1,058	619	419	20	3,087
浴 室・洗 面 所		123	95	55	39	1	408
玄 関・ホ ー ル		46	43	27	16	0	222
食 事 室		44	41	23	17	1	139
廊 下・階 段		57	37	23	10	4	230
押 入・納 戸		37	33	26	5	2	131
そ の 他		1,528	421	313	25	83	2,999
不 明		68	48	48	0	0	172
合 計		5,360	3,765	2,547	1,070	148	12,502

出火箇所別負傷者数(放火を除く)



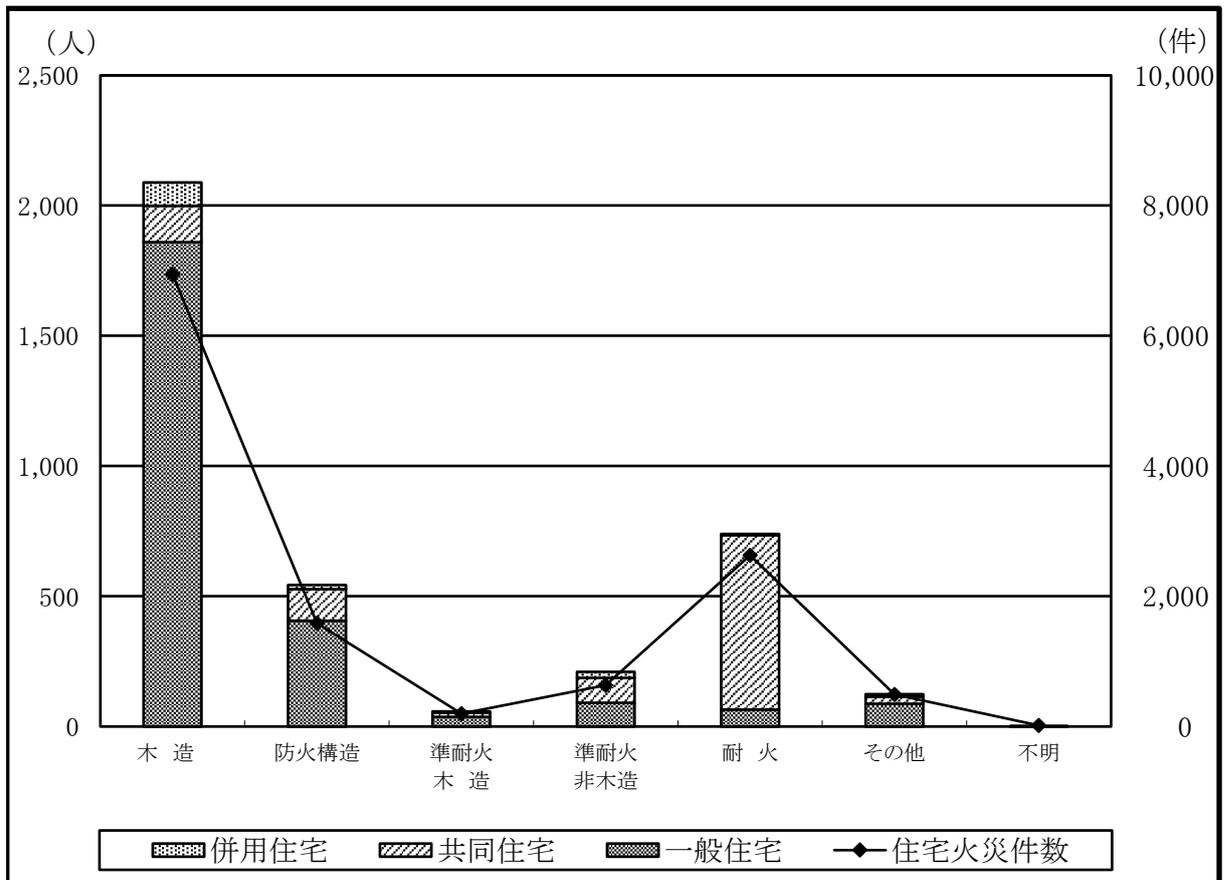
(5) 建物構造別負傷者数

住宅火災の建物構造別負傷者発生状況は、「木造建築物」が2,089人(前年比69人減)と負傷者全体の55.5%(前年56.5%)を占めている。

建物構造別負傷者数(放火を除く)

建物構造	区分	建物火災 (人)	住宅火災(人)			住宅火災 件数	
			合計	一般住宅	共同住宅		併用住宅
木造建築物		2,508	2,089	1,860	139	90	6,945
防火構造建築物		656	543	406	121	16	1,587
準耐火木造建築物		88	58	37	16	5	198
準耐火非木造建築物		531	210	91	96	23	634
耐火建築物		1,266	739	65	670	4	2,630
その他		281	124	87	28	9	491
不明		30	2	1	0	1	17
合計		5,360	3,765	2,547	1,070	148	12,502

建物構造別負傷者数(放火を除く)



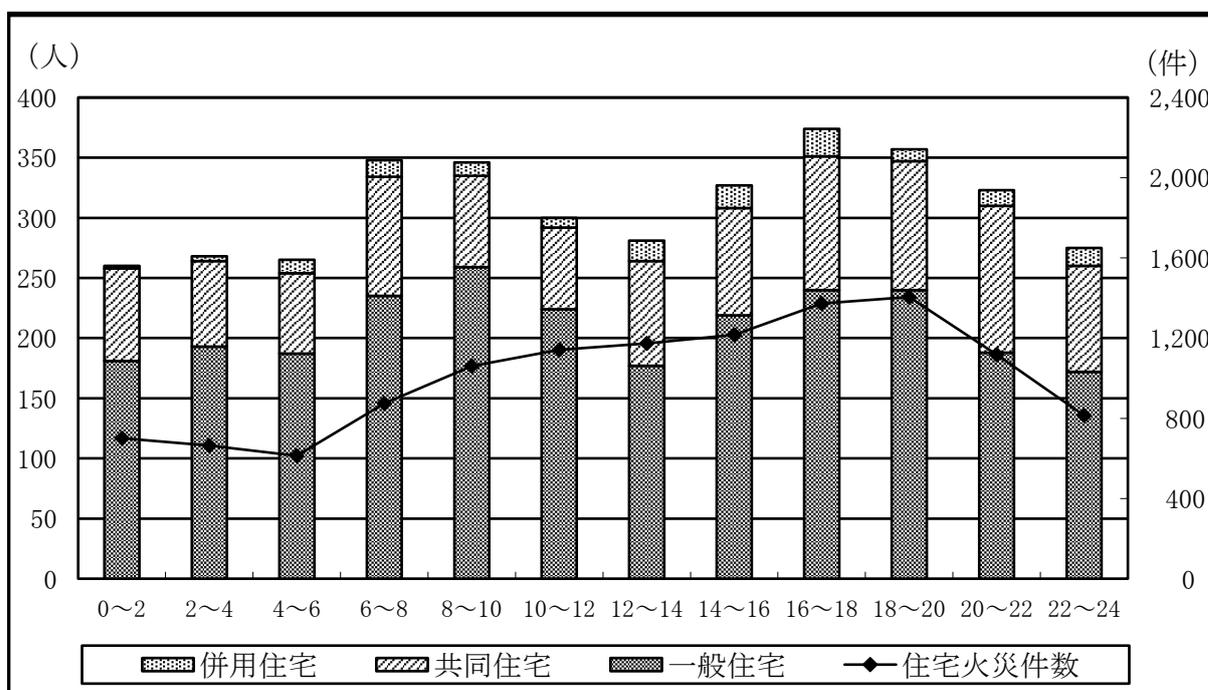
(6) 時間帯別負傷者数

住宅火災の時間帯別負傷者発生状況は、「16時から18時」が最も多く374人(9.9%)となっている。次いで「18時から20時」の357人(9.5%)、「6時から8時」の348人(9.2%)となっており、朝食夕飯準備の時間帯に多く発生している。

時間帯別負傷者数(放火を除く)

時間帯	区分 建物火災 (人)	住宅火災(人)				住宅火災 件数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
0 ~ 2	347	260	181	77	2	700
2 ~ 4	351	268	193	71	4	664
4 ~ 6	342	265	187	67	11	613
6 ~ 8	424	348	235	99	14	874
8 ~ 10	483	346	259	76	11	1,060
10 ~ 12	495	300	224	68	8	1,142
12 ~ 14	446	281	177	87	17	1,173
14 ~ 16	529	327	219	89	19	1,217
16 ~ 18	527	374	240	111	23	1,372
18 ~ 20	504	357	240	107	10	1,405
20 ~ 22	479	323	188	122	13	1,117
22 ~ 24	369	275	172	88	15	813
不明	64	41	32	8	1	352
合計	5,360	3,765	2,547	1,070	148	12,502

時間帯別負傷者数(放火を除く)



(* 時間帯の不明は除く)

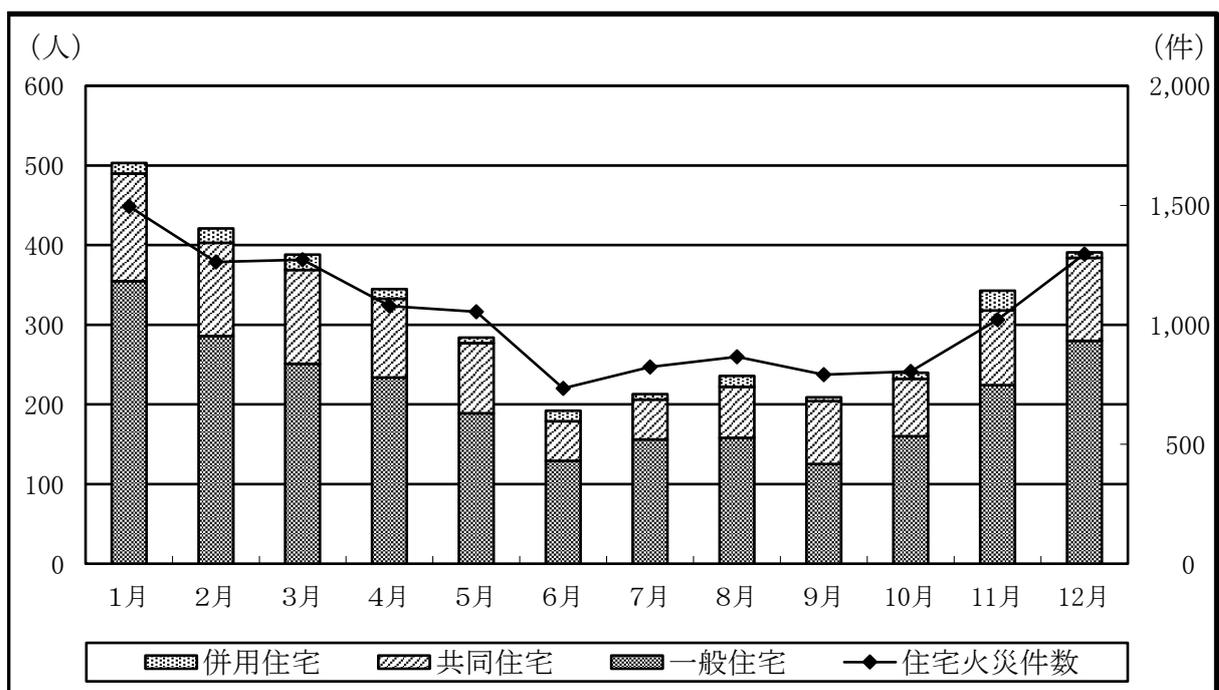
(7) 月別負傷者数

住宅火災の月別負傷者発生状況は、概ね住宅火災件数と比例して、12月から3月までの4ヶ月間に多く、全体の45.2%(前年46.3%)にあたる1,703人(前年比67人減)の負傷者が発生している。

月別負傷者数(放火を除く)

月	区分 建物火災 (人)	住宅火災(人)				住宅火災 件数
		合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
1月	670	503	355	135	13	1,496
2月	567	421	286	117	18	1,263
3月	560	388	251	118	19	1,273
4月	479	345	234	99	12	1,078
5月	424	284	189	88	7	1,054
6月	284	192	129	50	13	734
7月	325	213	156	50	7	824
8月	356	236	158	64	14	866
9月	328	209	125	79	5	791
10月	361	240	160	72	8	805
11月	462	343	224	94	25	1,021
12月	544	391	280	104	7	1,297
合計	5,360	3,765	2,547	1,070	148	12,502

月別負傷者数(放火を除く)



(8) 都道府県別負傷者数

住宅火災による負傷者数の多い都道府県は、「東京都(416人)」、「大阪府(297人)」、次いで「神奈川県(267人)」の順となっており、少ない都道府県は、「沖縄県(13人)」、「山梨県(15人)」、「福井県(20人)」の順となっている。

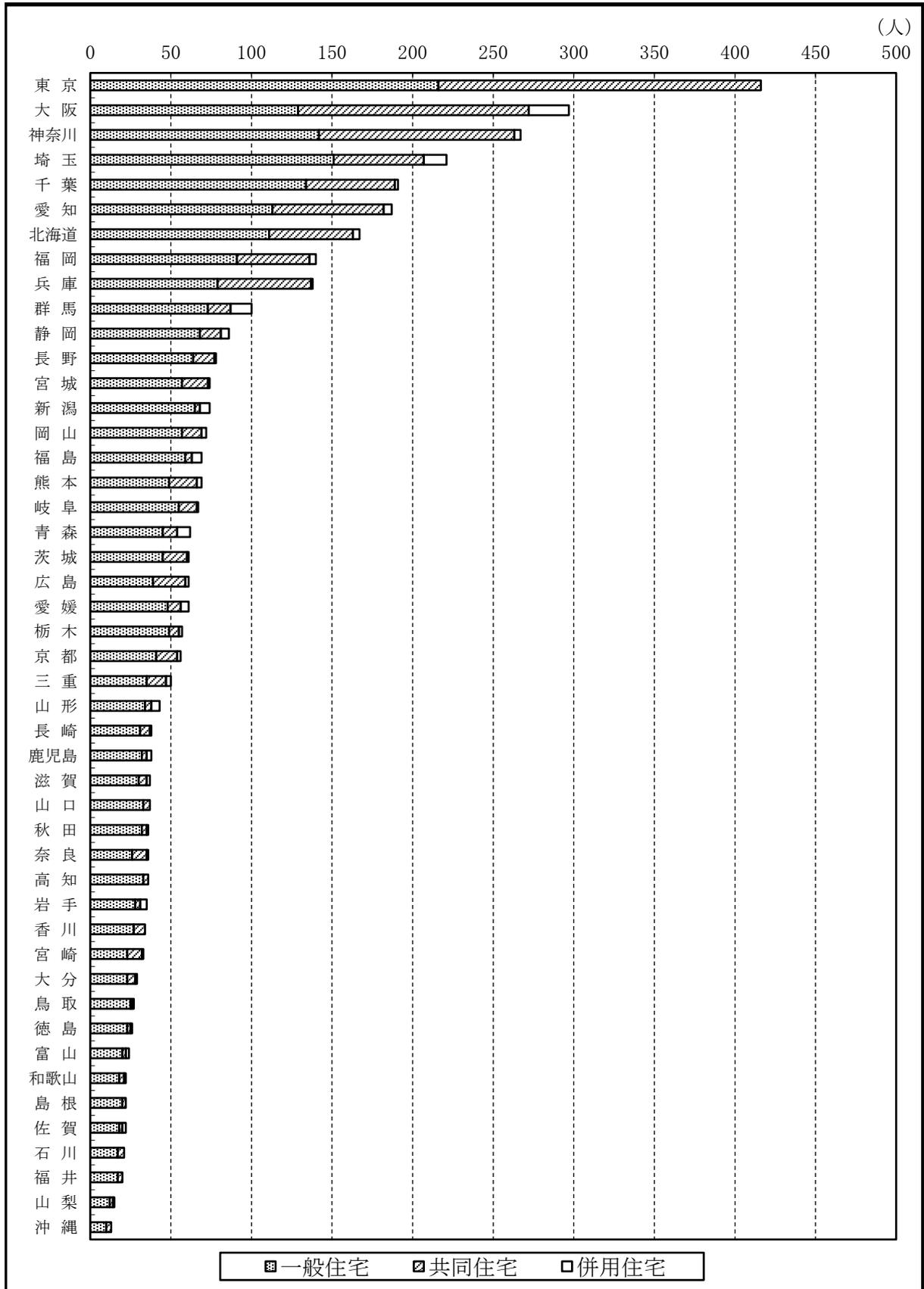
また、10万世帯当たりの負傷者数は、「群馬県」の12.4人が最も多く、次いで「鳥取県」の11.7人、「青森県」の10.7人になっている。

都道府県別負傷者数(放火を除く)

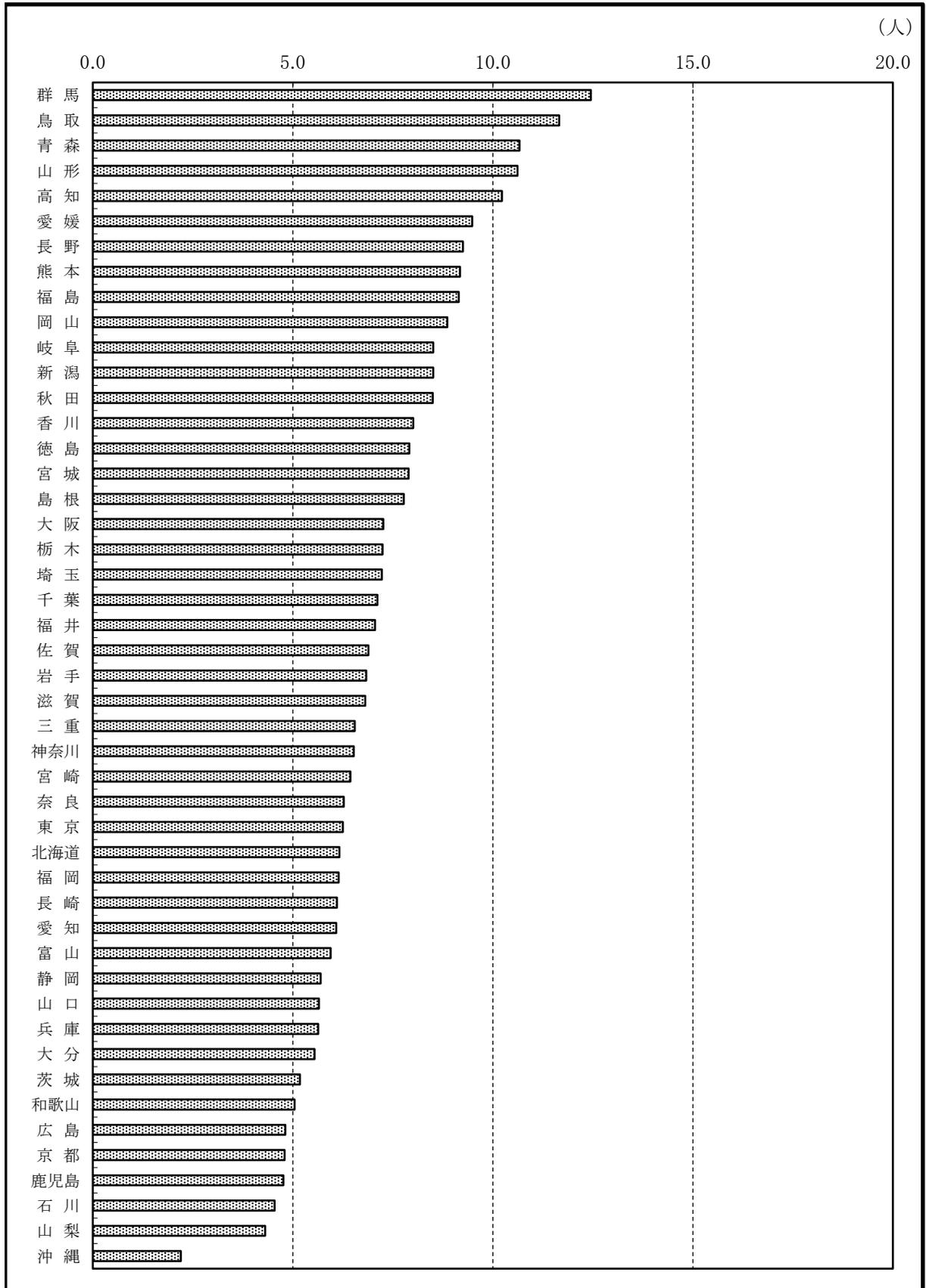
都道府県名	建物火災 (人)	住宅火災(人)			10万世帯当 たりの負傷者数	世帯数	
		合計	一般住宅	共同住宅			併用住宅
北海道	225	167	111	52	4	6.2	2,709,610
青森	83	62	45	9	8	10.7	581,393
岩手	49	35	28	3	4	6.8	512,115
宮城	98	74	57	16	1	7.9	937,269
秋田	54	36	32	3	1	8.5	423,751
山形	61	43	34	4	5	10.6	404,981
福島	95	69	59	4	6	9.1	754,115
茨城	104	61	45	15	1	5.2	1,177,748
栃木	78	57	49	6	2	7.2	786,704
群馬	126	100	73	14	13	12.4	803,368
埼玉	289	221	151	56	14	7.2	3,057,860
千葉	275	191	134	55	2	7.1	2,684,067
東京	675	416	216	200	0	6.3	6,653,367
神奈川	379	267	142	121	4	6.5	4,092,210
新潟	94	74	65	3	6	8.5	869,721
富山	35	24	20	2	2	5.9	403,627
石川	31	21	17	4	0	4.5	462,124
福井	26	20	17	3	0	7.1	283,611
山梨	30	15	12	2	1	4.3	348,271
長野	116	78	64	13	1	9.3	843,222
岐阜	83	67	55	11	1	8.5	787,440
静岡	141	86	68	13	5	5.7	1,509,901
愛知	287	187	113	69	5	6.1	3,072,876
三重	68	50	35	12	3	6.5	763,846
滋賀	50	37	30	5	2	6.8	543,393
京都	92	56	41	13	2	4.8	1,168,371
大阪	422	297	129	143	25	7.3	4,090,596
兵庫	201	138	79	58	1	5.6	2,448,763
奈良	49	36	26	9	1	6.3	573,923
和歌山	33	22	18	3	1	5.0	436,289
鳥取	35	27	25	1	1	11.7	231,638
島根	27	22	20	2	0	7.8	282,991
岡山	85	72	57	12	3	8.9	812,189
広島	96	61	39	20	2	4.8	1,266,881
山口	55	37	33	4	0	5.7	654,718
徳島	33	26	23	2	1	7.9	328,671
香川	47	34	27	7	0	8.0	424,532
愛媛	74	61	48	8	5	9.5	643,076
高知	44	36	33	3	0	10.2	351,945
福岡	191	140	91	45	4	6.1	2,278,258
佐賀	25	22	18	2	2	6.9	319,367
長崎	57	38	31	6	1	6.1	622,522
熊本	86	69	49	17	3	9.2	751,689
大分	41	29	23	5	1	5.5	522,988
宮崎	42	33	23	9	1	6.4	512,497
鹿児島	50	38	32	3	3	4.8	797,800
沖縄	23	13	10	3	0	2.2	591,269
合計	5,360	3,765	2,547	1,070	148	6.8	55,577,563

(* 世帯数は平成25年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。)

都道府県別負傷者数(放火を除く)



都道府県別10万世帯当たりの負傷者数(放火を除く)



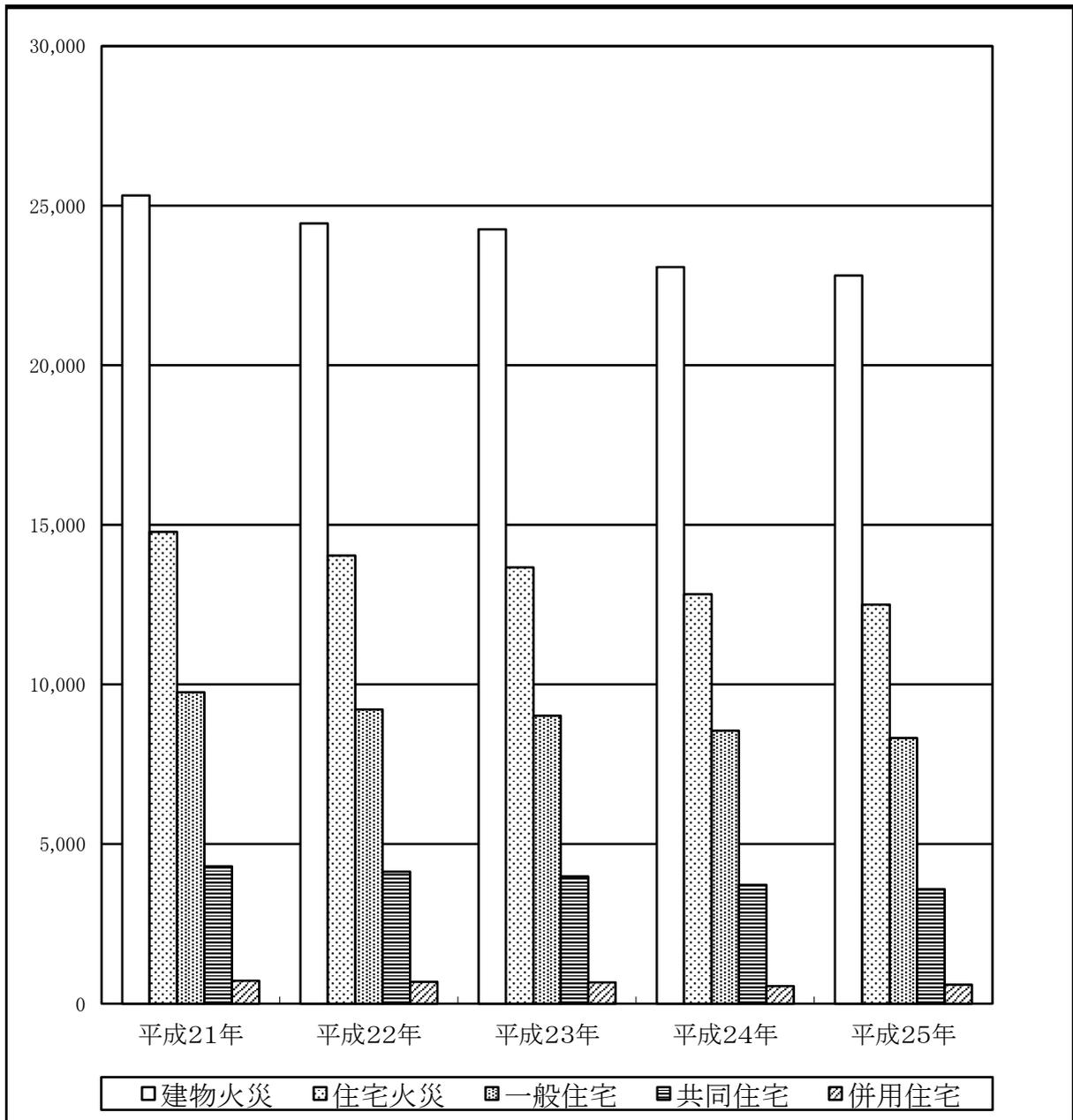
5 3名以上の死者が発生した住宅火災

番号	月 日	状 況
1	1月 18日	北海道遠軽町の住宅より出火。死者3人。
2	3月 11日	岩手県大船渡市の住宅より出火。死者4人。
3	5月 28日	三重県津市の住宅より出火。死者3人。
4	6月 8日	東京都練馬区の住宅より出火。死者3人。負傷者1人。
5	7月 1日	兵庫県姫路市の住宅より出火。死者3人。
6	9月 5日	岡山県倉敷市の住宅より出火。死者3人。負傷者5人。
7	12月 06日	愛媛県今治市の住宅より出火。死者3人。
8	12月 10日	千葉県千葉市花見川区の住宅より出火。死者4人。

(参考資料 1)

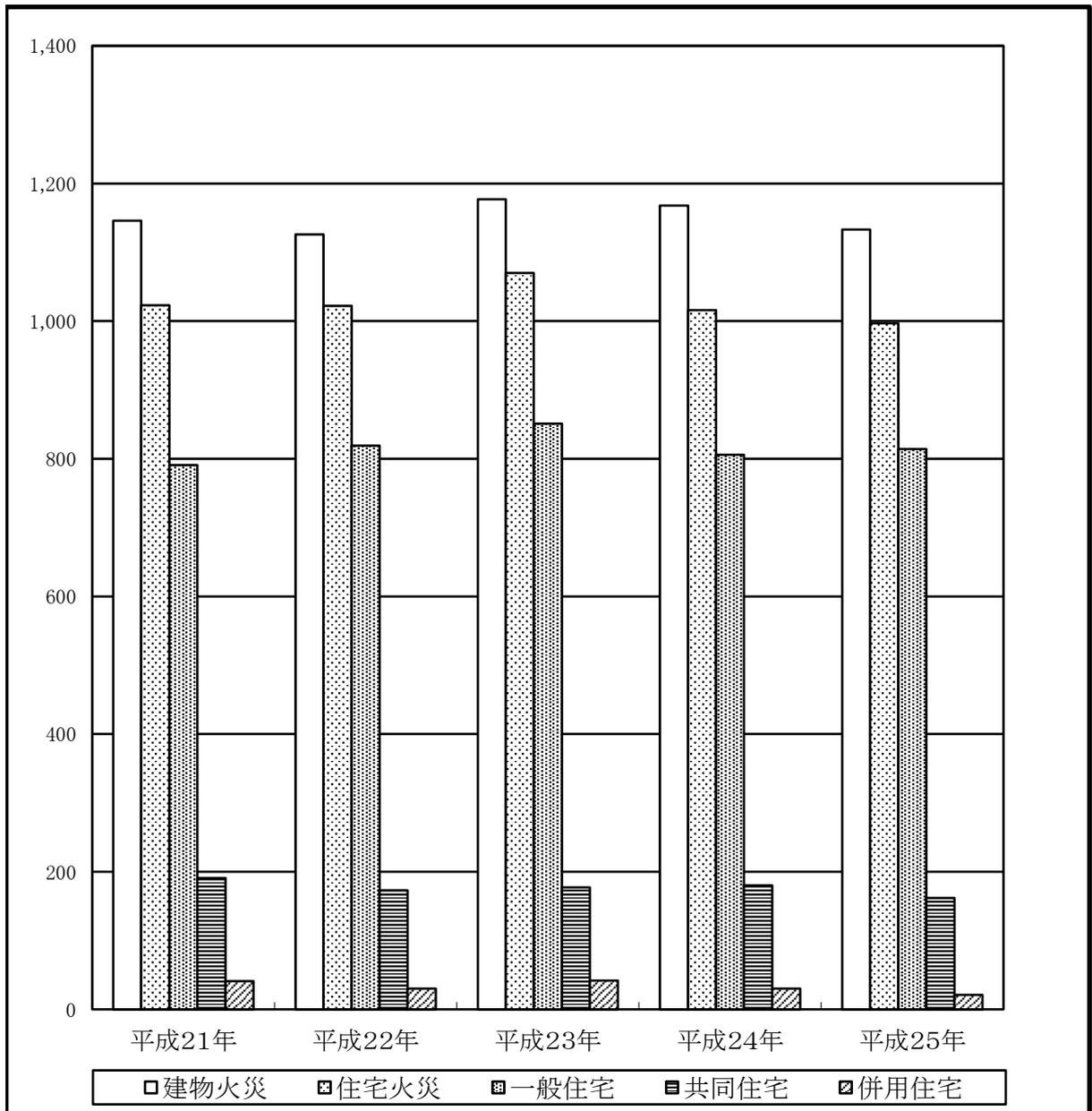
過去5年間の出火件数の推移(放火を除く)

種別	年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
建物火災		25,324	24,443	24,260	23,075	22,808
住宅火災		14,778	14,044	13,673	12,832	12,502
一般住宅		9,755	9,219	9,024	8,556	8,322
共同住宅		4,306	4,140	3,984	3,723	3,587
併用住宅		717	685	665	553	593



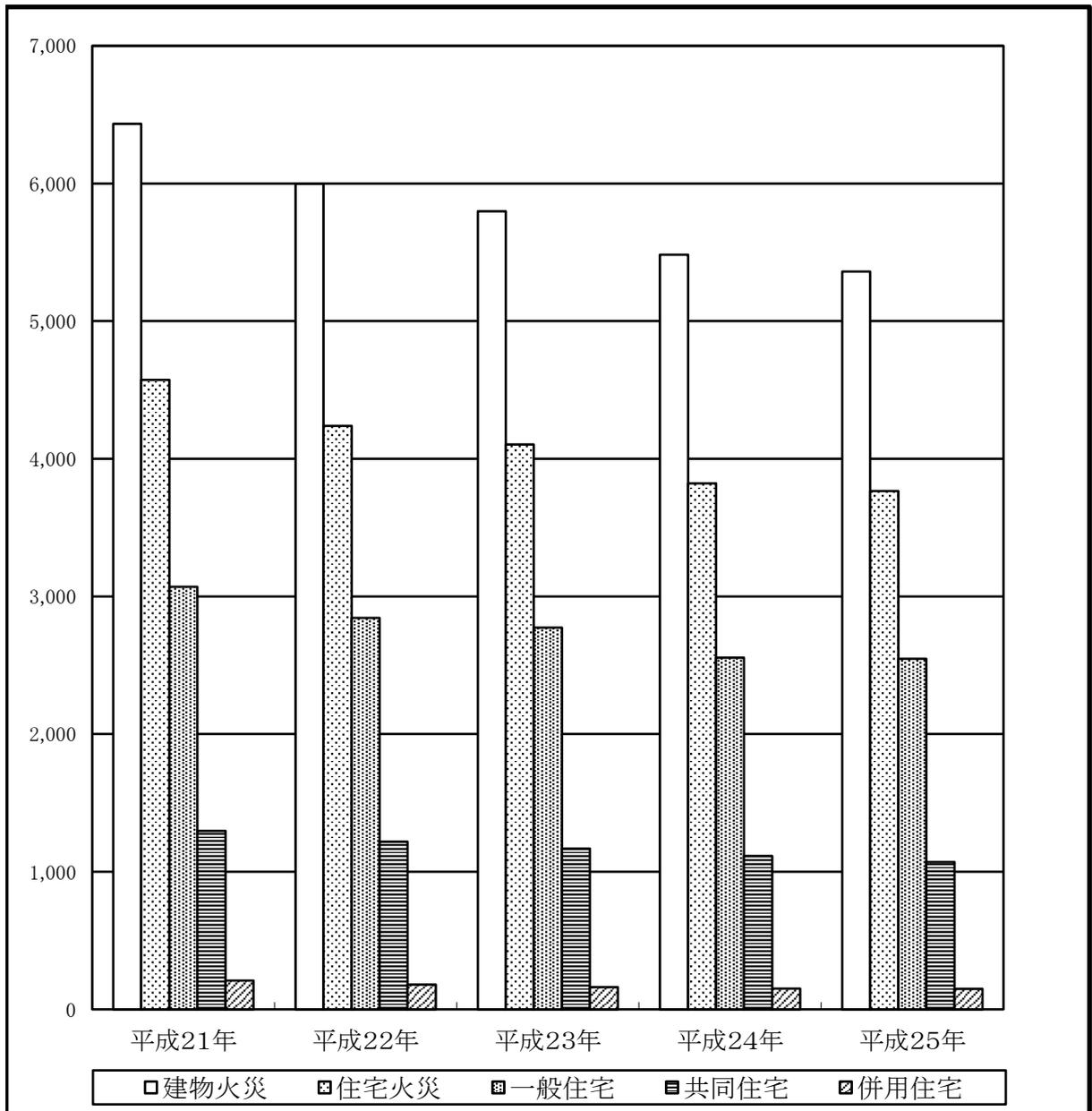
過去5年間の死者の推移(放火自殺者等を除く)

種別	年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
建物火災		1,146	1,126	1,177	1,168	1,133
住宅火災		1,023	1,022	1,070	1,016	997
一般住宅		791	819	851	806	814
共同住宅		191	173	177	180	162
併用住宅		41	30	42	30	21



過去5年間の負傷者の推移(放火を除く)

種別	年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
建物火災		6,433	5,997	5,798	5,482	5,360
住宅火災		4,574	4,239	4,103	3,821	3,765
一般住宅		3,070	2,843	2,774	2,555	2,547
共同住宅		1,296	1,217	1,168	1,115	1,070
併用住宅		208	179	161	151	148



(参考資料 2)

本資料は、「火災報告取扱要領」(平成6年4月21日消防災第100号)の「別表第3 出火原因分類表」及び「別表第7 出火箇所分類表」のコード番号を用い、次により分類しています。

(1) 発火源分類

住宅火災の発火源分類		出火原因分類表第1表の分類								
た	ば	こ	たばこ(4201)							
マ	ツ	チ	マッチ(4202),ライター(4203)							
こ	ん	ろ	電	気	電気こんろ(1101),電磁調理器(1127),電磁調理器(1206), 電気クッキングヒータ(1209)					
			ガ	ス	都 市 ガ ス	ガスこんろ(2101),ガステーブル(2102),大型こんろ(2302)				
					プロパンガス	ガスこんろ(2201),ガステーブル(2202),簡易型ガスこんろ(カ セット型)(2203),大型こんろ(2402)				
			石	油	等	石油・ガソリンこんろ(2501)				
			そ	の	他	アルコールこんろ(2526),七輪こんろ(3101),まきこんろ(3201), 石炭こんろ(3301),こんろの火の粉(4306)				
ス	ト	ー	ブ	電	気	電気ストーブ・火鉢(開放式)(1102),電気ストーブ・火鉢(半 密閉式)(1103),電気ストーブ・火鉢(密閉式)(1104)				
				ガ	ス	都 市 ガ ス	ガスストーブ(開放式)(2103),ガスストーブ(半密閉式) (2104),ガスストーブ(密閉式)(2105)			
						プロパンガス	ガスストーブ(開放式)(2204),ガスストーブ(半密閉式) (2205),ガスストーブ(密閉式)(2206)			
				石	油	等	石油・ガソリンストーブ(開放式)(2502),石油・ガソリンストーブ (半密閉式)(2503),石油・ガソリンストーブ(密閉式)(2504),油 ストーブ(開放式)(2602),油ストーブ(半密閉式)(2603),油ス トーブ(密閉式)(2604)			
				そ	の	他	まきストーブ(3202),石炭ストーブ(3402),ストーブの火の粉 (4310)			
こ	た	つ	電気こたつ(1105),炭たどん(練炭)こたつ(3106)							
ロ	ー	ソ	ク	灯	明	ローソク(2701),ちょうちん・灯ろう(2702),灯明(2703)				
電		気		器		具		類		
電気機器類 電気機器(電池類,家庭電化製品,OA機器等)(1301～ 1366,1379～1382,1399) 電気装置(モータ,コンデンサー,制御盤,燃料電池等)(1401 ～1499) 電灯電話等の配線(送電線,配電線,引込線等)(1501～ 1517,1599) 配線器具(スイッチ,安全器,ソケット等)(1601～1699)										
風	呂	か	ま	ど	ガ	ス	都 市 ガ ス	可動かまど・風呂かまど(2109),固定式風呂かまど(2306)		
							プロパンガス	可動かまど・風呂かまど(2210),固定式風呂かまど(2406)		
					石	油	等	可動油風呂かまど(2508),固定式油風呂かまど(2608)		
					そ	の	他	まき風呂かまど(3206),石炭風呂かまど(3406),風呂かまどの 火の粉(4311)		
不					明	不明(0009)				
そ					の	他	上記以外			

(2) 着火物分類

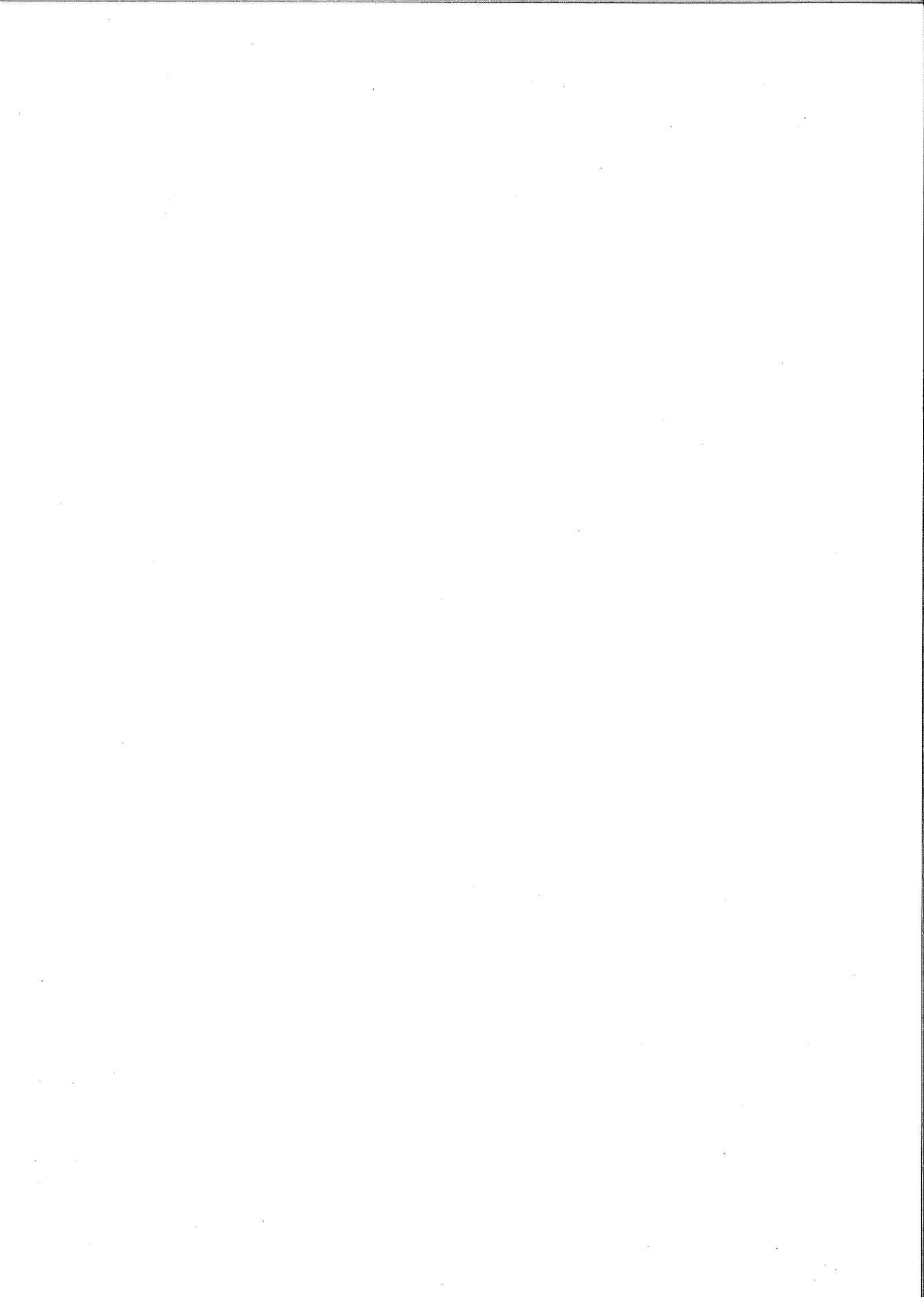
住宅火災の着火物分類		出火原因分類表第3表の分類
ふとん	類	ふとん,座布団,寝具(253)
衣類	類	衣類(252)
繊維	類	繊維原料(251),繊維製品(254),その他(259)
紙	類	袋及び紙製品(255)
内装・建具類	壁 軸 組	合成樹脂壁(120),木づくり(121),板張ベニヤ(122),モルタル(123),しっくい(124),テックス(125),柱・けた・はり(128),その他(129)
	床	合成樹脂床(130),畳(131),板張(132)
	天 井	小屋組材(141),板張(142),モルタル(143),しっくい(144),テックス(145)
	建 具	ドア(161),日除け(162),唐紙・フスマ(163),障子(164),雨戸(板戸)(165),アコーディオンカーテン(166),その他(169)
家 具	類	机(171),椅子・ソファー(172),戸棚・木箱(173),室内装飾品(175),その他(179),カウンター(180),炊事台(コンロ台含む)(181),実験台(183),裁縫台(184),棚(185),仏壇・神棚(186),敷板(187),その他(189)
カーテン・じゅうたん	類	上敷(134),むしろ(135),カーペット(137)じゅうたん(固定)(138),すだれ・よしず(174),カーテン(176)
ガ ス	類	都市ガス(221),水素(222),アセチレン(223),水と反応して発生したガス(224),プロパンガス(225),ブタンガス(226),LPG(カセット用)(227),LPG(スプレー用)(228),その他(229)
屑	類	ごみ屑(280),木屑・かんな屑・のこぎり屑(281),紙屑・わら屑(282),繊維屑(283),ぼろ・油ぼろ(284),セルロイド屑(285),合成樹脂屑(286),金属屑(287),粉塵(288),その他(289)
ガ ソ リ ン ・ 灯 油	類	特殊引火物(231),第一石油類(232),アルコール類(233),第二石油類(234),第三石油類(235),第四石油類(236),可燃性液体類(238)
天 ぷ ら 油	類	動植物油類(237)
不 明	明	不明(009)
そ の 他	他	上記以外

(3) 出火箇所分類

住宅火災の出火箇所分類		出火箇所分類表の分類
居 台	室 所	洋室・和室・応接間・勉強部屋・書斎・寝室(1010) 台所(1140)
浴 室 ・ 洗 面	所	浴室・浴場・風呂場(1170),洗面場(1180),洗たく場(1210), 便所・トイレ(1220)
玄 関 ・ ホ ー ル	ル	玄関(1110),広間・ホール(1120)
廊 下 ・ 階	段	廊下・階段・縁側(1130),階段室(1150)
押 入 ・ 納	戸	押入・納戸(1020)
食 事	室	食事室(営業を目的としない。住宅、寮などの食事専用室) (1030)
不 明	明	不明(9999)
そ の 他	他	上記以外

第二章

火災による死者の実態について



1 序 説

平成25年中には全国で48,095件の火災が発生し、前年(44,189件)に比べ3,906件(8.8%)増加した。また、その火災により1,625人の死者が生じ、前年(1,721人)に比べ96人(5.6%)減少している。

全火災のうち建物火災による死者が、1,254人(全体の77.2%)を占め、そのうち87.7%に当たる1,100人が住宅(一般住宅、共同住宅及び併用住宅の総称。以下同じ。)火災によるものである。このため、住宅火災による死者を減らすために住宅防火対策のより一層の推進が強く望まれるところである。

火災による死者について特徴的なこととしては、高齢者(「65歳以上の者」をいう。以下同じ)等の災害弱者が多く、平成25年中の放火自殺者を除く死者1,288人のうち、高齢者が881人(68.4%)、5歳以下の乳幼児が8人(0.6%)となっており、この両年齢層の死者は、放火自殺者を除く死者全体の69.0%を占めている。

2 火災による死者全体の実態について

(1) 出火件数と火災による死者数の推移

出火件数は平成16年の60,387件をピークに多少の増減をしながらも、全体として減少傾向にある。

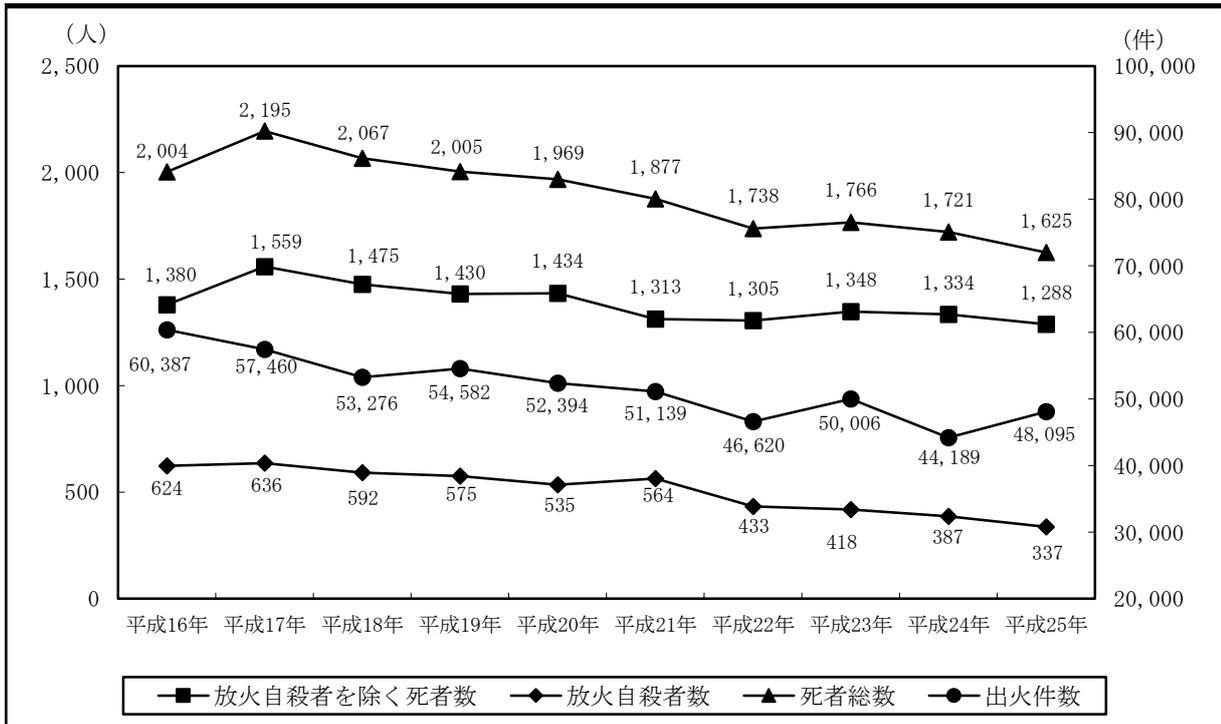
火災による死者数は、平成17年には過去10年間で最多の2,195人となったがその後は減少傾向にあった。平成23年に1,766人と微増となったが平成24年には再び減少に転じ、平成25年には1,625人となっている。10年間の平均は1,897人となっている。(第1表、第1図)

第1表 出火件数と火災による死者数の推移

(平成16年=100)

年		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	10年間平均
死者数 (人)	放火自殺者を除く死者数	1,380	1,559	1,475	1,430	1,434	1,313	1,305	1,348	1,334	1,288	1,387
	放火自殺者数	624	636	592	575	535	564	433	418	387	337	510
	死者総数	2,004	2,195	2,067	2,005	1,969	1,877	1,738	1,766	1,721	1,625	1,897
指数	放火自殺者を除く死者数	100.0	113.0	106.9	103.6	103.9	95.1	94.6	97.7	96.7	93.3	100.5
	放火自殺者数	100.0	101.9	94.9	92.1	85.7	90.4	69.4	67.0	62.0	54.0	81.7
	死者総数	100.0	109.5	103.1	100.0	98.3	93.7	86.7	88.1	85.9	81.1	94.6
出火件数(件)		60,387	57,460	53,276	54,582	52,394	51,139	46,620	50,006	44,189	48,095	51,815
指数		100.0	95.2	88.2	90.4	86.8	84.7	77.2	82.8	73.2	79.6	85.8

第1図 出火件数と死者の推移



(2) 都道府県別の死者発生状況

火災による死者の都道府県別の発生状況をみると、「神奈川県」が94人で最も多く、次いで「千葉県」の90人、「東京都」の87人となっている。一方、火災による死者の少ない県は、「鳥取県、島根県、徳島県」が9人で最も少なく、次いで「福井県」の11人となっている(第2表、第2図)。これを人口10万人当たりの死者数で比較すると、全国平均は前年の1.36人より0.09減少して1.27人である。この割合が最も高いのは第3図のとおり「青森県」の2.77人で、次いで「高知県」の2.51人、「和歌山県」の2.26人となっている。一方、最も低いのは、「東京都」の0.66人で、次いで「沖縄県」の0.83人、「埼玉県」の0.87人となっている(第3表、第3図)。

第2表 都道府県別の死者発生状況

(平成25年中) (単位:人)

都道府県	14	12	13	27	40	23	1	11	28	8	15	22	
区分	神奈川	千 葉	東 京	大 阪	福 岡	愛 知	北海道	埼 玉	兵 庫	茨 城	新 潟	静 岡	
死 者 総 数	94	90	87	80	77	72	71	63	60	53	46	43	
放火自殺者	20	21	10	14	21	16	10	17	16	19	7	7	
死 者 総 数	平成24年	70	91	116	106	61	72	61	81	70	55	51	35
	平成23年	103	74	86	100	61	92	68	72	54	53	47	38
	平成22年	75	97	105	87	58	95	92	82	65	47	33	55
	平成21年	86	88	134	107	60	104	67	98	57	57	48	40

都道府県	20	2	33	4	10	7	26	24	21	35	38	3	
区分	長 野	青 森	岡 山	宮 城	群 馬	福 島	京 都	三 重	岐 阜	山 口	愛 媛	岩 手	
死 者 総 数	42	38	36	33	32	32	31	31	30	30	30	28	
放火自殺者	6	6	6	6	6	5	8	7	7	4	4	14	
死 者 総 数	平成24年	40	36	27	48	38	45	37	18	36	34	34	
	平成23年	39	23	48	43	39	41	29	33	41	27	35	
	平成22年	38	40	39	33	24	43	29	33	30	34	23	34
	平成21年	50	34	46	27	42	47	34	39	30	31	22	51

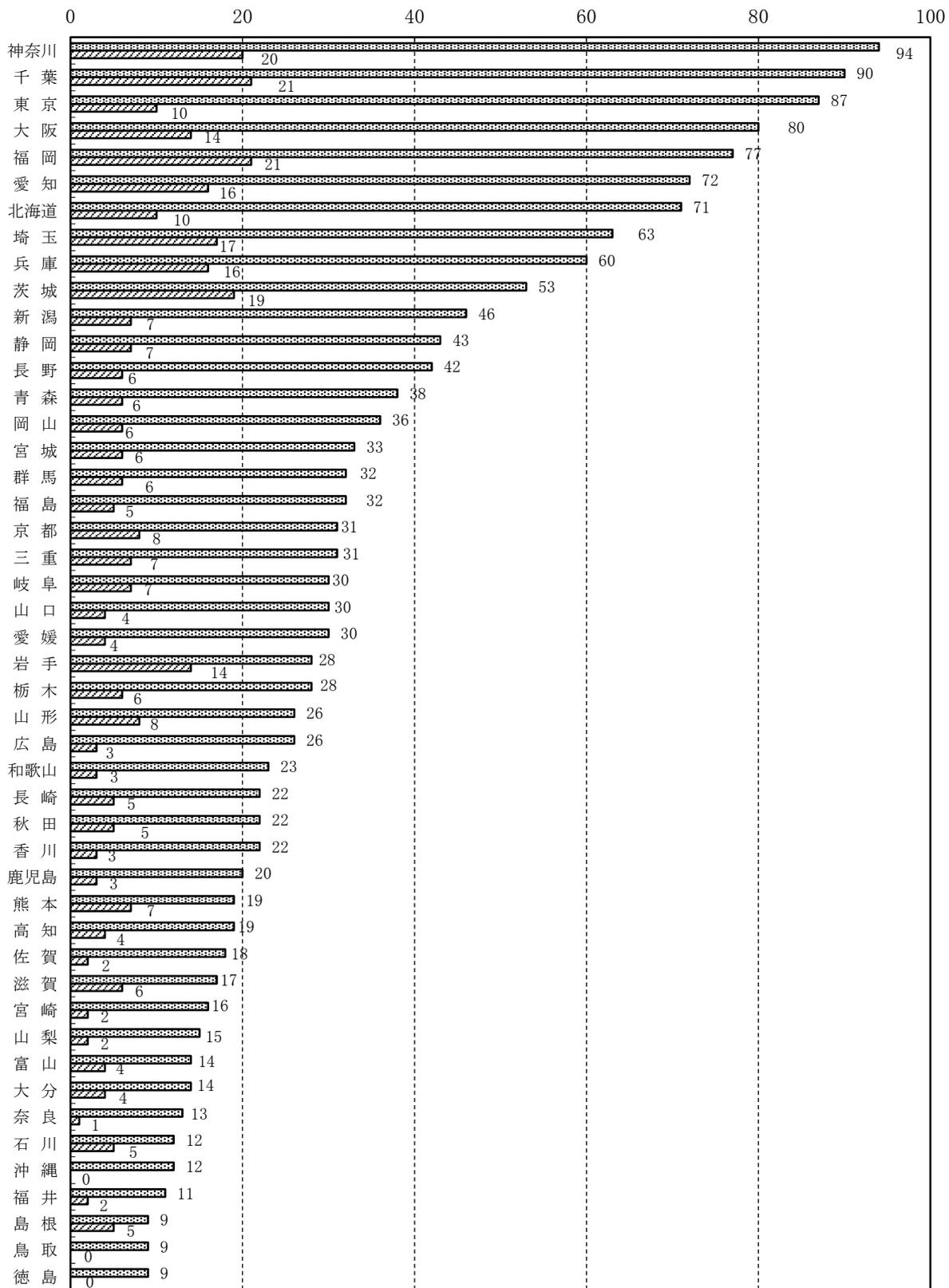
都道府県	9	6	34	30	42	5	37	46	43	39	41	25
区分	栃 木	山 形	広 島	和歌山	長 崎	秋 田	香 川	鹿 児 島	熊 本	高 知	佐 賀	滋 賀
死 者 総 数	28	26	26	23	22	22	22	20	19	19	18	17
放火自殺者	6	8	3	3	5	5	3	3	7	4	2	6
死 者 総 数	平成24年	40	21	41	16	22	20	15	36	29	15	16
	平成23年	47	18	44	25	27	34	25	31	29	14	12
	平成22年	42	20	37	11	18	20	16	35	19	14	17
	平成21年	48	18	40	22	21	36	16	33	26	19	11

都道府県	45	19	16	44	29	17	47	18	32	31	36	計
区分	宮 崎	山 梨	富 山	大 分	奈 良	石 川	沖 縄	福 井	島 根	鳥 取	徳 島	
死 者 総 数	16	15	14	14	13	12	12	11	9	9	9	1,625
放火自殺者	2	2	4	4	1	5	0	2	5	0	0	337
死 者 総 数	平成24年	14	31	19	16	9	17	6	10	11	5	1,721
	平成23年	16	17	18	23	27	17	18	12	8	12	1,766
	平成22年	19	17	13	27	22	21	15	9	19	11	1,738
	平成21年	13	22	29	26	19	22	13	4	9	4	1,877

第2図 都道府県別の死者発生状況

(平成25年中)

(人)



■ 死者総数 ■ 放火自殺者

第3表 人口10万人当たりの死者数

(平成25年中) (単位：人)

年	2 青森	39 高知	30 和歌山	6 山形	37 香川	3 岩手	41 佐賀	38 愛媛	35 山口	5 秋田
平成25年	2.77	2.51	2.26	2.25	2.18	2.13	2.11	2.08	2.07	2.04
平成24年	2.60	1.97	1.57	1.81	1.49	2.58	0.82	2.22	2.35	1.84
平成23年	1.65	1.83	2.44	1.54	2.48	2.60	1.40	1.59	1.86	3.10
平成22年	2.85	1.81	1.07	1.70	1.58	2.53	1.75	1.58	2.32	1.80
平成21年	2.40	2.45	2.12	1.52	1.57	3.76	1.28	1.50	2.11	3.22

年	15 新潟	20 長野	33 岡山	8 茨城	19 山梨	24 三重	7 福島	10 群馬	42 長崎	31 鳥取
平成25年	1.95	1.94	1.85	1.77	1.74	1.66	1.62	1.58	1.54	1.53
平成24年	2.16	1.86	1.40	1.86	3.62	0.98	2.26	1.91	1.54	1.87
平成23年	1.98	1.81	2.48	1.78	1.98	1.79	2.00	1.95	1.87	2.03
平成22年	1.38	1.76	2.01	1.58	1.97	1.78	2.10	1.20	1.24	1.85
平成21年	2.00	2.31	2.37	1.91	2.54	2.10	2.28	2.09	1.44	0.67

年	40 福岡	12 千葉	21 岐阜	4 宮城	45 宮崎	9 栃木	18 福井	1 北海道	16 富山	32 島根
平成25年	1.51	1.44	1.43	1.42	1.40	1.39	1.36	1.30	1.28	1.26
平成24年	1.21	1.48	1.74	2.08	1.22	2.01	1.25	1.11	1.75	1.54
平成23年	1.21	1.20	1.97	1.85	1.39	2.35	1.49	1.24	1.65	1.11
平成22年	1.15	1.58	1.44	1.42	1.65	2.10	1.11	1.67	1.18	2.63
平成21年	1.19	1.44	1.44	1.16	1.12	2.40	0.49	1.21	2.63	1.24

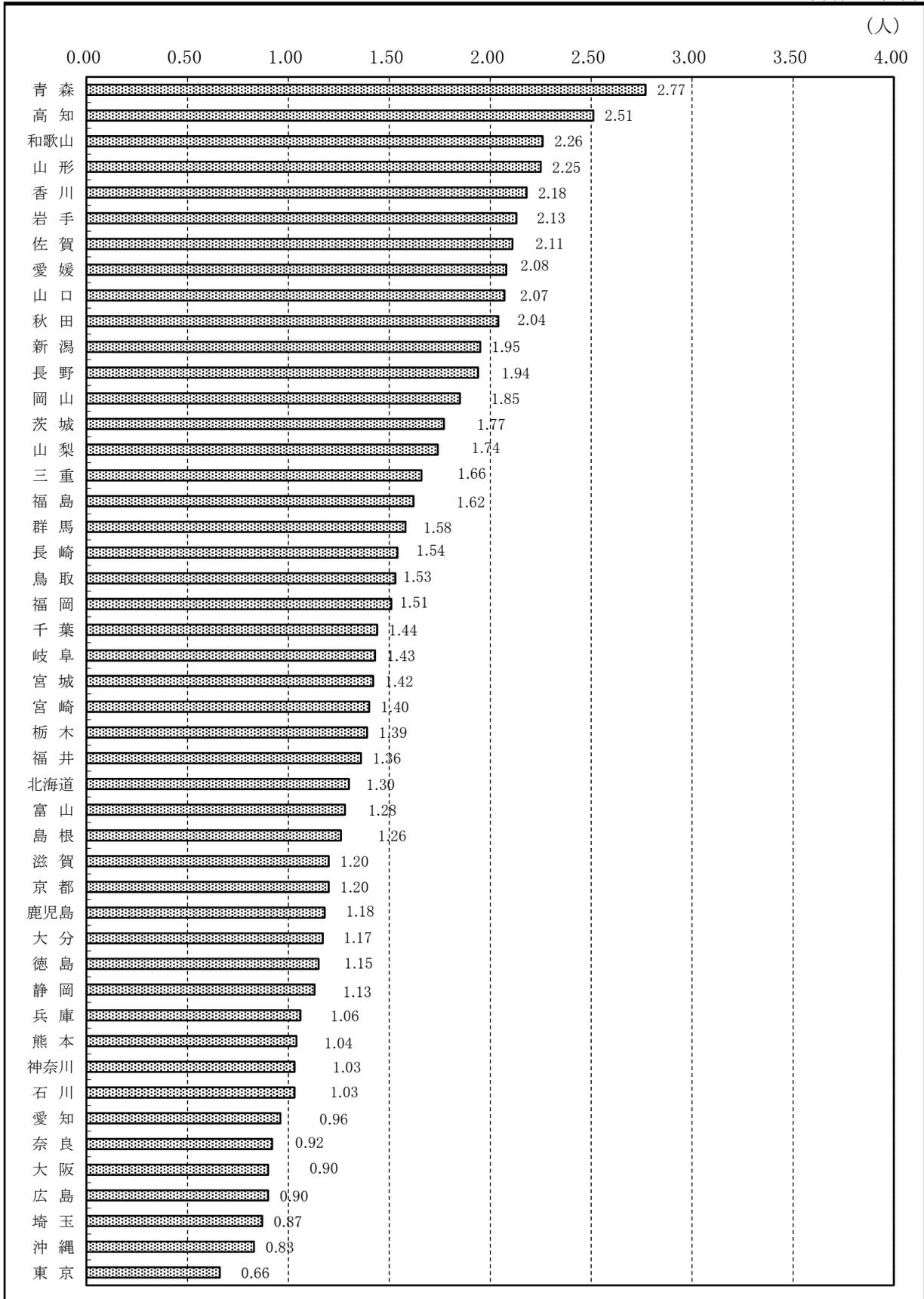
年	25 滋賀	26 京都	46 鹿児島	44 大分	36 徳島	22 静岡	28 兵庫	43 熊本	14 神奈川	17 石川
平成25年	1.20	1.20	1.18	1.17	1.15	1.13	1.06	1.04	1.03	1.03
平成24年	1.15	1.46	2.11	1.34	0.64	0.93	1.26	1.59	0.78	1.47
平成23年	0.86	1.14	1.81	1.91	1.39	1.01	0.97	1.59	1.16	1.47
平成22年	1.23	1.14	2.03	2.24	1.25	1.46	1.16	1.04	0.84	1.81
平成21年	1.16	1.33	1.91	2.15	1.37	1.06	1.02	1.41	0.97	1.89

年	23 愛知	29 奈良	27 大阪	34 広島	11 埼玉	47 沖縄	13 東京	平均
平成25年	0.96	0.92	0.90	0.90	0.87	0.83	0.66	1.27
平成24年	0.99	0.64	1.22	1.44	1.13	0.42	0.91	1.36
平成23年	1.27	1.92	1.15	1.54	1.01	1.27	0.68	1.39
平成22年	1.31	1.56	1.00	1.30	1.15	1.07	0.83	1.37
平成21年	1.44	1.34	1.23	1.40	1.38	0.93	1.07	1.48

(注) 人口は平成25年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

第3図 都道府県別人口10万人当たりの死者数

(平成25年中)



(3) 月別の死者発生状況

火災による死者の月別の発生状況をみると、例年火気を使用する機会が多い冬季から春先にかけて死者が多く発生しており、平成25年中においても「1月」から「3月」及び「12月」の4ヶ月の月ごとの平均死者数は203.0人（1年間の月平均135.4人）となっており、この4ヶ月間に死者総数の50.0%に当たる812人の死者が発生している。月別の火災件数と死者の発生状況との関連を火災100件当たりの死者数で比較すると、「1月」が5.7人で死者の発生割合が最も高く、次いで「2月」の5.1人となっている（第4表、第4図）。

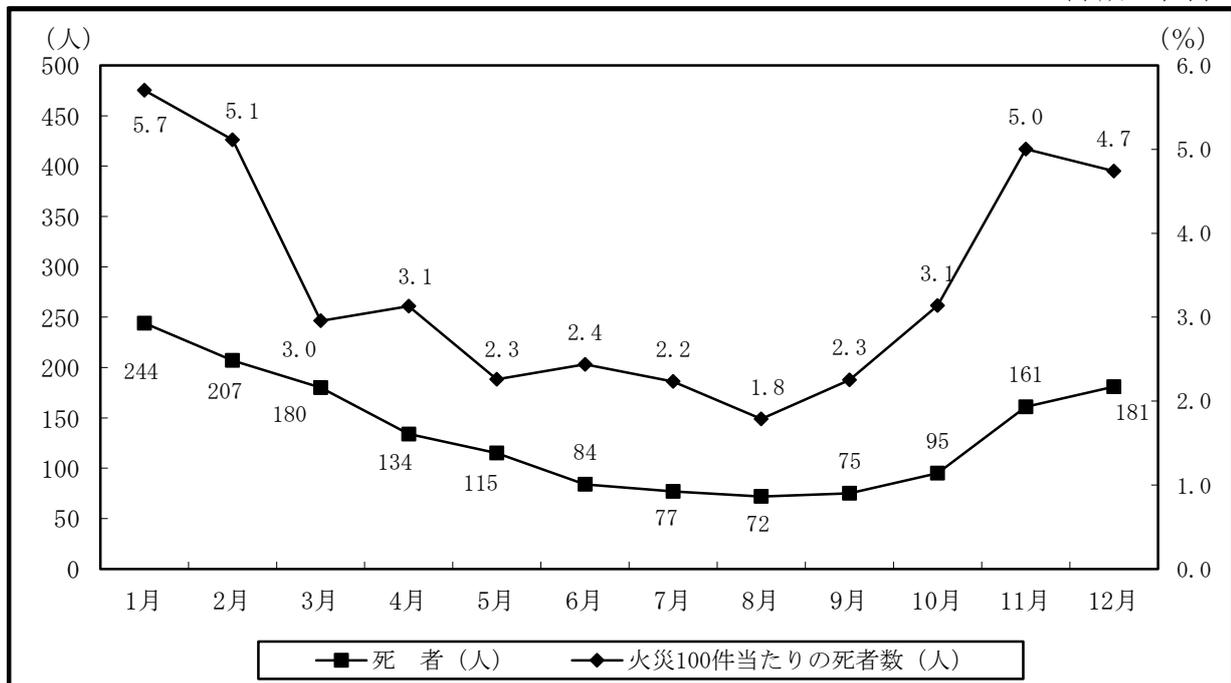
第4表 月別の死傷者の発生状況

（平成25年中）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者（人）		244	207	180	134	115	84	77	72	75	95	161	181	1,625
	割合（%）	15.0	12.7	11.1	8.2	7.1	5.2	4.7	4.4	4.6	5.8	9.9	11.1	100.0
負傷者（人）		782	679	765	615	563	398	429	579	425	451	534	638	6,858
	割合（%）	11.4	9.9	11.2	9.0	8.2	5.8	6.3	8.4	6.2	6.6	7.8	9.3	100.0
火災件数（件）		4,278	4,048	6,088	4,278	5,090	3,447	3,448	4,029	3,330	3,025	3,217	3,817	48,095
	割合（%）	8.9	8.4	12.7	8.9	10.6	7.2	7.2	8.4	6.9	6.3	6.7	7.9	100.0
火災100件当たりの死者数（人）		5.7	5.1	3.0	3.1	2.3	2.4	2.2	1.8	2.3	3.1	5.0	4.7	3.4
過去5年間の死者数の平均（人）		252	233	231	167	132	99	93	82	82	105	141	196	1,814
	割合（%）	13.9	12.8	12.7	9.2	7.3	5.5	5.1	4.5	4.5	5.8	7.8	10.8	100.0

第4図 月別の死者発生状況

（平成25年中）



(4) 時間帯別の死者発生状況

火災による死者の時間帯別発生状況を見ると、「3時台」が98人と最も多く、次いで「2時台」が87人となっており、就寝時間帯に多くの死者が発生している。一方、最も死者の少ないのは「9時台」が43人となっており、次いで「14時台」の51人、「7時台、10時台」の53人となっている。これを昼夜別にみると、夜間（「0時～6時台」及び「19時～23時台」をいう。以下同じ。）における死者は847人で52.1%、昼間（「7時～18時台」をいう。以下同じ。）における死者は681人で41.9%となっており、夜間に発生した火災により多くの死者が発生している（第5表、第5図）。

第5表 時間帯別の死者発生状況

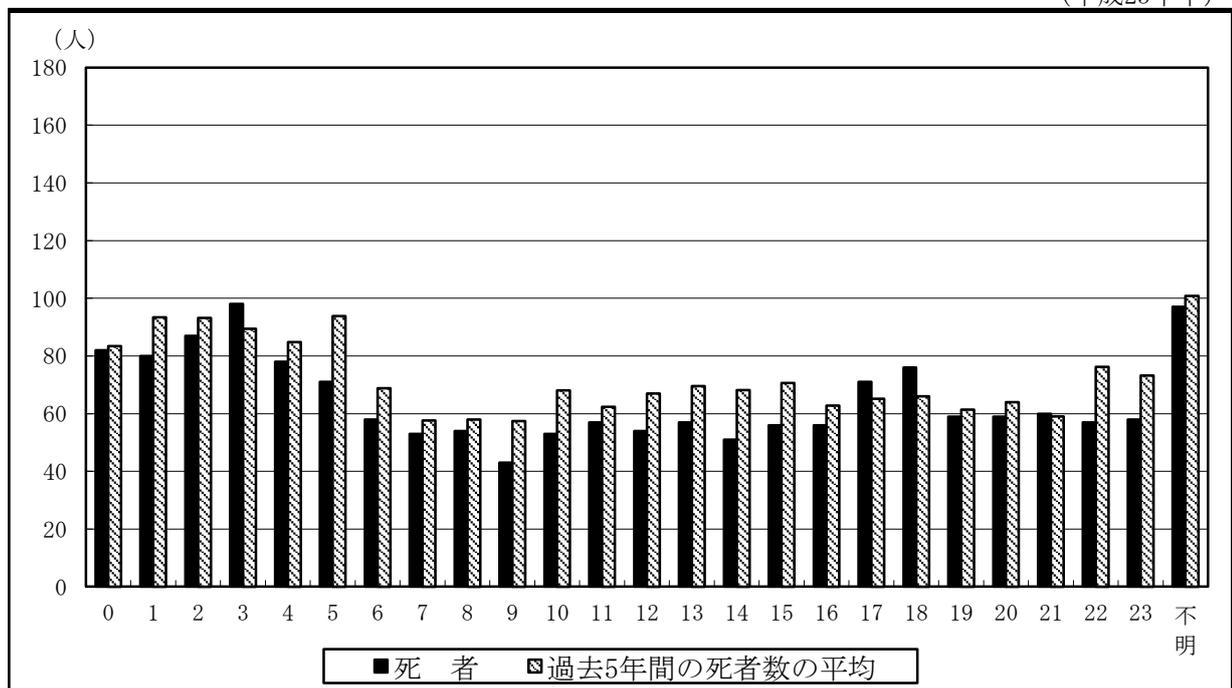
(平成25年中)

区分	時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者 (人)		82	80	87	98	78	71	58	53	54	43	53	57	54
	割合 (%)	5.0	4.9	5.4	6.0	4.8	4.4	3.6	3.3	3.3	2.6	3.3	3.5	3.3
過去5年間の死者数の平均 (人)		83	93	93	89	85	94	69	58	58	57	68	62	67
	割合 (%)	4.6	5.1	5.1	4.9	4.7	5.2	3.8	3.2	3.2	3.2	3.7	3.4	3.7

区分	時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者 (人)		57	51	56	56	71	76	59	59	60	57	58	97	1,625
	割合 (%)	3.5	3.1	3.4	3.4	4.4	4.7	3.6	3.6	3.7	3.5	3.6	6.0	100.0
過去5年間の死者数の平均 (人)		70	68	71	63	65	66	61	64	59	76	73	101	1,814
	割合 (%)	3.8	3.8	3.9	3.5	3.6	3.6	3.4	3.5	3.3	4.2	4.0	5.6	100.0

第5図 時間帯別の死者発生状況

(平成25年中)



(5) 火災種別ごとの死者発生状況

火災種別ごとの死者発生状況をみると、「建物火災」によるものが1,254人で前年(1,324人)に比べ70人(5.3%)減少したが、死者総数に対する割合は77.2%(前年76.9%)で微増となった。また、「車両火災」による死者は、前年(129人)に比べ20人(15.5%)減少し、109人となっている。(第6表)。

第6表 火災種別ごとの死者発生状況

(平成25年中)

火災種別 区分	計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機 火災	その他の 火災
死者数(人)	1,625	1,254	20	109	6	0	236
割合 (%)	(100.0%)	(77.2%)	(1.2%)	(6.7%)	(0.4%)	(0.0%)	(14.5%)
死者の発生した火災 件数(件)	1,490	1,132	20	103	1	0	234
割合 (%)	(100.0%)	(76.0%)	(1.3%)	(6.9%)	(0.1%)	(0.0%)	(15.7%)

(注) ここでは、火災が2種以上にわたった場合、火災報告取扱要領の取扱いにかかわらず、死者が発生した方の火災種別による。

(6) 建物用途別、階層別の死者発生状況

建物用途別の死者発生状況をみると、住宅(「一般住宅、共同住宅及び併用住宅」をいう。以下同じ。)火災での死者が1,100人で87.7%を占めている。建物階層別の死者発生状況は、「1階」での死者が879人(70.1%)と最も多く、次いで「2階」が255人(20.3%)となっている(第7表)。

第7表 建物用途別、階層別の死者発生状況

(平成25年中) (単位：人)

建物用途 階層	小計		併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケBOX	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院・診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園
	一般住宅	共同住宅															
地下2階	0																
地下1階	0																
1階	879	704	79	15								3	1	1			
2階	255	146	61	9								1		7			
3階	36	8	14	1										2			
4階	18	2	10														
5階	12		10										1				
6階	4		2														
7階	4	1	1														
8階	4		4														
9階以上	4		2										1				
不明	38	31											1				
合計	1,254 (割合%)	892	183	25	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	10	0	0
		1,100 (87.7)			(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(0.3)	(0.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
平成24年	1,324 (割合%)	890	221	34	0	0	0	0	0	2	1	4	9	1	0	0	0
	(100.0)	1,145 (86.5)			(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.4)	(0.4)	(0.1)	(0.2)	(0.9)	(0.0)	(0.0)

建物用途 階層	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社・寺院	工場・作業場	スタジアム	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫・納屋	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
地下1階																		
1階						4	12					1	6	9				44
2階							2						10	10				9
3階													5	6				
4階							1						1	4				
5階														1				
6階													1	1				
7階													1	1				
8階																		
9階以上														1				
不明							1				1		1					3
合計	0	0	0	0	0	4	16	0	0	0	1	1	25	33	0	0	0	56
	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(1.3)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(2.0)	(2.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(4.5)
平成24年	0	0	0	0	0	2	12	0	0	0	5	10	34	34	0	0	0	65
	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.3)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(0.3)	(0.4)	(2.8)	(2.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(2.0)

- (注) 1 この表は、放火自殺者等を含めた数である。
 2 専用住宅及び併用住宅における死者1,100人に含まれる放火自殺者等の内訳は、放火自殺者98人、放火自殺巻き添え者4人、放火殺人の犠牲者1人となっている。
 3 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。
 4 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(7) 建物構造別の死者発生状況

建物構造別の死者発生状況をみると、「木造」での死者が860人(68.6%)と最も多く、そのうち686人(木造建物での死者の79.8%)が1階で発生している。また、建物構造別に出火件数100件当たりの死者数をみると、「木造」が8.3人、「防火造」が5.8人、「準耐木造」が4.5人、「準耐非木造」が2.4人の順となっている(第8、9表)。

第8表 建物構造別、焼損程度別の死者発生状況

(平成25年中)

区分		構造	木	防	準	準	耐	そ	計
			造	火	耐	耐	火	の	
			造	造	木	非	造	他	
			造	造	造	木	造	他	
死者数	計		860	134	16	67	134	43	1,254
	割合 (%)		68.6	10.7	1.3	5.3	10.7	3.4	100.0
	全焼		640	47	2	18	8	26	741
	半焼		98	39	4	15	11	2	169
	部分焼		79	34	7	25	94	10	249
	ぼや		43	14	3	9	21	5	95
(人)									
出火件数 (件)			10,353	2,317	352	2,797	6,688	2,546	25,053
火災100件当たりの死者数 (人)			8.3	5.8	4.5	2.4	2.0	1.7	5.0

第9表 建物構造別、焼損程度別、階層別の死者発生状況

(平成25年中)(単位:人)

焼損程度	階層 構造	地下		地上									不明	計	
		2階	1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階以上			
全焼	木造			544	73									23	640
	防火造			37	7	2								1	47
	準耐火木造				2										2
	準耐火非木造			8	8	2									18
	耐火造			5	1		1							1	8
	その他の他			17	7	1								1	26
	計	0	0	611	98	5	1	0	0	0	0	0	0	26	741
半焼	木造			57	38	1								2	98
	防火造			22	16	1									39
	準耐火木造			1	2	1									4
	準耐火非木造			7	5	1	2								15
	耐火造			4	3	4									11
	その他の他			1	1										2
	計	0	0	92	65	8	2	0	0	0	0	0	2	169	
部分焼	木造			45	30	1								3	79
	防火造			21	11	1		1							34
	準耐火木造			5	1	1									7
	準耐火非木造			13	8	3								1	25
	耐火造			22	27	11	12	7	4	3	3	4	1		94
	その他の他			4	5	1									10
	計	0	0	110	82	18	12	8	4	3	3	4	5	249	
ぼや	木造			38	1									2	41
	防火造			8	5										13
	準耐火木造			2	1										3
	準耐火非木造			5	1		1						1		8
	耐火造			6	2	3	2	4		1	1		1		20
	その他の他			2		2									4
	計	0	0	61	10	5	3	4	0	1	1	0	4	89	
不明	木造			2											2
	防火造			1											1
	準耐火木造														0
	準耐火非木造			1											1
	耐火造												1		1
	その他の他			1											1
	計	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	
計	木造	0	0	686	142	2	0	0	0	0	0	0	0	30	860
	防火造	0	0	89	39	4	0	1	0	0	0	0	0	1	134
	準耐火木造	0	0	8	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	準耐火非木造	0	0	34	22	6	3	0	0	0	0	0	0	2	67
	耐火造	0	0	37	33	18	15	11	4	4	4	4	4	4	134
	その他の他	0	0	25	13	4	0	0	0	0	0	0	0	1	43
	計	0	0	879	255	36	18	12	4	4	4	4	38	1,254	

(注) 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(8) 建物用途別、構造別の火災発生件数、死者発生状況

建物用途別、構造別の死者発生状況をみると、「木造」のうち「専用住宅」での死者が781人で「木造」での死者(860人)の90.8%を占めている。また、「防火造」のうち「専用住宅」での死者は116人で防火造建物での死者(134人)の86.6%となっている。また、火災100件当たりの「住宅」の死者数をみると、「木造の一般住宅」が11.3人と最も多く、次いで「準耐火木造の共同住宅」が9.6人、「木造の共同住宅」が9.2人となっている(第10表)。

第10表 建物用途別、構造別の死者発生状況

(平成25年中)

構造	建物用途	計	専用住宅		併 用 住 宅	劇 場 等	公 会 堂	キ ャ バ レ l	遊 技 場	性 風 俗	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	料 理 店	飲 食 店
			一般住宅	共同住宅									
木 造	出火件数(件)	10,353	6,545	456	390	0	10	2	2	0	1	11	220
	死者数(人)	860	739	42	19	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	8.3	11.3	9.2	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
防 火 造	出火件数(件)	2,317	1,231	433	56	0	0	1	2	0	0	2	54
	死者数(人)	134	83	33	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	5.8	6.7	7.6	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 木 造	出火件数(件)	352	132	73	11	0	0	0	1	0	0	0	14
	死者数(人)	16	7	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	4.5	5.3	9.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準 耐 火 非 木 造	出火件数(件)	2,797	336	310	59	0	11	2	20	0	8	2	115
	死者数(人)	67	24	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.4	7.1	3.5	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耐 火 造	出火件数(件)	6,688	256	2,713	45	5	18	4	27	0	2	4	126
	死者数(人)	134	17	84	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	2.0	6.6	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	出火件数(件)	2,546	392	118	65	0	4	1	3	0	1	1	59
	死者数(人)	43	22	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	1.7	5.6	5.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数(件)	25,053	8,892	4,103	626	5	43	10	55	0	12	20	588
	死者数(人)	1,254	892	183	25	0	0	0	0	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	5.0	10.0	4.5	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

構造		建物用途	物	旅	病	グ	社	幼	学	図	特	公	停	神
			品	館	院	ル	会	稚	校	書	殊	衆	車	社
			販	・	・	ー	福	園		館	浴	浴	場	・
			売	ホ	診	プ	祉				場	場	場	寺
			店	テ	療	ホ	施							院
			舗	ル	所	ーム	設							
木造	出火件数 (件)	48	45	8	4	15	2	5	4	0	3	9	100	
	死者数 (人)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
	100件当たりの死者数(人)	2.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0		
防火造	出火件数 (件)	20	8	6	2	6	0	7	0	0	3	1	4	
	死者数 (人)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
準耐火木造	出火件数 (件)	6	2	0	0	3	0	1	0	0	1	1	3	
	死者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
準耐火非木造	出火件数 (件)	95	6	4	7	10	2	16	2	1	1	5	2	
	死者数 (人)	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	250.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
耐火造	出火件数 (件)	150	97	84	34	26	8	177	2	2	3	27	8	
	死者数 (人)	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	0.7	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	出火件数 (件)	55	7	0	2	7	1	18	1	0	2	2	3	
	死者数 (人)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100件当たりの死者数(人)	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
計	出火件数 (件)	374	165	102	49	67	13	224	9	3	13	45	120	
	死者数 (人)	4	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	100件当たりの死者数(人)	1.1	2.4	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	

構造	建物用途	工場・作業場	スタジ オ	車庫・駐 車場	航空機 格納庫	倉庫・納 屋	事 務 所	複 合 用 途 ・ 特 定	複 合 用 途 ・ 非 特 定	地 下 街	準 地 下 街	文 化 財	そ の 他
		木造	出火件数(件)	201	1	8	0	180	164	160	100	1	0
	死者数(人)	4	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	43
	100件当たりの死者数(人)	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	3.0	0.0	0.0	0.0	2.6
防火造	出火件数(件)	70	0	0	0	21	30	117	160	0	0	0	83
	死者数(人)	1	0	0	0	0	0	2	8	0	0	0	3
	100件当たりの死者数(人)	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	5.0	0.0	0.0	0.0	3.6
準耐火木造	出火件数(件)	23	0	0	0	6	9	18	21	0	0	0	27
	死者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数(件)	896	0	11	0	132	148	159	110	0	0	0	327
	死者数(人)	5	0	0	0	0	0	8	8	0	0	0	0
	100件当たりの死者数(人)	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0
耐火造	出火件数(件)	195	2	10	0	37	319	1,635	450	4	0	0	218
	死者数(人)	4	0	0	0	1	0	9	10	0	0	0	5
	100件当たりの死者数(人)	2.1	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.6	2.2	0.0	0.0	0.0	2.3
その他	出火件数(件)	365	1	19	1	182	144	71	57	0	0	0	964
	死者数(人)	2	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	5
	100件当たりの死者数(人)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.8	5.3	0.0	0.0	0.0	0.5
計	出火件数(件)	1,750	4	48	1	558	814	2,160	898	5	0	5	3,272
	死者数(人)	16	0	0	0	1	1	25	33	0	0	0	56
	100件当たりの死者数(人)	0.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	1.2	3.7	0.0	0.0	0.0	1.7

(9) 防火対象物政令用途区分別の死者発生状況

防火対象物(政令用途区分別)の火災発生件数は、(5)項口(共同住宅等)での4,122件、(16)項イ(複合用途防火対象物)での2,175件、(12)項イ(工場等)での1,832件の順に多く、死者数は(5)項口(共同住宅等)で183人、(16)項口((16)項イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物)で33人、(16)項イ(複合用途防火対象物)で25人となっている(第11表)。死者が発生した防火対象物を建物構造別、階層別、規模別(延べ面積)で分類すると第12表のとおりであり、さらに建物構造別、焼損程度別、発生階別に分類すると、それぞれ第13表及び第14表のとおりとなっている。特に全焼の場合においては、木造建物で半数以上の24人(51.1%)の死者が発生している。

次に死者が発生した防火対象物における防火管理状況をみると、消防法第8条第1項に該当する防火対象物(100件)のうち、防火管理者を選任しているものは90件(90.0%)、消防計画を作成しているものは78件(78.0%)となっている(第15表)。

第11表 防火対象物政令用途区分別の火災発生件数、死者発生状況

(平成25年中)

政令用途		区 分	火災発生件数(件)	死者を伴った火災件数(件)	死者発生数(人)
(一)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	6		
	ロ	公会堂又は集会場	47		
(二)	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの	11		
	ロ	遊技場又はダンスホール	58		
	ハ ニ	性風俗関連特殊営業を営む店舗 カラオケボックス等			
(三)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	23		
	ロ	飲食店	596		
(四)		百貨店、マーケット、その他の物品販売店舗又は展示場	393	4	4
(五)	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	171	4	4
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	4,122	174	183
(六)	イ	病院、診療所又は助産所	105	1	10
	ロ	グループホーム等	69		
	ハ ニ	社会福祉施設等 幼稚園又は特別支援学校	13		
(七)		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学	250		
(八)		図書館、博物館、美術館	10		
(九)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場	3		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	14		
(十)		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	48		
(十一)		神社、寺院、教会	131	4	4
(十二)	イ	工場、作業場	1,832	13	16
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	5		
(十三)	イ	自動車車庫、駐車場	51		
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	1		
(十四)		倉庫	570	1	1
(十五)		前各項に該当しない事業所	855	1	1
(十六)	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イを含む複合用途防火対象物	2,175	22	25
	ロ	イに掲げる複合防火対象物以外の複合防火対象物	898	31	33
(十六)の2		地下街	5		
(十六)の3		準地下街			
(十七)		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	7		
(十八)		延長50メートル以上のアーケード			
(十九)		市町村長の指定する山林	58		
(二十)		自治省令で定める舟車	1		
計			12,528	255	281

(注) 死者の発生した対象物の用途にかかわらず、出火した火元の対象物の用途別の数を示す。

第12表 防火対象物政令用途区分別、建物構造別、階層別、規模別の死者を伴った火災発生状況

(平成25年中) (単位：件)

区分	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	共同住宅	病院	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園	学校	神社・寺院	停車場	工場・作業場	車庫・駐車場	倉庫	事務所	複合用途特定	複合用途非特定	計	
出火件数	0	0	4	4	174	1	0	0	0	0	4	0	13	0	1	1	22	31	255	
建物構造	木造		1	1	39						4		4				4	3	56	
	防火造		1		30								1				2	8	42	
	準耐火木造				7													1	8	
	準耐火非木造					11	1						4				5	6	27	
	耐火造			1	3	81							2		1		9	10	107	
	その他			1		6							2			1	2	3	15	
階層	地下3階以下																		0	
	地下2階																1		1	
	地下1階				1	8	1				1						1	1	13	
	1			1		5					1		4			1		1	13	
	2			3	1	87					3		7				9	12	122	
	3					13							2				2	9	26	
	4					15	1										5	3	24	
	5				1	36									1			1	39	
	6					2													2	
	7					1											2	1	4	
	8					3											1	3	7	
	9					2													2	
	10				1												1		2	
	11				1	4													1	6
	12					1														1
	13					1														1
	14					3											2		5	
	15																			0
	16階以上					1														1
	不明																			0
計	0	0	4	5	182	2	0	0	0	0	5	0	13	0	1	1	24	32	269	
延べ面積 (㎡)	～150			1	25								2			1	2	7	38	
	151～300			1	44						1		2				6	10	64	
	301～500			1	27						2		4				3	3	40	
	501～1,000				1	17	1				1		2				5	5	32	
	1,001～			1	3	61							3		1		6	6	81	

(注) 階層は死者の発生した階ではなく、単に建物の階層を表している。地階と地上階の数は重複する場合もある。

第13表 防火対象物区分別、建物構造別、焼損程度別の死者発生状況

(平成25年中) (単位：人)

		料	飲	物	旅	共	病	グ	社	幼	学	神	停	工	車	倉	事	複	複	
		理	食	品	館	同		ル	会	稚			車	場	庫		務	合	合	計
		店	店	販	・	住	院	ー	福	園	校	・	場	・	・	庫	所	用	用	
		店	店	売	ホ	宅		プ	社			寺	作	駐	庫		務	途	途	
		店	店	店	テ	宅		ホ	社			院	業	車			所	特	非	
		店	店	舗	ル	宅		ム	施			場	場	場			所	定	特	
		店	店	舗	ル	宅		ム	設			場	場	場			所	定	定	
全 焼	木造				1	16						2	3					1	1	24
	防火造					4													1	5
	準耐火木造																			0
	準耐火非木造						10						1							11
	耐火造												2					1		3
	その他					1							1						1	1
計	0	0	0	1	21	10	0	0	0	0	0	2	0	7	0	0	0	3	3	47
半 焼	木造			1		12								1				1		15
	防火造			1		8								1						3
	準耐火木造					2													1	3
	準耐火非木造					2												1	5	8
	耐火造					2												1	1	4
	その他													1						1
計	0	0	2	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	10	44
部 分 焼	木造					12						2						2	2	18
	防火造					16												2	4	22
	準耐火木造					3														3
	準耐火非木造					6							2					7	3	18
	耐火造				2	68							2					5	9	86
	その他					4												1	1	6
計	0	0	0	2	109	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	17	19	153
ぼ や	木造					2														2
	防火造					5														5
	準耐火木造					2														2
	準耐火非木造					3							2							5
	耐火造			1	1	14									1			2		19
	その他			1		1												1	1	4
計	0	0	2	1	27	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	2	1	37
計	木造	0	0	1	1	42	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	4	3	59
	防火造	0	0	1	0	33	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	8	45
	準耐火木造	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
	準耐火非木造	0	0	0	0	11	10	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	8	8	42
	耐火造	0	0	1	3	84	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	9	10	112
	その他	0	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	3	15
計	0	0	4	4	183	10	0	0	0	0	4	0	16	0	1	1	25	33	281	

第14表 防火対象物区分別、建物階層別の死者発生状況

(平成25年中) (単位：人)

政令用途	区分	地下2階	地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	不明	計
(二)	イ															0
	ロ															0
(三)	イ															0
	ロ															0
(四)				3	1											4
(五)	イ			1				1				1			1	4
	ロ			79	61	14	10	10	2	1	4			2		183
(六)	イ			1	7	2										10
	ロ															0
	ハ															0
(七)	ロ															0
(九)	イ															0
(十一)				4												4
(十二)	イ			12	2		1								1	16
(十三)	イ															0
(十四)															1	1
(十五)				1												1
(十六)	イ			6	10	5	1		1	1					1	25
	ロ			9	10	6	4	1	1	1			1			33
計		0	0	116	91	27	16	12	4	3	4	1	1	2	4	281

(注) 区分は建物の階層ではなく、死者の発生した場所の存する階を示している。

第15表 死者が発生した防火対象物の防火管理等の状況

(平成25年中) (単位：件)

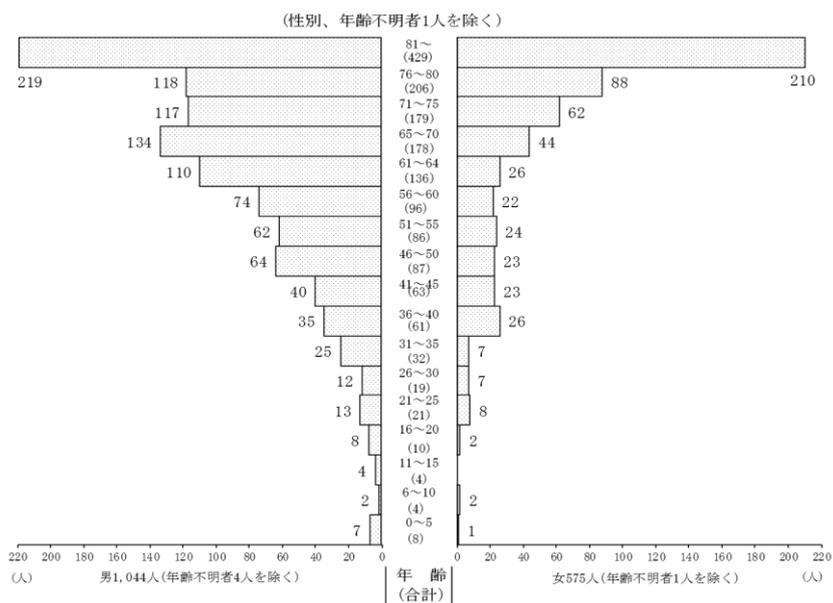
政令用途	区分	防火対象物において死者が発生した火災	消防法第8条第1項に該当する対象物		
				防火管理者選任済対象物	消防計画内容適正対象物
(四)		4	1	1	1
(五)	イ	4	4	4	4
	ロ	174	60	52	44
(六)	イ	1	10	10	9
(十一)		4	2	2	2
(十二)	イ	13	3	3	2
(十四)		1	1	1	1
(十五)		1			
(十六)	イ	22	14	12	11
	ロ	31	5	5	4
計		255	100 (100.0%)	90 (90.0%)	78 (78.0%)

(注) 防火管理者選任済対象物は届出済の件数を示す。

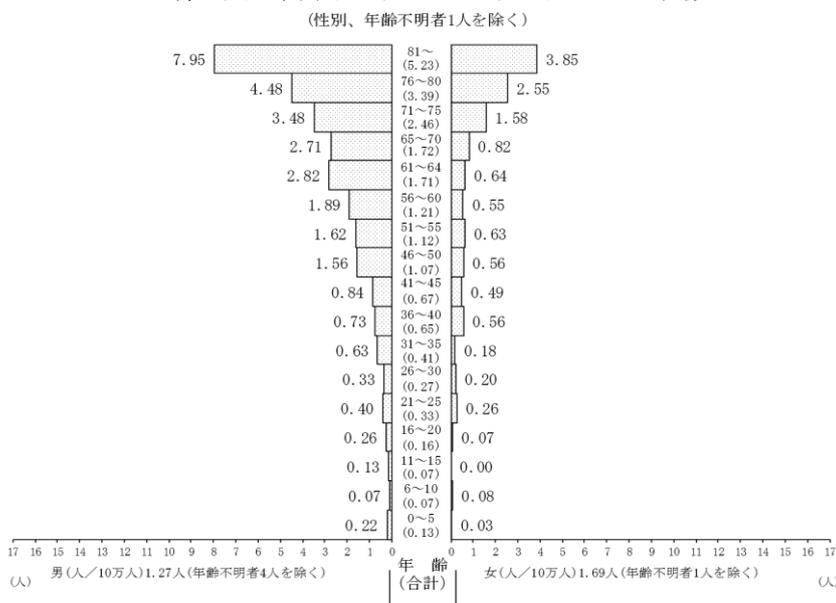
(10) 年齢別、性別の死者発生状況

年齢別の火災による死者発生状況をみると、「81歳以上」が429人で最も多く、次いで「76～80歳」の206人となっており、65歳以上の高齢者は992人で全死者(1,625人)の61.0%を占めている。また、性別では、「6歳から10歳」の年齢層を除いて「男性」が上回っており、全死者の64.5%(1,048人)を占めている(第6図)。年齢別及び性別の人口10万人当たりの死者発生状況をみると、年齢層が高くなるにしたがって増加している(第7図)。

第6図 年齢別、性別の死者発生状況



第7図 年齢別の人口10万人当たりの死者数



(注)1 ()は、年齢別人口10万人当たりの死者数を示す。
2 人口は、平成25年10月1日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

(11) 1件で3人以上の死者を出した火災

1件で3人以上の死者を出した火災は12件で、前年(18件)より6件減少している。これによる死者は49人で、前年(63人)より14人(22.2%)減少している(第16表)。

第16表 1件で3人以上の死者を出した火災の都道府県別発生状況

(平成25年中)

区分 都道府県	死者数 (人)	火災件数 (件)	火災1件で発生した死者数別の火災件数(件)						
			3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	計
北海道	71	1,891	1			1			2
岩手	28	481		1					1
千葉	90	2,468		1					1
東京	87	5,213	1						1
三重	31	843	1						1
京都	31	624	1						1
兵庫	60	2,192	1						1
岡山	36	755	1						1
愛媛	30	536	1						1
福岡	77	1,742						1	1
長崎	22	580		1					1
計	563	17,325	7	3	0	1	0	1	12
死者数(人)			21	12	0	6	0	10	49

ア 火災種別別発生状況

火災種別についてみると「建物火災」によるものが10件40人、「船舶火災」によるものが1件6人となっている(第17表)。

第17表 1件で3人以上の死者を出した火災の火災種別別発生状況

(平成25年中)(単位:件、人)

火災種別		区分	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上	計
建物火災	全焼		5 (15)	2 (8)				1 (10)	8 (33)
	半焼								0 (0)
	部分焼		1 (3)	1 (4)					2 (7)
	ぼや								0 (0)
車両火災									0 (0)
船舶火災						1 (6)			1 (6)
その他の火災			1 (3)						1 (3)
合計			7 (21)	3 (12)	0 (0)	1 (6)	0 (0)	1 (10)	12 (49)

(注) ()は、死者数を表す。

イ 時間帯別発生状況

時間帯別にみると、「2時台、3時台」が最も多く10人、次いで「19時台、21時台」が7人となっており、これを昼夜別にみると、夜間における死者は43人で死者の87.8%を占め、就寝時間帯に多くの死者が発生している(第18表)。

第18表 1件で3人以上の死者を出した火災の時間帯別発生状況

(平成25年中)

区分	時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～
出火件数 (件)			1	1	3	1		
死者数 (人)			6	10	10	3		
区分	時間帯	7～	8～	9～	10～	11～	12～	13～
出火件数 (件)								
死者数 (人)								
区分	時間帯	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～
出火件数 (件)			2				2	
死者数 (人)			6				7	
区分	時間帯	21～	22～	23～	不明	計		
出火件数 (件)		2				12		
死者数 (人)		7				49		

ウ 建物用途別、階層別発生状況

建物用途別にみると、「専用住宅」での死者が26人で最も多く建物火災全体の65.0%を占めている。死者の発生した階層別にみると、1階における死者が52.5%(21人)を占めている(第19表)。

第19表 1件で3人以上の死者を出した建物火災の建物用途別、階層別の死者発生状況
(平成25年中)(単位:件、人)

区 分	出火件数 (件)	死 者 数 (人)						
		合 計	一般 住宅	共同 住宅	併用住宅	病院	複合用途 特定	その他
			専用住宅					
屋外		0						
地下1階		0						
地上1階	7	21	18			1	2	
2階	3	15	7			7	1	
3階		4	1			2	1	
4階		0						
5階以上		0						
不明		0						
合計	10	40	26	0	0	10	4	0
			26					

(注) 出火件数の階は出火階を示す。

(12) 出火原因別の死者発生状況

出火原因別の死者発生状況をみると、最も多いのは「放火」で311人、次いで「たばこ」の160人、「ストーブ」の117人となっている。なお、死者発生状況を年齢層別で見ると、「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」、「電灯・電話線」、「灯火」、「配線器具」、「たき火」、「火入れ」、「マッチ・ライター」、「こたつ」等を原因とする火災による死者は、高齢者層の割合が高くなる傾向にある(第20表)。

第20表 出火原因別の死者発生状況

(平成25年中)

区分	年齢																	不明	計
	0～	6～	11～	16～	21～	26～	31～	36～	41～	46～	51～	56～	61～	65～	71～	76～	81～		
放 火	3		1	3	5	3	16	23	23	45	26	25	37	31	29	18	22	1	311
た ば こ				1	2		2	3	10	4	15	9	18	19	23	26	27	1	160
ス ト ー ブ	2			1	2				2		3	3	9	13	13	17	52		117
放 火 疑 い					1	2	3	6	3	6	8	7	10	17	5	4	5		77
こ ん ろ								1	2	1		2	1	6	13	8	17		51
電 灯 ・ 電 話 線	1							3		1		2	2	5	3	2	22		41
灯 火						1		1				4	3	2	3	9	14		37
配 線 器 具				1						2	1	1	1	5	5	3	14	1	34
た き 火											1		1	2	1	9	17		31
火 入 れ												1	1	3	4	7	13		29
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー								2						3	3	7	10		25
こ た つ													1		1	1	8		11
電 気 機 器												1		3		2	5		11
火 花			1		2	2	1	1		1	1	1		1					11
か ま ど											1			1	1	1	3		7
排 気 管					1	1				1					1				4
取 灰																2	2		4
ボ イ ラ ー													1			1			2
電 気 装 置																1	1		2
火 あ そ び	1													1					2
風 呂 か ま ど								1											1
焼 却 炉																	1		1
そ の 他		3				1	1	3	2	2	6	1	4	4	10	13	32	1	83
不 明 調 査 中	1	1	2	4	8	9	8	18	21	25	24	39	46	63	64	75	164	1	573
計	8	4	4	10	21	19	32	61	63	88	86	96	136	178	179	206	429	5	1,625

3 放火自殺者を除いた死者の実態について

平成25年中の放火自殺者(心中の道づれを含む。以下同じ。)を除いた火災による死者は、前年の1,334人に比べ106人減少して1,288人発生している(第1表、第1図)。

(1) 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

放火自殺者を除いた月別の死者発生状況を見ると、「12月」から「3月」の4ヶ月の月平均172.3人は、年間の月平均107.3人を大きく上回っており、この期間で53.5%に当たる689人の死者が発生している。一般的にこの時季は、暖房器具等の火気を使用する機会が多く、空気も乾燥しているため火災が発生しやすく、それに伴って死者も多いものと考えられる(第21表及び第8図)。

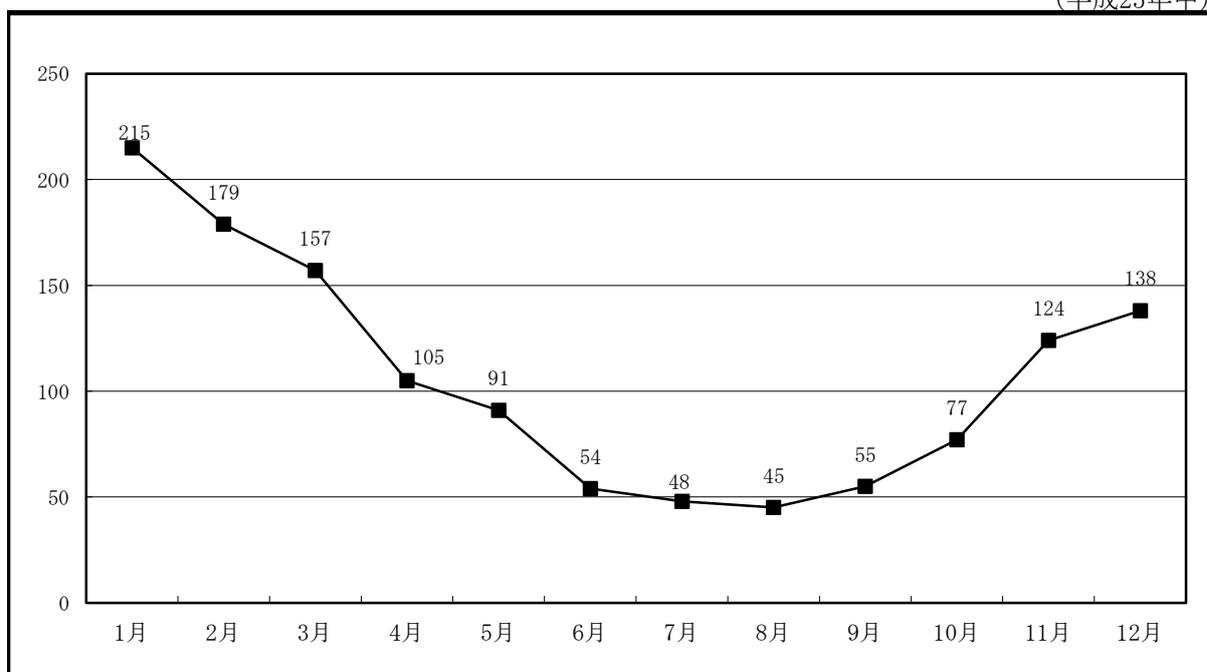
第21表 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

(平成25年中)

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者(人)	215	179	157	105	91	54	48	45	55	77	124	138	1,288
割合(%)	16.7	13.9	12.2	8.2	7.1	4.2	3.7	3.5	4.3	6.0	9.6	10.7	100.0

第8図 放火自殺者を除いた月別の死者発生状況

(平成25年中)



(2) 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況をみると、「3時台」が88人と最も多く、次いで「2時台」が77人、「1時台」が70人となっている。一方、死者の発生が少ないのは、「14時台」の36人、「9時台」の38人、「12時台」の39人となっている(第22表、第9図)。

第22表 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

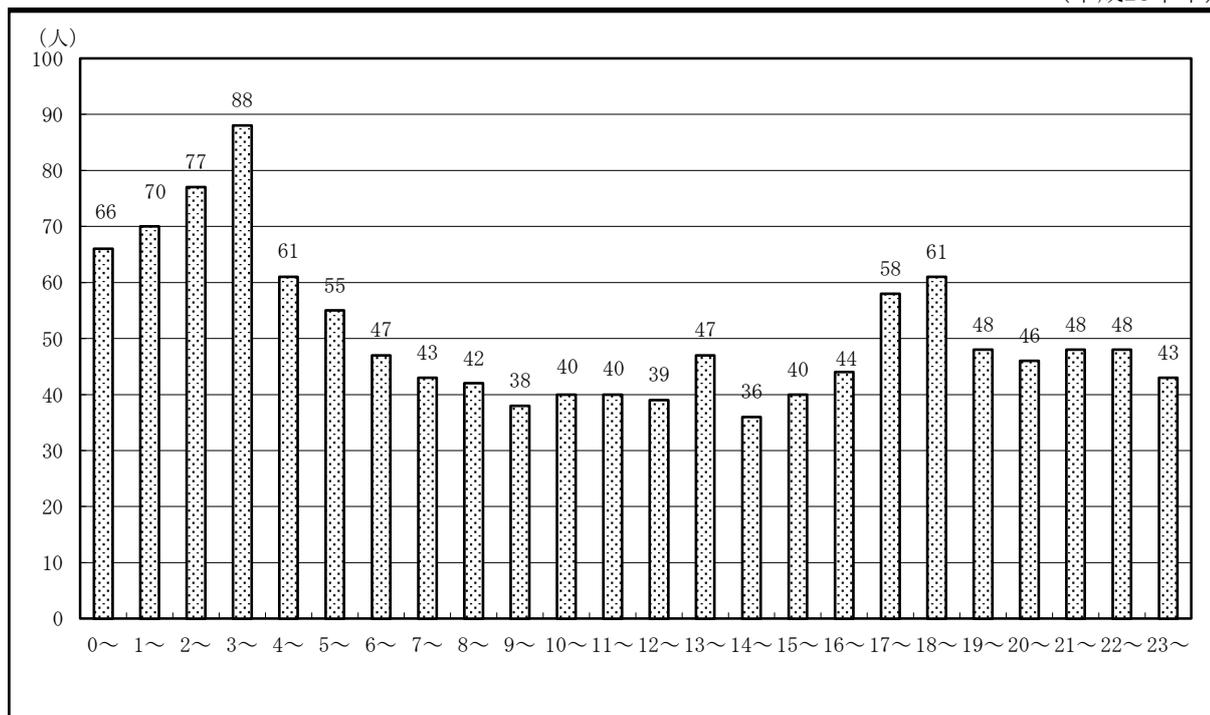
(平成25年中)

区分 \ 時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者(人)	66	70	77	88	61	55	47	43	42	38	40	40	39
割合(%)	5.1	5.4	6.0	6.8	4.7	4.3	3.6	3.3	3.3	3.0	3.1	3.1	3.0

区分 \ 時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
死者(人)	47	36	40	44	58	61	48	46	48	48	43	63	1,288
割合(%)	3.6	2.8	3.1	3.4	4.5	4.7	3.7	3.6	3.7	3.7	3.3	4.9	100.0

第9図 放火自殺者を除いた時間帯別の死者発生状況

(平成25年中)



(注) 死亡時刻不明63名を除く。

(3) 放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況

放火自殺者を除いた火災種別ごとの死者発生状況をみると、「建物火災」による死者が1,139人で死者総数の9割弱を占めている。また、前年に比べ「車両火災」による死者が23人減少している。(第23表)。

第23表 放火自殺者を除いた死者の火災種別ごとの発生状況

(平成25年中)

区分	火災種別	計	建 物 火 災					林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他 の火災
			全焼	半焼	部分焼	ぼや	不明					
死者数 (人)		1,288	708	146	209	70	6	19	46	6	0	78
割 合 (%)		(100.0%)	1,139 (88.4%)					(1.5%)	(3.6%)	(0.5%)	(0.0%)	(6.1%)
死者の出た火災件数 (件)		1,160	612	138	196	69	5	19	44	1	0	76
割 合 (%)		(100.0%)	1,020 (87.9%)					(1.6%)	(3.8%)	(0.1%)	(0.0%)	(6.6%)

(4) 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物用途別の死者発生状況をみると、「住宅」での死者が1,002人で全体の88.0%を占めていることから、住宅防火対策を一層推進していくことが重要である。放火自殺者を除いた建物階層別の死者発生状況をみると、「1階」での死者が802人(70.4%)、「2階」が236人(20.7%)と「1階」と「2階」で全体の91.1%を占めている。また、「3階」以上での死者(68人)のうち、共同住宅での死者が28人、「複合用途特定」及び「複合用途非特定」での死者が20人で合わせて70.6%を占めている(第24表)。

第24表 放火自殺者を除いた建物用途別、階層別の死者発生状況
(平成25年中)(単位:人)

区分 階層	計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	カラオケボックス	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館ホテル	病院診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園
		専用住宅																
地下2階	0																	
地下1階	0																	
1階	802	652	69	12									3	1	1			
2階	236	129	60	9									1		7			
3階	27	6	10												2			
4階	17	2	9															
5階	9		7											1				
6階	3		1															
7階	4	1	1															
8階以上	8			6										1				
不明	33	28												1				
合計	1,139 (割合%) (100.0)	818 (88.0)	157 (88.0)	27	0 (0.0)	4 (0.4)	4 (0.4)	10 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)							
平成24年 (割合%)	1,175 (100.0)	811 (87.0)	181 (87.0)	30	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.2)	1 (0.1)	4 (0.3)	9 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

区分 階層	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社	工場作業所	スタジオ	車庫駐車場	航空機格納庫	倉庫	庫屋	事務所	複合用途特定	複合用途非特定	地下街	準地下街	文化財	その他	
	地下2階																			
地下1階																				
1階						4	12							5	7					36
2階							1							10	10					9
3階														4	5					
4階							1							1	4					
5階															1					
6階														1	1					
7階														1	1					
8階以上															1					
不明							1					1		1						1
合計	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (0.4)	15 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (2.0)	30 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	46 (4.0)
平成24年 (割合%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	12 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.2)	7 (0.6)	0 (0.0)	29 (2.5)	32 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	54 (4.6)

(注)1. 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

2. 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

(5) 放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物構造別の死者発生状況をみると、「木造」での死者が最も多く791人で69.4%を占め、次いで「防火造」での死者が124人(10.9%)となっている。また、火災件数と死者数を建物構造別に火災件数100件当たりの割合で見ると、「木造」が6.8件(7.6人)と最も多く、次いで「防火造」が4.7件(5.4人)、「準耐火木造」3.1件(3.1人)となっている(第25、26表)。

第25表 放火自殺者を除いた建物構造別、焼損程度別、階層別の死者発生状況
(平成25年中)(単位:人)

焼損程度	階層別 構造	地下	地下	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	不明	計	
		2階	1階								以上			
全焼	木造			521	70							21	612	
	防火造			35	7	2						1	45	
	準耐火木造				2								2	
	準耐火非木造			6	8	2							16	
	耐火造			5	1		1						1	8
	その他			16	7	1							1	25
	計	0	0	583	95	5	1	0	0	0	0	24	708	
半焼	木造			44	34	1						1	80	
	防火造			20	15	1							36	
	準耐火木造			1	2	1							4	
	準耐火非木造			6	4	1	2						13	
	耐火造			4	3	4							11	
	その他			1	1									2
	計	0	0	76	59	8	2	0	0	0	0	1	146	
部分焼	木造			36	25							2	63	
	防火造			19	10	1		1					31	
	準耐火木造			3	1								4	
	準耐火非木造			11	7	3						1	22	
	耐火造			18	26	7	12	5	3	3	7	1	82	
	その他			3	4								7	
	計	0	0	90	73	11	12	6	3	3	7	4	209	
ぼや	木造			33	1							2	36	
	防火造			7	5								12	
	準耐火木造			1									1	
	準耐火非木造			5	1		1					1	8	
	耐火造			6	2	2	1	3		1	1	1	17	
	その他			1		1							2	
	計	0	0	53	9	3	2	3	0	1	1	4	76	
計	木造	0	0	634	130	1	0	0	0	0	0	26	791	
	防火造	0	0	81	37	4	0	1	0	0	0	1	124	
	準耐火木造	0	0	5	5	1	0	0	0	0	0	0	11	
	準耐火非木造	0	0	28	20	6	3	0	0	0	0	2	59	
	耐火造	0	0	33	32	13	14	8	3	4	8	3	118	
	その他	0	0	21	12	2	0	0	0	0	0	1	36	
		計	0	0	802	236	27	17	9	3	4	8	33	1,139

第26表 放火自殺者を除いた死者の建物構造別による火災100件当たりの
火災発生及び死者の状況

(平成25年中)(単位:件、人)

区分		構造別						計
		木造	防火造	準耐火木造	準耐火非木造	耐火造	その他	
火災 件数	出火件数	10,353	2,317	352	2,797	6,688	2,546	25,053
	放火自殺者を除いた死者を 伴った火災件数	707	110	11	44	113	35	1,020
	火災100件当たりの割合	6.8	4.7	3.1	1.6	1.7	1.4	4.1
死者 数	放火自殺者を除いた死者数	791	124	11	59	118	36	1,139
	火災100件当たりの割合	7.6	5.4	3.1	2.1	1.8	1.4	4.5

(6) 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況

放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者発生状況をみると、「木造」のうち「住宅」での死者が738人（一般住宅680人、共同住宅42人、併用住宅16人）で93.3%を占めている。また、「防火造」のうち「住宅」での死者は112人（一般住宅79人、共同住宅30人、併用住宅3人）で90.3%となっている。

「住宅」における火災100件当たりの死者の割合を構造別にみると、「木造」、「防火造」において、ともに高い割合となっている（第27表）。

第27表 放火自殺者を除いた建物用途別、構造別の死者状況

(平成25年中)

区分	計	専用住宅		併用住宅	劇場	公会堂	キャパレール	遊技場	性風俗	カラオケボックス	料理店	飲食店舗待合	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院・診療所	グループホーム	社会福祉施設	幼稚園	
		一般住宅	共同住宅																
木造	出火件数(件)	10,286	6,488	456	387	0	10	2	2	0	1	11	220	48	45	8	4	15	2
	死者(人)	791	680	42	16														
	100件当たりの死者(人)	7.7	10.5	9.2	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
防火造	出火件数(件)	2,307	1,227	430	56	0	0	1	2	0	0	2	54	20	8	6	2	6	0
	死者(人)	124	79	30	3														
	100件当たりの死者(人)	5.4	6.4	7.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火木造	出火件数(件)	347	130	70	11				1				14	6	2				3
	死者(人)	11	5	4	1														
	100件当たりの死者(人)	3.2	3.8	5.7	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数(件)	2,789	329	310	59		11	2	20		8	2	115	95	6	4	7	10	2
	死者(人)	59	17	11	1													10	
	100件当たりの死者(人)	2.1	5.2	3.5	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	250.0	0.0	0.0	0.0
耐火造	出火件数(件)	6,672	255	2700	45	5	18	4	27		2	4	126	150	97	84	34	26	8
	死者(人)	118	16	71										1	3				
	100件当たりの死者(人)	1.8	6.3	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	出火件数(件)	2,539	391	117	64		4	1	3		1	1	59	55	7		2	7	1
	死者(人)	36	21	5										1					
	100件当たりの死者(人)	1.4	5.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	出火件数(件)	24,940	8,820	4,083	622	5	43	10	55	0	12	20	588	374	165	102	49	67	13
	死者(人)	1,139	818	163	21	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	10	0	0	0
	100件当たりの死者(人)	4.6	9.3	4.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.4	9.8	0.0	0.0	0.0

区分	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社	工場・作業場	スタジアム	車庫・駐車場	航空機・格納庫	倉庫	事務所	複合用途特定	複合用途非特定	地下街	準地下街	文化財	その他
死者(人)						4	4					4	2					37
100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.0	0.0	0.0	0.0	2.2
防火造	出火件数(件)	7			3	1	4	69				21	30	117	159			82
	死者(人)											2	7					2
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	4.4	0.0	0.0	0.0	2.4
準耐火木造	出火件数(件)	1			1	1	3	23				6	9	18	21			27
	死者(人)													1				
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
準耐火非木造	出火件数(件)	16	2	1	1	5	2	896		11		132	148	158	110			327
	死者(人)							5						8				
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	7.3	0.0	0.0	0.0
耐火造	出火件数(件)	177	2	2	3	27	8	195	2	10		37	319	1634	450	4		217
	死者(人)	4						2					8	10				4
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.5	2.2	0.0	0.0	1.8
その他	出火件数(件)	18	1		2	2	3	365	1	19	1	182	143	71	56			962
	死者(人)							2					2					3
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	3.6	0.0	0.0	0.0	0.3
計	出火件数(件)	224	9	3	13	45	120	1749	4	48	1	558	813	2158	895	5		3,262
	死者(人)	0					4	15				1	23	30				46
	100件当たりの死者(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.9	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	1.1	3.4	0.0	0.0	1.4

(注) 1. 出火件数とは、建物火災件数から放火自殺者出火件数を除いたものをいう。
 2. 防火対象物（一般住宅、併用住宅及びその他を除く。）の区分は消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。

(7) 死因別の死者発生状況

放火自殺者を除いた死因別の死者発生状況をみると、「火傷」による死者が573人で放火自殺者を除いた死者(1,288人)の44.5%を占め、次いで「一酸化炭素中毒・窒息」による死者が493人で38.3%となっている。

第28表 放火自殺者を除く死因別の死者及び放火自殺者の発生状況

(単位:人、%)

区分 年	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲 骨折等	その他	不明	小計	放火 自殺	合計
平成11年	555 (41.2)	637 (47.3)	5 (0.4)	53 (3.9)	96 (7.1)	1,346 (100.0)	776 [36.6]	2,122
平成12年	564 (43.3)	605 (46.5)	5 (0.4)	32 (2.6)	96 (7.4)	1,302 (100.0)	732 [36.0]	2,034
平成13年	576 (41.4)	640 (46.0)	4 (0.3)	41 (2.8)	129 (9.3)	1,390 (100.0)	805 [36.7]	2,195
平成14年	581 (42.3)	623 (45.4)	5 (0.4)	37 (2.8)	126 (9.2)	1,372 (100.0)	863 [38.6]	2,235
平成15年	602 (42.0)	625 (43.6)	7 (0.5)	67 (4.7)	132 (9.2)	1,433 (100.0)	815 [36.3]	2,248
平成16年	589 (42.7)	590 (42.8)	9 (0.7)	53 (3.9)	139 (10.1)	1,380 (100.0)	624 [31.1]	2,004
平成17年	674 (43.2)	671 (43.0)	1 (0.0)	64 (4.1)	149 (9.6)	1,559 (100.0)	636 [29.0]	2,195
平成18年	626 (42.4)	687 (46.6)	2 (0.1)	57 (3.9)	103 (7.0)	1,475 (100.0)	592 [28.6]	2,067
平成19年	613 (42.9)	650 (45.5)	5 (0.3)	50 (3.5)	112 (7.8)	1,430 (100.0)	575 [28.7]	2,005
平成20年	610 (42.5)	628 (43.8)	5 (0.3)	47 (3.3)	144 (10.0)	1,434 (100.0)	535 [27.2]	1,969
平成21年	565 (43.0)	571 (43.5)	13 (1.0)	49 (3.7)	115 (8.8)	1,313 (100.0)	564 [30.0]	1,877
平成22年	559 (42.8)	531 (40.7)	3 (0.2)	63 (4.8)	149 (11.4)	1,305 (100.0)	433 [24.9]	1,738
平成23年	563 (41.8)	544 (40.4)	5 (0.4)	60 (4.5)	176 (13.1)	1,348 (100.0)	418 [23.7]	1,766
平成24年	535 (40.1)	581 (43.6)	4 (0.3)	67 (5.0)	147 (11.0)	1,334 (100.0)	387 [22.5]	1,721
平成25年	493 (38.3)	573 (44.5)	2 (0.2)	65 (5.0)	155 (12.0)	1,288 (100.0)	337 [20.7]	1,625

第29表 建物構造別、焼損程度別、死因別の死者及び放火自殺者の発生状況

(平成25年中)(単位:人)

区分	全 焼								半 焼								部 分 焼								
	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	
死者数	木造	259	242	0	24	87	612	28	640	37	30	0	5	8	80	18	98	24	28	0	3	8	63	16	79
	防火造	22	19	0	0	4	45	2	47	11	21	0	3	1	36	3	39	17	11	0	2	1	31	3	34
	準耐火木造	0	2	0	0	0	2	2	4	1	2	0	1	0	4	4	1	2	0	1	0	4	3	7	7
	準耐火非木造	14	2	0	0	0	16	2	18	6	5	0	2	0	13	2	15	14	5	0	3	0	22	3	25
	耐火造	0	3	0	3	2	8	0	8	3	6	0	0	2	11	11	42	31	1	3	6	82	12	94	94
	その他	8	13	0	2	2	25	1	26	2	0	0	0	0	2	2	3	2	0	0	2	7	3	10	10
計	303	281	0	29	95	708	33	741	60	64	0	11	11	146	23	169	101	79	0	12	17	209	40	249	

区分	ぼ や								不 明								合 計							
	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計	一酸化炭素中毒窒息	火傷	打撲・骨折	その他	不明	小計	放火自殺	合計
死者数	木造	6	23	0	2	3	34	7	41	2	0	0	0	2	2	328	323	0	34	106	791	69	860	860
	防火造	1	9	0	0	1	11	2	13	1	0	0	0	1	1	52	60	0	5	7	124	10	134	134
	準耐火木造	0	1	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	2	7	0	2	0	11	5	16	16
	準耐火非木造	1	5	0	1	7	1	8	1	1	36	17	0	5	1	59	8	67	0	5	59	8	67	67
	耐火造	2	9	0	2	3	16	4	20	0	1	0	0	1	1	47	49	1	8	13	118	16	134	134
	その他	0	1	0	0	0	1	3	4	1	0	0	0	0	1	14	16	0	2	4	36	7	43	43
計	10	48	0	4	8	70	19	89	5	0	1	0	0	6	6	479	472	1	56	131	1,139	115	1,254	

(8) 死に至った経過と年齢別の死者発生状況

死に至った経過別の死者発生状況をみると、「逃げ遅れ」が670人で放火自殺者を除く死者総数(1,288人)の52.0%を占め、次いで「着衣着火」が121人で9.4%、「出火後再進入」が23人で1.8%となっている。「逃げ遅れ」の死者を詳しくみると、「病気・身体不自由」が170人で「逃げ遅れ」による死者(670人)の25.4%を占め、次いで「熟睡」が121人で18.1%と高い割合を示している(第30表)。次に、放火自殺者を除いた年齢別の死者発生状況をみると、高齢者の死者が多く、「81歳以上」が409人、次いで「76歳～80歳」が192人となっており、65歳以上の高齢者の死者(881人)が放火自殺者を除く死者総数(1,288人)の68.4%を占めている(第10図、第31表)。また、放火自殺者を除いた死者の年齢別の人口10万人当たりの死者発生状況をみても同様に、高齢者の死者発生の割合が非常に高くなっている(第11図)。高齢者人口は今後更に増加すると予想されるので、高齢者に対する火災予防対策をより一層推進することが必要である。

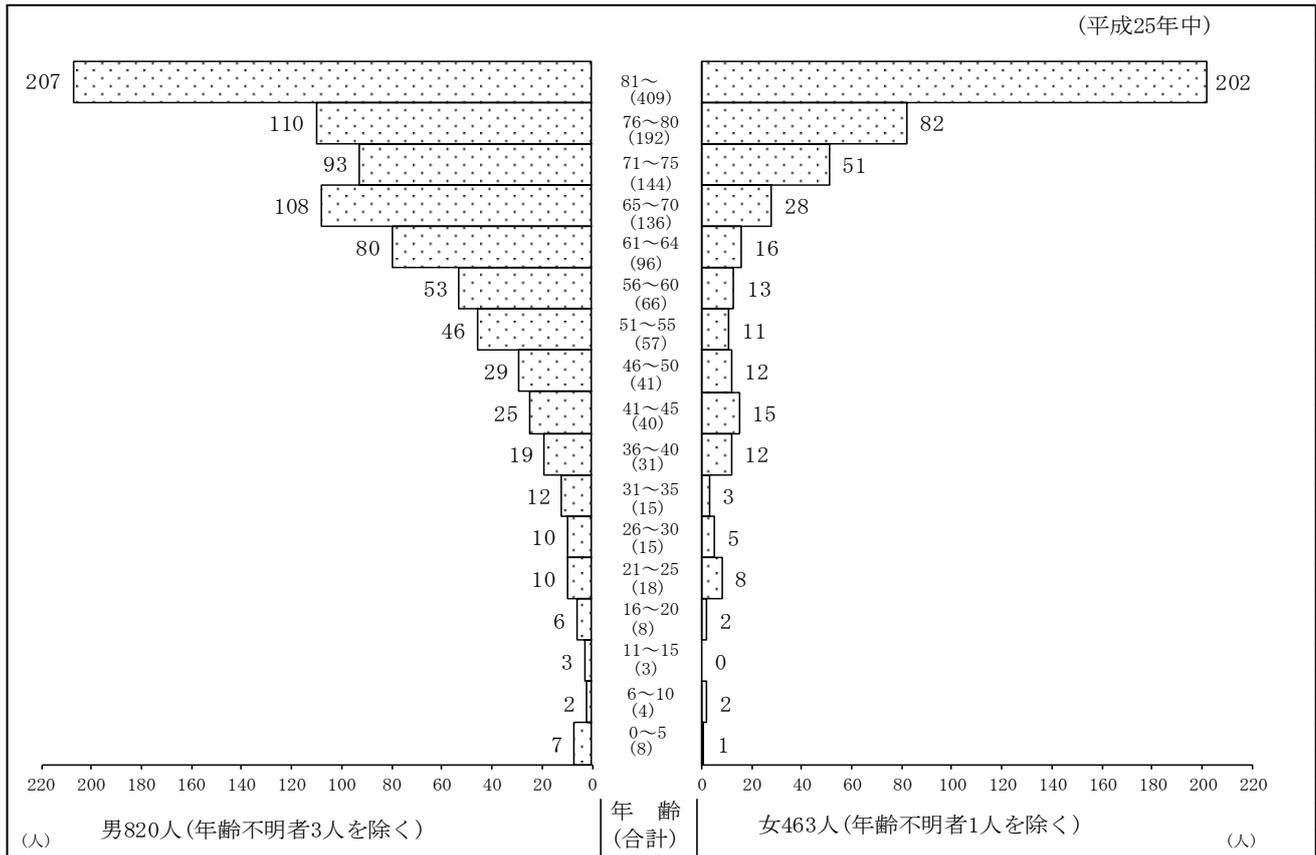
第30表 死に至った経過と年齢別の死者発生状況

年 齢 区 分 等	逃 げ 遅 れ																							
	発見が遅れ、気付いた時は火煙が回り、既に逃げ道がなかったと思われるもの 〔全く気づかなかった場合を〕				判断力に欠け、あるいは、体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの				延焼拡大が早かった等のため、ほとんど避難できなかったと思われるもの				逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの				避難行動を起こしているが、逃げきれなかったと思われるもの 〔一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引により、病院等で死亡した場合を含む。〕							
	熟睡	泥酔	病気の身体不自由	その他	乳児	泥酔	病気の身体不自由	老衰	その他	ガス爆発のため	危険物の燃焼のため	その他	ろばいして	持出品・服装に気をとられ	火災をふれ回っているうち	消火しようとして	人を救助しようとしていて	その他	身体不自由のため	延焼拡大が早く	逃げ道を間違えて	出入口施錠のため	その他	
0～5					5																			
6～10	3																				1			
11～15												1									1			
16～20	1																	1					1	
21～25	3						1	1		1	1												2	
26～30	1							1											1				1	
31～35																				1			1	
36～40	3	1		1			1			1						1		2			1		2	
41～45	4	4	1	3		1		1			2					1		1		2	2			
46～50	2			3			1			1						2	2		1	3				
51～55	8	1		2				1	2	1	1					4	2	1		1	1	1	3	
56～60	7					1	1	1		2		1				1	2		8	1	1	6		
61～64	10		2	10			7					2			3	2		7	5			4		
65～70	13	1	4	9			4	2			2	1	1		6	1	3	7	8		1	9		
71～75	19	1	3	7		3	9	4							4		2	9	11			2		
76～80	21	2	7	5			10	2		1		3	1	1		10	1		15	9		8		
81～	26		7	30			33	6	4		2	7	6	1		16		4	39	20	2	1	30	
不明																				1			1	
合計	121	10	24	70	5	5	67	8	15	5	8	15	11	3	0	47	9	16	79	70	8	4	70	
(割合%)	225 (17.5)				100 (7.8)				28 (2.2)				86 (6.7)				231 (17.9)							
	670 (52.0)																							
平成24年	114	15	33	77	7	6	55	8	24	11	13	27	3	7	2	62	10	13	88	59	8	5	66	
(割合%)	239 (17.9)				100 (7.5)				51 (3.8)				97 (7.3)				226 (16.9)							
	713 (53.4)																							

(平成25年中) (単位:人)

出火後再進入 いったん、屋外へ避難後、再進入したと思われるもの。出火時屋外にいて出火後再進入したと思われるもの	着 衣 着 火										自 損 ・ 殺 人	そ の 他	小 計	放 火 自 殺 者 (心中の道づれを含む)	合 計		
	救 助 ・ 物 品 搬 出 の た め	消 火 の た め	そ の 他	喫 煙 中	炊 事 中	採 暖 中 (たき火を除く)	た き 火 中	火 あ そ び 中	そ の 他 火 気 取 扱 い 中	そ の 他						放 火 自 殺 の 巻 き 添 え 者	放 火 自 殺 人 の 犠 牲 者
											2	1			8		8
															4		4
													1		3	1	4
1												1	3		8	2	10
										1		1	7		18	3	21
										1			10		15	4	19
								1	1			1	10		15	17	32
			1						1			4	12		31	30	61
									1			1	16		40	23	63
1			1									1	24		42	46	88
1	3	1				1			2	1	1	2	16		57	29	86
1		1							2			1	29		66	30	96
			1			2		1			1	2	37		96	40	136
1	1			1		2		3	2			4	50		136	42	178
	1		1	6				6	2			1	53		144	35	179
1		1	2	2	1	6		15	3	1	1	3	60		192	14	206
8	1		3	5	6	19		10	9	1	1	5	107		409	20	429
													2		4	1	5
14	6	3	9	14	7	30	0	36	25	5	5	28	436		1,288	337	1,625
23						121				10		464			100.0	[20.7]	100.0
(1.8)						(9.4)				(0.8)		(36.0)					
8	3	9	4	12	12	29	0	31	36	6	5	35	431		1,334	387	1,721
20						124				11		466			100.0	[22.5]	100.0
(1.5)						(9.3)				(0.8)		(34.9)					

第10図 放火自殺者を除いた年齢別、性別の死者発生状況



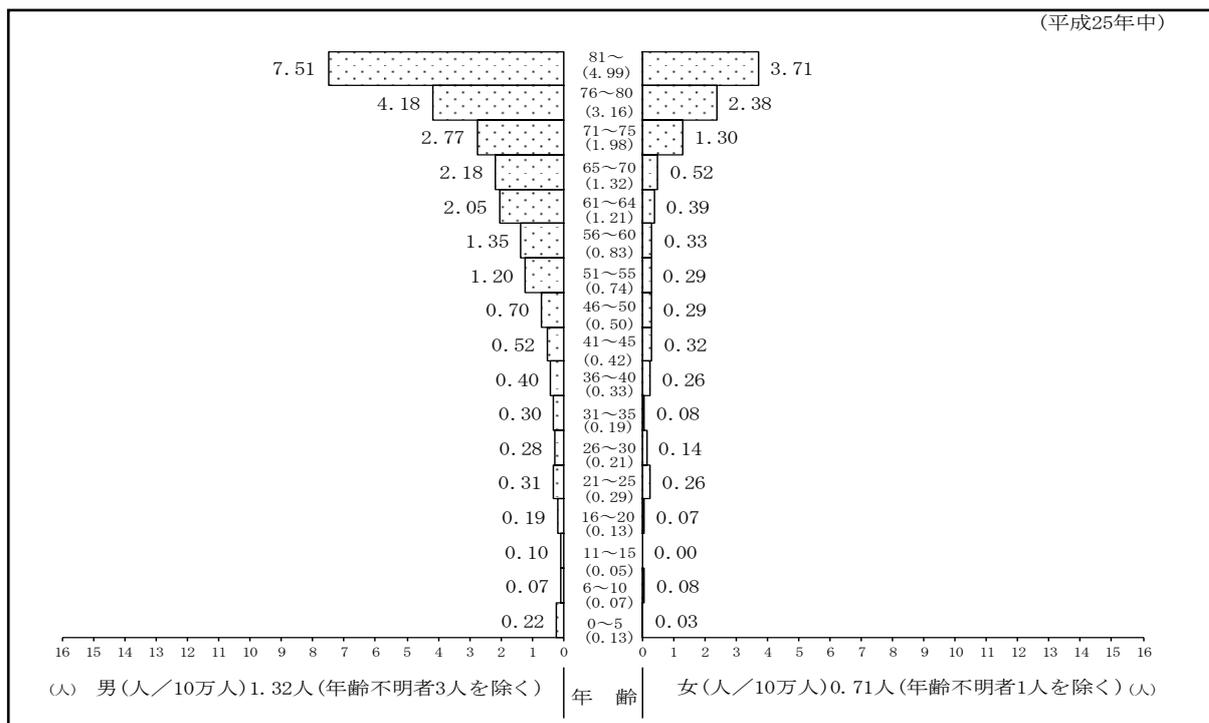
(注)1 「46~50歳」に含まれる性別不明者1人を除く。
 2 ()は、放火自殺者を除いた年齢別の死者数を示す。
 3 人口は、平成25年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

第31表 放火自殺者を除いた乳幼児、高齢者の死者数の推移

年	区分 放火自殺者を除いた 死者数(人)	乳幼児(5歳以下)			高齢者(65歳以上)		
		人口 (千人)	死者数 (人)	人口10万人 当たりの 死者数(人)	人口 (千人)	死者数 (人)	人口10万人 当たりの 死者数(人)
58年	1,152	9,457	87	0.92	15,482	524	3.38
59年	1,338	9,262	113	1.22	15,985	577	3.61
60年	1,089	9,055	86	0.95	16,620	505	3.04
61年	1,257	8,841	98	1.11	17,220	592	3.44
62年	1,086	8,668	66	0.76	18,014	522	2.90
63年	1,166	8,466	92	1.09	18,736	524	2.80
平成 元年	1,035	8,219	46	0.56	19,481	515	2.64
2年	1,108	7,931	72	0.91	20,218	526	2.60
3年	1,101	7,717	59	0.76	15,583	505	3.24
4年	1,203	7,551	65	0.86	16,242	539	3.32
5年	1,194	7,395	51	0.69	16,897	537	3.18
6年	1,274	7,308	67	0.92	17,586	556	3.16
7年	1,820	7,224	70	0.97	18,260	918	5.03
8年	1,267	7,183	64	0.89	19,017	657	3.45
9年	1,321	7,165	50	0.70	19,760	649	3.28
10年	1,206	7,155	66	0.92	20,510	572	2.79
11年	1,346	7,148	41	0.57	21,187	691	3.26
12年	1,302	7,108	44	0.62	22,005	645	2.93
13年	1,390	7,088	44	0.62	22,867	670	2.93
14年	1,372	7,067	32	0.45	23,629	683	2.89
15年	1,433	6,997	36	0.51	24,310	744	3.06
16年	1,380	6,904	39	0.56	24,878	726	2.92
17年	1,559	6,761	57	0.84	25,672	839	3.27
18年	1,475	6,671	41	0.61	26,601	826	3.10
19年	1,430	6,585	57	0.87	27,465	814	2.96
20年	1,434	6,520	17	0.26	28,217	864	3.06
21年	1,313	6,464	24	0.37	29,006	781	2.69
22年	1,305	6,464	27	0.42	29,006	783	2.70
23年	1,348	6,364	16	0.25	29,750	866	2.91
24年	1,334	6,342	12	0.19	30,792	839	2.72
25年	1,288	6,312	8	0.13	31,899	881	2.76

(注) 1 平成3年以降は高齢者を65歳以上としたデータである。
2 人口は、平成25年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による

第11図 放火自殺者を除いた年齢別の人口10万人当たりの死者数



(注) 1 性別不明者1人を除く。
2 ()は、放火自殺者を除いた年齢別人口10万人当たりの死者数を示す。
3 人口は、平成25年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。

(9) 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況

建物火災で発生した死者のうち、高齢者、身体不自由者及び病人であった900人について、建物用途別、階層別にみると、一般住宅における死者(発生階層不明を除く644人)の発生割合は、2階以上(86人)で13.4%であるが、共同住宅における死者の2階以上(70人)の発生割合は58.3%と多くなっている(第32表)。このような身体不自由者が居住する住宅の安全対策としては、容易に避難できるよう避難経路を確保することや、避難救出が行いやすいように居住場所を出入口付近にするなどの考慮が必要である。

第32表 高齢者、身体不自由者等の建物用途別、階層別の死者発生状況
(平成25年中)(単位:人、%)

階層	建物用途	計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	性風俗	ボカソラクオスケ	料理店	飲食店	物品販売店舗	旅館・ホテル	病院等	グループホーム	社会福祉施設等
			専用住宅															
地下2階		0																
地下1階		0																
1階		666	558	50	12									2		1		
2階		161	81	44	6									1		7		
3階		23	4	10												2		
4階		11	1	7														
5階		5		4											1			
6階		2																
7階		3		1														
8階以上		4		4														
不明		25	23															
計		900	667	120	18	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	10	0	0
(割合%)		100.0	(89.4)	(13.4)	(2.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(1.1)	(1.1)	(0.0)	(0.0)
平成24年		903	652	137	22	0	0	0	0	0	0	2	0	4	1	0	0	0
(割合%)		100.0	(72.2)	(15.2)	(2.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.0)	(0.4)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)

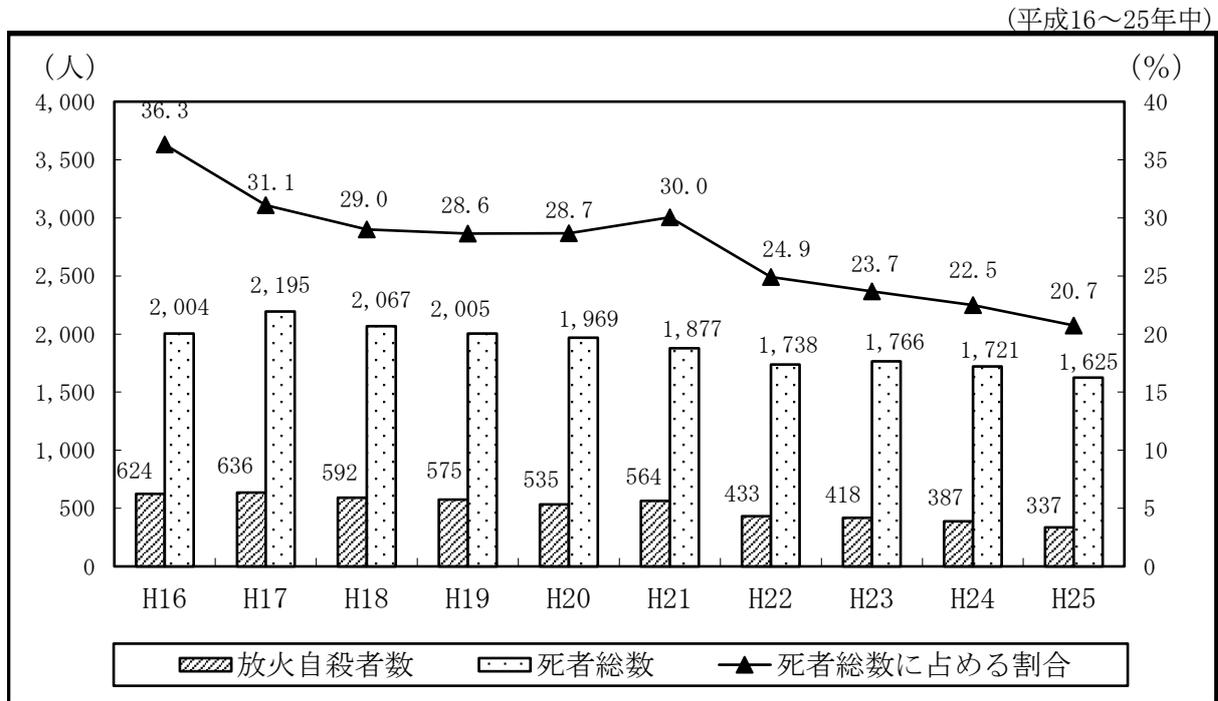
階層	建物用途	幼稚園等	学校	図書館	特殊浴場	公衆浴場	停車場	神社・寺院	工場・作業場	スタジオ	車庫・駐車場	航空機格納庫	倉庫	事務所	複合用途・特定	複合用途・非特定	文化財	その他
		地下2階																
地下1階																		
1階								4	5						3	5		26
2階									1						7	7		7
3階															3	4		
4階									1						1	1		
5階																		
6階															1	1		
7階															1	1		
8階以上																		
不明															1			1
計		0	0	0	0	0	0	4	7	0	0	0	0	0	17	19	0	34
(割合%)		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.4)	(0.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.9)	(2.1)	(0.0)	(3.8)
平成24年		0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	3	18	20	0	34
(割合%)		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(2.0)	(2.2)	(0.0)	(3.8)

(注) 1. 防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。)の区分は、消防法施行令別表第1による区分であり、施設の名称はその例示である。
2. 階層は死者の発生した場所の存する階を示す。

4 放火自殺者の実態について

平成25年中の放火自殺者は337人で前年(387人)より50人減少している。また、死者総数(1,625人)に占める割合は、20.7%を占めている。平成17年の636人を境に平成20年まで減少傾向にあり平成21年に増加したものの、平成22年以降は再び減少している。(第1表、第12図)。都道府県別の放火自殺者は「千葉県、福岡県」が21人と最も多く、次いで「神奈川県」の20人となっている。(第2図)

第12図 過去10年間における放火自殺者の推移



(1) 放火自殺者の火災種別ごとの死者発生状況

放火自殺者を火災種別ごとにみると、「その他の火災」が158人(46.9%)で最も多く、次いで「建物火災」が115人(34.1%)、「車両火災」が63人(18.7%)となっている(第33表)。

第33表 火災種別ごとの放火自殺者数

(平成25年中)(単位:人)

建物火災		林野火災	車両火災	航空機火災	その他の火災	計
全焼	33					
半焼	23					
部分焼	40					
ぼや	19	1	63	0	158	337
不明						
小計	115					
割合 (%)	34.1	0.3	18.7	0.0	46.9	100.0

(2) 放火自殺者の月別、時間帯別の死者発生状況

放火自殺者の発生状況を月別にみると、「12月」が43人で最も多く、次いで「11月」が37人、「6月」が30人となっている(第34表、第13図)。また、時間帯別にみると、「4時台、11時台」が17人で最も多く、次いで「0時台、5時台、15時台」が16人となっている(第35表、第14図)。

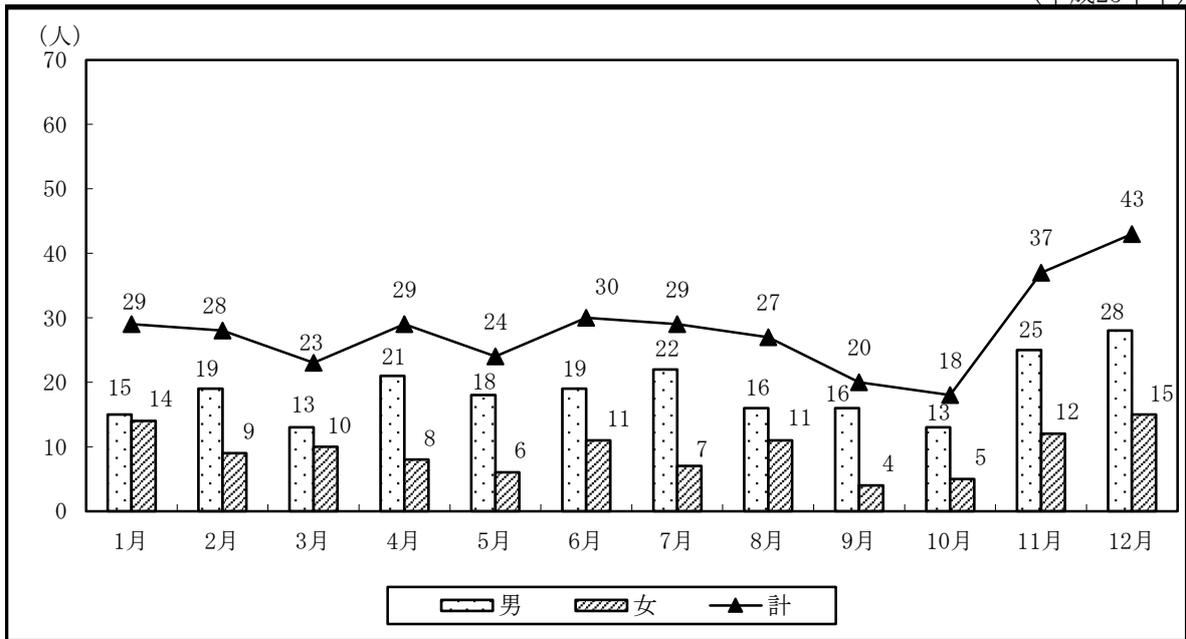
第34表 月別、年齢別、性別の放火自殺者数

(平成25年中)

年齢	月	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
0～5	男														0
	女														0
6～10	男														0
	女														0
11～15	男											1			1
	女														0
16～20	男	1											1		2
	女														0
21～25	男						1							2	3
	女														0
26～30	男										1		1		2
	女		1		1										2
31～35	男	1		1	2	2	2				2		1	2	13
	女					1				1			1	1	4
36～40	男	2	2		2	1	2	1			2		1	3	16
	女	1	1		1	1				2			4	4	14
41～45	男	1	2	3		2	1	1	1	1	2			2	15
	女	1		1	2					1		1		2	8
46～50	男	1	4	1	6	1	1	6	5			1	5	4	35
	女	1		2				1	1	1		3	1	1	11
51～55	男	2	1	1	1			3	2			1	3	2	16
	女	2	2	2		1	1	1	1	1			1	1	13
56～60	男	1	4	1	1	2	2	1	2	3	2	1	1	1	21
	女	1	1	1	1			1	1	1			1	1	9
61～64	男	3	2	2	4	1	2	2	2	3	4	4	4	1	30
	女	4	1		1			1		1	1		1		10
65～70	男	1	2	1	1	3	2	1	2	3	2	3	3	5	26
	女	2	1	1	1	2	3			1				5	16
71～75	男	1	2	1	2	3	3	4	2			1	1	4	24
	女	2				1	3	2			2	1			11
76～80	男			1		1	1	3				1	1		8
	女		2	1	1					1			1		6
81～	男	1		1	2	1			1	2			3	1	12
	女			2				1	2	1			2		8
不明	男													1	1
	女														0
計	男	15	19	13	21	18	19	22	16	16	13	25	28		225
	女	14	9	10	8	6	11	7	11	4	5	12	15		112
	性別不明														0
	計	29	28	23	29	24	30	29	27	20	18	37	43		337

第13図 月別の放火自殺者発生状況

(平成25年中)



第35表 時間帯別の放火自殺者発生状況

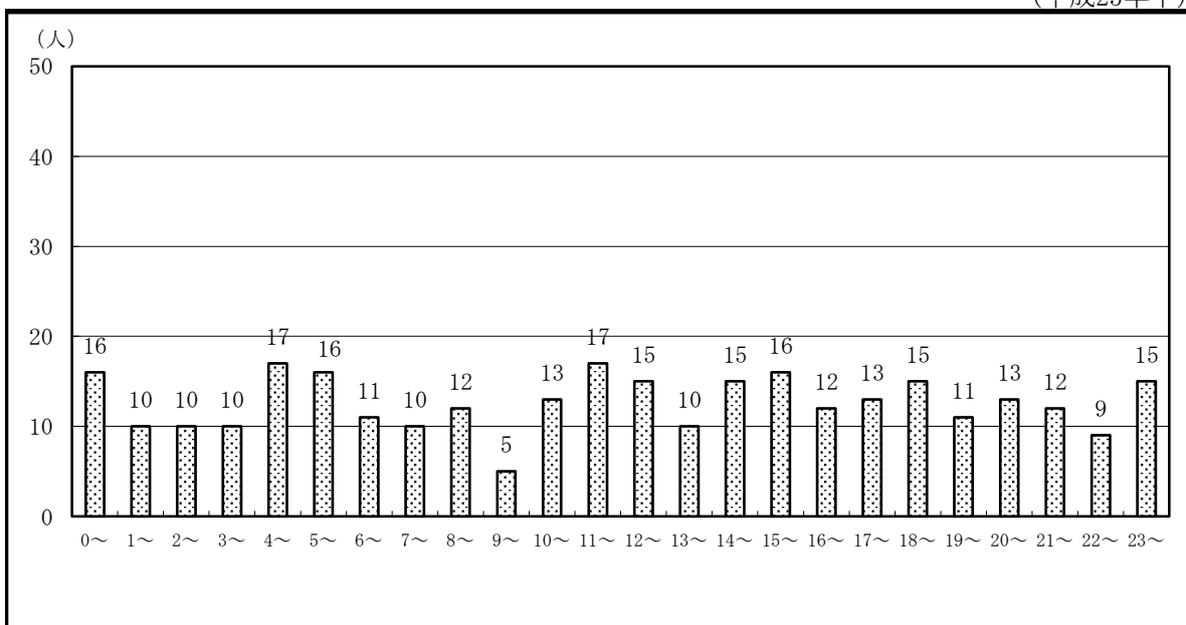
(平成25年中)

区分 \ 時間帯	0～	1～	2～	3～	4～	5～	6～	7～	8～	9～	10～	11～	12～
死者(人)	16	10	10	10	17	16	11	10	12	5	13	17	15
割合(%)	4.7	3.0	3.0	3.0	5.0	4.7	3.3	3.0	3.6	1.5	3.9	5.0	4.5

時間帯	13～	14～	15～	16～	17～	18～	19～	20～	21～	22～	23～	不明	計
人数	10	15	16	12	13	15	11	13	12	9	15	34	337
割合(%)	3.0	4.5	4.7	3.6	3.9	4.5	3.3	3.9	3.6	2.7	4.5	10.1	100.0

第14図 時間帯別の放火自殺者発生状況

(平成25年中)



(注) 時間帯不明の34名を除く。

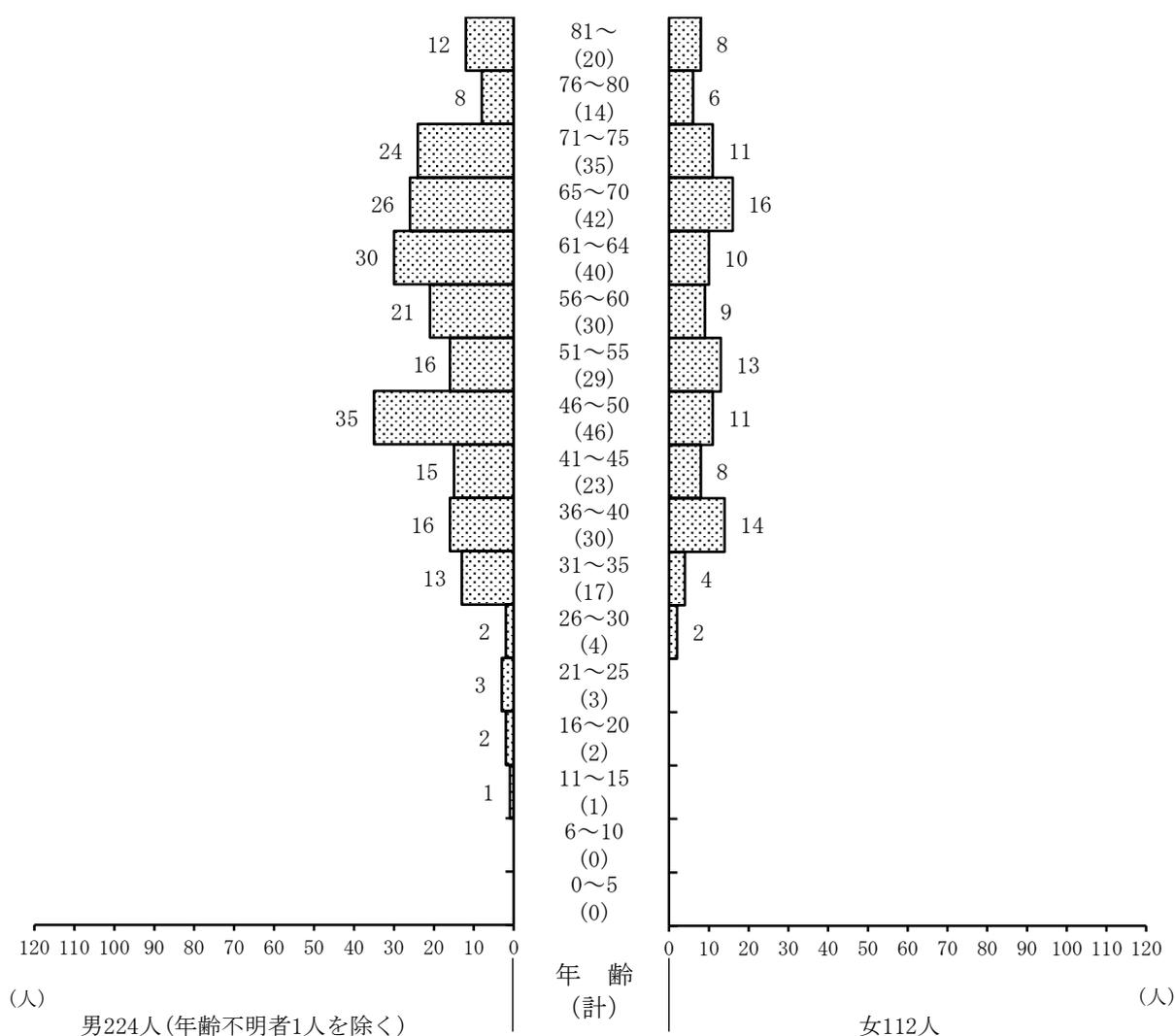
(3) 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況

放火自殺者の発生状況を年齢別にみると、「46～50歳」が46人(13.6%)、「65～70歳」が42人(12.5%)及び「61～64歳」が40人(11.9%)となっており、一般に働き盛りと言われる年齢層に放火自殺者が多く、この年齢層の死者を合計すると、放火自殺者総数の38.0%を占める。性別では「男性」が225人(66.8%)、「女性」が112人(33.2%)と男性が女性の2倍になっている。

年齢別、性別を併せてみると「46歳～50歳の男性」が35人で最も多く、次いで「61～64歳の男性」が30人、「65～70歳の男性」の26人となっている(第15図)。

第15図 放火自殺者の年齢別、性別の死者発生状況

(平成25年中)



付表1 過去5年間の死者発生状況

区 分		年					
		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全 火 災	火災件数（件）	52,394	51,139	46,620	50,006	44,189	48,095
	死者数（人）	1,969	1,877	1,738	1,766	1,721	1,625
	火災100件当たり の死者数（人）	3.76	3.67	3.73	3.53	3.89	3.38
	指数	100.0	97.7	99.2	94.0	103.6	89.9
	人口10万人当たり の死者数（人）	1.55	1.48	1.37	1.39	1.36	1.27
	指数	100	95	88	90	88	82
建 物 火 災	火災件数（件）	30,053	28,372	27,137	26,795	25,583	25,053
	死者数（人）	1,499	1,352	1,314	1,339	1,324	1,254
	火災100件当たり の死者数（人）	4.99	4.77	4.84	5.00	5.18	5.01
	指数	100.0	95.5	97.1	100.2	103.8	100.4

(注) 平成7年1月1日から火災の定義が改められ、「爆発現象」も含まれることとされた

付表2 過去5年間の時間帯別の死者発生状況

区分 時間帯	死 者 数 (人)						割 合 (%)					
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平 均	平成20年	平成21年	平成22年	平成24年	平成25年	平 均
0～	84	65	94	74	82	79.8	4.5	3.7	5.3	4.3	5.0	4.6
1～	107	88	86	94	80	91.0	5.7	5.1	4.9	5.5	4.9	5.2
2～	103	93	70	97	87	90.0	5.5	5.4	4.0	5.6	5.4	5.2
3～	93	91	94	85	98	92.2	5.0	5.2	5.3	4.9	6.0	5.3
4～	91	83	78	83	78	82.6	4.8	4.8	4.4	4.8	4.8	4.7
5～	97	92	87	78	71	85.0	5.2	5.3	4.9	4.5	4.4	4.9
6～	79	59	60	73	58	65.8	4.2	3.4	3.4	4.2	3.6	3.8
7～	49	55	68	52	53	55.4	2.6	3.2	3.9	3.0	3.3	3.2
8～	61	56	54	58	54	56.6	3.2	3.2	3.1	3.4	3.3	3.2
9～	51	54	64	62	43	54.8	2.7	3.1	3.6	3.6	2.6	3.1
10～	68	65	63	65	53	62.8	3.6	3.7	3.6	3.8	3.3	3.6
11～	76	59	54	59	57	61.0	4.0	3.4	3.1	3.4	3.5	3.5
12～	64	70	76	58	54	64.4	3.4	4.0	4.3	3.4	3.3	3.7
13～	88	67	55	74	57	68.2	4.7	3.9	3.1	4.3	3.5	3.9
14～	65	76	66	66	51	64.8	3.5	4.4	3.7	3.8	3.1	3.7
15～	78	64	73	68	56	67.8	4.2	3.7	4.1	4.0	3.4	3.9
16～	54	58	60	64	56	58.4	2.9	3.3	3.4	3.7	3.4	3.4
17～	67	70	56	53	71	63.4	3.6	4.0	3.2	3.1	4.4	3.6
18～	71	47	57	72	76	64.6	3.8	2.7	3.2	4.2	4.7	3.7
19～	47	61	63	70	59	60.0	2.5	3.5	3.6	4.1	3.6	3.5
20～	59	55	74	59	59	61.2	3.1	3.2	4.2	3.4	3.6	3.5
21～	52	64	64	59	60	59.8	2.8	3.7	3.6	3.4	3.7	3.4
22～	84	64	72	66	57	68.6	4.5	3.7	4.1	3.8	3.5	3.9
23～	82	76	78	52	58	69.2	4.4	4.4	4.4	3.0	3.6	3.9
不 明	107	106	100	80	97	98.0	5.7	6.1	5.7	4.6	6.0	5.6
計	1,877	1,738	1,766	1,721	1,625	1745.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

付表3 曜日別、時間帯別の死者発生状況

(平成25年中)(単位：人)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
0～	8 (4)	13 (2)	9 (0)	12 (3)	9 (4)	19 (2)	12 (1)	0	82 (16)
1～	13 (1)	11 (2)	11 (2)	6 (0)	16 (1)	12 (1)	11 (3)	0	80 (10)
2～	8 (3)	18 (3)	8 (0)	12 (1)	7 (1)	24 (2)	10 (0)	0	87 (10)
3～	10 (1)	14 (1)	13 (1)	12 (0)	14 (2)	20 (4)	15 (1)	0	98 (10)
4～	4 (0)	11 (2)	12 (1)	15 (6)	10 (3)	11 (4)	15 (1)	0	78 (17)
5～	8 (1)	9 (3)	11 (4)	16 (2)	12 (3)	7 (2)	8 (1)	0	71 (16)
6～	5 (0)	8 (0)	7 (2)	12 (2)	9 (3)	9 (4)	8 (0)	0	58 (11)
7～	5 (1)	6 (1)	14 (2)	2 (0)	10 (2)	10 (1)	6 (3)	0	53 (10)
8～	8 (2)	10 (2)	9 (2)	10 (4)	3 (0)	6 (0)	8 (2)	0	54 (12)
9～	5 (1)	7 (2)	6 (1)	5 (1)	6 (0)	9 (0)	5 (0)	0	43 (5)
10～	5 (2)	10 (2)	16 (4)	1 (1)	5 (1)	8 (2)	8 (1)	0	53 (13)
11～	7 (1)	4 (1)	9 (4)	8 (1)	11 (3)	11 (5)	7 (2)	0	57 (17)
12～	14 (6)	6 (0)	8 (2)	9 (2)	8 (3)	4 (1)	5 (1)	0	54 (15)
13～	8 (0)	12 (2)	10 (3)	8 (2)	5 (1)	8 (1)	6 (1)	0	57 (10)
14～	4 (2)	7 (1)	9 (4)	10 (4)	11 (2)	8 (2)	2 (0)	0	51 (15)
15～	8 (1)	7 (2)	10 (5)	8 (2)	4 (1)	13 (4)	6 (1)	0	56 (16)
16～	7 (1)	9 (5)	10 (0)	6 (1)	10 (3)	7 (0)	7 (2)	0	56 (12)
17～	7 (1)	6 (3)	15 (2)	7 (1)	16 (3)	8 (1)	12 (2)	0	71 (13)
18～	13 (1)	9 (2)	17 (4)	10 (4)	5 (2)	10 (1)	12 (1)	0	76 (15)
19～	9 (3)	3 (0)	9 (1)	8 (1)	12 (1)	13 (4)	5 (1)	0	59 (11)
20～	11 (1)	13 (2)	5 (1)	3 (2)	6 (3)	6 (1)	15 (3)	0	59 (13)
21～	7 (1)	10 (3)	9 (1)	8 (2)	11 (2)	8 (3)	7 (0)	0	60 (12)
22～	11 (1)	11 (1)	3 (1)	7 (3)	8 (0)	9 (2)	8 (1)	0	57 (9)
23～	4 (1)	10 (2)	8 (0)	8 (4)	10 (3)	10 (2)	8 (3)	0	58 (15)
不明	12 (4)	10 (2)	13 (2)	10 (2)	14 (8)	5 (1)	13 (3)	20 (12)	97 (34)
計	201 (40)	234 (46)	251 (49)	213 (51)	232 (55)	255 (50)	219 (34)	20 (12)	1,625 (337)

(注) ()は放火自殺者の数を内数で示す。

付表4 月別、年令別、性別の死者発生状況

(平成25年中)(単位:人)

年令	月 性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
		0～5	男	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
6～10	男	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	
11～15	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	4	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16～20	男	1	1	2	0	1	0	0	0	2	0	1	0	8	10
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
21～25	男	1	1	2	0	3	1	1	2	0	0	0	2	13	21
	女	1	2	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	8	
26～30	男	3	1	2	2	0	0	0	0	1	1	2	0	12	19
	女	2	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	7	
31～35	男	3	3	1	2	4	2	0	1	2	0	2	5	25	32
	女	2	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	7	
36～40	男	3	4	2	5	3	4	3	0	2	1	4	4	35	61
	女	4	2	2	2	1	0	0	3	1	2	4	5	26	
41～45	男	5	3	6	2	2	3	2	2	5	3	2	5	40	63
	女	4	0	2	2	2	0	1	2	0	1	1	8	23	
46～50	男	4	7	6	6	7	1	7	7	0	6	7	6	64	87
	女	2	2	4	1	2	2	2	2	0	3	1	2	23	
51～55	男	10	5	4	7	2	6	5	1	0	1	12	9	62	86
	女	4	3	3	0	1	2	3	2	2	1	2	1	24	
56～60	男	5	11	9	7	8	3	3	5	4	9	4	6	74	96
	女	4	1	3	1	1	2	4	1	1	1	2	1	22	
61～64	男	17	11	15	9	7	6	5	6	7	7	10	10	110	136
	女	7	2	0	3	1	3	2	2	2	0	2	2	26	
65～70	男	17	19	8	13	14	7	6	5	9	9	14	13	134	178
	女	3	6	4	1	2	3	1	1	2	5	4	12	44	
71～75	男	18	15	14	7	10	4	9	3	4	3	18	12	117	179
	女	11	6	7	4	6	5	2	1	5	7	4	4	62	
76～80	男	19	17	18	12	6	5	7	5	6	3	11	9	118	206
	女	14	18	11	8	4	7	1	2	1	6	8	8	88	
81～	男	42	30	30	20	14	12	4	7	7	15	17	21	219	429
	女	37	33	20	17	9	6	7	8	8	10	25	30	210	
不明	男	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4	5
	女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
計	男	148	130	121	92	85	54	52	45	50	59	106	106	1,048	
	女	96	77	59	42	30	30	25	27	24	36	55	75	576	
	性別不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	計	244	207	180	134	115	84	77	72	75	95	161	181	1,625	

付表5 年齢別の死者発生状況

(平成25年中)

年齢・性別	区分	人口 (千人)	死者数 (人)	10万人当たりの 死者数 (人)
0～	男	3,233	7	0.22
	女	3,078	1	0.03
6～	男	2,767	2	0.07
	女	2,639	2	0.08
11～	男	3,007	4	0.13
	女	2,863		0.00
16～	男	3,111	8	0.26
	女	2,959	2	0.07
21～	男	3,223	13	0.40
	女	3,064	8	0.26
26～	男	3,588	12	0.33
	女	3,455	7	0.20
31～	男	3,965	25	0.63
	女	3,857	7	0.18
36～	男	4,767	35	0.73
	女	4,640	26	0.56
41～	男	4,777	40	0.84
	女	4,679	23	0.49
46～	男	4,115	64	1.56
	女	4,072	23	0.56
51～	男	3,824	62	1.62
	女	3,830	24	0.63
56～	男	3,925	74	1.89
	女	3,993	22	0.55
61～	男	3,902	110	2.82
	女	4,063	26	0.64
65～	男	4,951	134	2.71
	女	5,380	44	0.82
71～	男	3,363	117	3.48
	女	3,917	62	1.58
76～	男	2,633	118	4.48
	女	3,451	88	2.55
81～	男	2,755	219	7.95
	女	5,450	210	3.85
年齢不明	男	0	4	0.00
	女	0	1	0.00
計	男	61,906	1,048	1.69
	女	65,390	576	0.88
	性別不明	0	1	—
	計	127,298	1,625	1.28

(注) 人口は平成25年3月31日現在の住民基本台帳(総務省自治行政局)による。